

三十旅團ノ第一第三第五中隊並ニ砲兵第三十二旅團ノ第一第三
 第四中隊 此命令ニハ砲兵第三十二旅團第六中隊ヲモ含メリ 及工兵第五大隊ノ一中隊
 ハ午前五時 Pordim ポルヂム ヲ發シ Zgaljuvec ズガルジュベツ ト Pelsat ペルサット トノ中間地域ニ前進
 シ ラヂンホ Radizevo ノ北方ニ陣地ヲ占領セル敵ヲ攻撃シ該陣地ヲ占領セ
 ハ プレナ Plevna 方向ニ前進シ グリヴィカ Grivica 及 プレナ Plevna ノ北方ニ據レル敵ノ側翼
 及背面ヲ射撃スル爲其砲兵ヲ グリヴィカ Grivica 川ノ左岸(南方)高地上ニ布置
 スルコトヲ努ムヘシ爾後ノ前進ハ右翼部隊戰鬪ノ進捗ニ應シ之
 ト共同動作ヲ爲シ且觸接ヲ保持スヘシ

(五) ドン哥薩克騎砲兵第八中隊、騎山砲兵中隊ヲ有スル高加士哥薩克
 騎兵旅團ハ侍從將官少將スコベレフ(子)ノ指揮ニ屬シ午前五時 ボ
 ホト Bot ボト ヲ發シ戰鬪線ノ左翼後ニ位置シ プレナ Plevna, ロヴカ Lovca ノ兩方面ヲ監視シ
 且兩地ノ連絡ニ任スヘシ敵若シ プレナ Plevna ヨリ退却スルトキハ ソフィ
 ヌ Sofia
 ニ通スル道路ヲ西方ニ前進シ其退路ヲ遮斷スヘシ

三、豫備隊(予ノ直屬トス)

(六) 歩兵第三十師團ノ第二旅團及砲兵第三十旅團ノ第二第四第六中
 隊ハ午前四時 ブルガリスカカラガチ Biganski-Karugac ヲ發シ ブルガレネ Bigarene-Plevna 街道ト ツルスキ
 トレスタニク Trostenik-Pordim 道トノ交叉點ニ前進シ爾後ノ命令ヲ待ツヘシ

(七) 龍騎兵第十一聯隊及槍騎兵第十一聯隊ノ各二中隊ハ騎砲兵第十
 八中隊ト共ニ兵團豫備隊ノ位置ニ停止シテ命ヲ待ツヘシ 槍騎兵聯
 隊ノ他ノ

二中隊ハ此命令ニハ無キモ中將シアコ
 ウスコエ部隊ノ主力ト共ニ行動セリ

四、少將ラシユカリエフノ部隊

(八) 槍騎兵第九聯隊、ドン哥薩克騎兵第九聯隊及ドン哥薩克騎砲兵第
 二中隊ハ午前六時 ブルシヤニシヤ Brsjanica ヲ發シ プレナ Plevna 方向ニ前進シ敵ト接
 觸スル迄斥候幕ヲ派遣シ且敵ノ運動ニ注意シ絶ヘス敵情ニ關ス
 ル報告ヲ爲スヘシ又 ヴィト Vit 河ノ左岸ニ移ルヘキ命令ニ接セハ リベ
 ン Riben
 ヲ越エテ ソフィ
 ヌ Sofia ニ通スル街道ヲ前進シ敵ノ背後ニ於テ自己ノ判斷

ニ依リ自由ノ行動ヲ取ルヘシ

(九) 砲兵第五旅團及豫備隊ノ砲兵ハ第九軍團砲兵指揮官ノ指揮ニ屬ス

(十) 各隊ハ戦闘ニ際シ大隊毎ニ一彈藥車ヲ用キ殘餘ノ彈藥車ハ豫備隊ニ殘置スヘシ

(十一) 砲兵彈藥縱列ハ後方五ウエルストニ在リ

(十二) 病院車ハ軍隊ト共ニ前進シ殊ニ師團野戰病院及繙帶所位置ノ撰定ハ特ニ示ス所ノ訓令ニ依ルヘシ

(十三) 輜重ハ各隊ノ宿營地ニ殘ルヘシ但シ前進ノ準備ヲ怠ルコト無ク護衛トシテ各歩兵聯隊ハ非戦闘員ト見做サルヘキ輕病兵百名ヲ殘留セシムヘシ

(十四) 各兵ハ制服ノ上衣ヲ著シ無蓋ノ毛皮帽ヲ冠リ肩ヨリ斜ニ外套ヲ著ケ重燒麵麩竝ニ一人分ノ煮肉ヲ携行シ且水筒ニ水ヲ用意ス

ヘシ

背囊ハ輜重ノ所在地ニ殘置スヘシ

(十五) 予ハ Plevna 大街道ノ南方高地上豫備隊ノ位置ニ在リ戦闘ノ經過ニ就キ可成屢報告ヲ該地ニ送ル可シ

終リニ臨ミ予ハ我皇帝陛下カ傳令將校ヲ以テ吾人ニ命シ給ヒシコト即チ Plevna ハ絶對ニ敵手ヨリ奪ハサル可カラサルコトヲ全軍ニ告知ス

以上 Plevna 攻撃ニ參與スヘキ總兵力ハ歩兵三十五大隊騎兵三十一中隊砲百八十四門及工兵約一中隊ナリトス

中將クリエデネルハ攻撃部署ヲ爲スニ當リテ Chivica 堡壘團ヲ攻略スルヲ以テ攻撃ノ最良手段ナリト信セリ是レ該堡壘團ヲ占領スレハ確實ナル據點ヲ得ルノミナラス優勢ナル敵ニ對シ假令攻撃不成功ニ終ルモ Bigarone 方向ニ退却スルコト容易ニシテ Tonau 河唯一ノ渡過點タル Sisto

トノ連絡ヲ確實ナラシムルヲ得ヘシト云フニ在リ此他尙同中將ノ左ノ地形判斷モ亦此攻撃ニ際シ加味セラレタリ

一、Plevna-Ruscuk 道ノ南側地形ハ通過困難ナリ

二、Radisevo ヨリ Plevna ニ接近スルコト容易ナリ

三、Grivica ノ西方高地上ノ堡壘團ヲ攻略後該地ヲ確實ニ占領センニハ

二縱隊ヲ以テ集中的ニ前進スルノ必要アリ故ニ有力ナル一部隊ヲ以テ Radisevo ヲ攻撃スルヲ要ス

緒戦(午後三時迄ノ情況)

三十日午前五時步兵第三十一師團ノ步兵三聯隊及砲兵第三十一旅團ノ五中隊ハ宿營地ニ輜重ヲ殘置シ Kojilovci 出發 Grivica ニ向ヒ步兵第二百二十三第三百二十一聯隊ノ順序砲兵ヲ步兵聯隊ヲ以テ前進ヲ始ム約六吉米行進ノ後 Grivica ノ東北方約五吉米 午前七時頃步兵第一旅團ヲ第一線トシ砲兵第一乃至第三中隊ヲ其中央ニ置キ步兵第二百二十二聯隊ヲ右翼步兵第二百二十

中將ウエル
ヤミノフ部
隊ノ情況
(附圖第三
十参照)

三聯隊ヲ左翼ト爲シ步兵第二百二十一聯隊及砲兵第四第六中隊ハ豫備隊ト爲リ第二線ヲ成形シ龍騎兵第十一聯隊ノ第三第四中隊ハ師團ノ右側ヲ「ド」ン哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ第二中隊ハ其左側ヲ警戒シ共ニ西南方ニ向ヒ行進ヲ繼續ス

當時濃霧一面ニ野ヲ覆ヒ道路ノ識別困難ヲ極ム午前八時 Grivica 東北方ニ吉米附近ニ到達シタル頃中將ウエルヤミノフ 步兵第三十一師團ノ主力ト共ニ前進セシ如シ ハ龍騎兵第十一聯隊ノ一斥候ヨリ「前方少シク右ニ偏スル處ニ土軍ノ堡壘アリ其兩翼ハ步兵ニ依リ占領セララル」トノ報告ヲ得幾モ無ク土軍陣地ヨリ飛來セル第一砲彈ノ方向トニ依リ師團ノ行進中道ヲ失セシコト判明シ急ニ右方ニ方向變換ヲ行ヒ步兵第二百二十一聯隊ヲシテ右翼第一線同第二百二十二聯隊ヲシテ左翼第一線トシテ展開セシメ同第二百二十三聯隊ヲ第二線トシ同時ニ砲兵第一中隊ヲシテ Grivica 東北約千五百米突ノ高地上第一線步兵聯隊ノ中間地區ニ陣地ヲ占領シ第七號角面堡ニ對シテ射撃ヲ開始セシメ爾餘

ノ砲兵第二第三第四第六中隊ヲシテ一時第二線豫備隊ノ位置ニ在ラシム
 暫クシテ濃霧霽レ クリヴィツ Givica 西北方ノ土軍陣地明瞭ト爲リシヲ以テ砲兵第二
 第三第六中隊等相次テ陣地ノ占領ヲ命セラル即チ砲兵第二中隊ハ第一中
 隊ノ右方ニ放列ヲ布キ同第三中隊ハ クリヴィツ Givica 東北方ノ斜面ニ陣地ヲ占領セ
 シモ前方ノ通視困難ナリシニ因リ半中隊毎ノ梯隊ト爲リテ約三百米突後
 退シ略第一中隊ノ左方ニ於テ新陣地ニ就キ次テ砲兵第六中隊モ亦第二中
 隊ノ右方ニ陣地ヲ占領シ第四中隊ハ豫備トシテ陣地ノ右翼後方凹地ニ在
 リ時ニ午前十時頃ニシテ此頃第一線ノ步兵ハ既ニ展開ヲ結了セシモ距離
 遠クシテ未タ銃火ヲ交ユルニ至ラス爾後此方面ニ於テハ此ノ如キ状態ヲ
 以テ正午十二時ニ至ル迄砲兵四中隊ノミ戰鬪ヲ繼續セリ
 中將ウエルヤミノフ部隊ノ豫備隊ト爲ルヘキ步兵第五師團ノ三聯隊第十
 七第十八第二十及砲兵第五旅團ノ五中隊ハ午前五時頃 トラスチニク Trastjenik 出發 タカシタ Givica
 ニ向ヒ午前九時頃其先頭ヲ以テ步兵第三十一師團ノ後方ニ到著シ同地ニ

開進シ兵團豫備隊タル步兵第三十師團ノ第二旅團及砲兵第三十旅團ノ三
 中隊ハ ブルガルスキ Blagoviski-Karagac ヨリ所命ノ地點ニ著後更ニ前進シ クリヴィツ Givica 村ノ東方
 約四吉米附近ニ於テ プレナ Plevna-Ruscuk 大街道附近ニ位置シ又 ズガリヤ Zgaljavec ヨリ來
 レル騎兵第十一師團ノ第一旅團龍騎兵第十一聯隊ノ第一第二中隊及槍騎
 兵第十一聯隊ノ第三第四中隊及騎砲兵第十八中隊モ旅團長少將ヒルデブ
 ランドノ指揮ヲ以テ兵團豫備隊ノ位置ニ達セリ

午後一時軍團砲兵部長ノ意見具申ニ因リ砲兵第五旅團ノ第五中隊ハ砲兵
 第二中隊ノ右側ニ進入セシメラレ砲兵第三十一旅團ノ第六中隊ハ師團ノ
 豫備隊ニ編入セラレ第四中隊ノ許ニ到レリ 第六中隊ハ陣地占領後良陣地ヲ得ル
 爲ニ前方ニ陣地ヲ變換セントシテ多
 大ノ損害ヲ受ケ一時後方ニ退
 却セシメラレタルモノナラン 爾後露軍ノ砲兵稍活氣ヲ帶ヒタルモ步兵ノ攻撃準
 備ニ何等ノ影響ヲ與ヘス是レ敵堡壘トノ距離九斤砲ニテモ尙遠大ナリシ
 ノミナラス之ニ對スル土軍ノ砲十二乃至十六門 土軍ノ砲兵ニ就テハ確實ノ記録
 無キモ第七號角面堡内ノ砲四門
 無キモ第七號角面堡内ノ砲四門 ヤニク Tank Bojic 高地ノ東端ニ在リシ砲二門 プレナ Plevna 東方第九號角面堡ノ砲六門
 其他最初アヂルバシアノ豫備隊ニ在リシ砲四門計十六門ナルカ如シ

護セラレ在リシヲ以テナリ
同時頃歩兵第二百二十三聯隊第二第三大隊ハ歩兵第二百二十一聯隊ノ後方ニ
又第二百二十三聯隊第一大隊ハ第二百二十二聯隊ノ後方ニ前進セシメラレタ
リ

是ヨリ先中將ウエルヤミノフ部隊ノ右側ノ警戒竝ニ少將ラシユカリエフ
ノ騎兵トノ連絡ニ任セシ龍騎兵第十一聯隊ノ第三第四中隊ハVidicaノ南
方地區ニ在リシカ兵團司令官ハ午後二時兵團豫備隊ノ位置ニ在リテ同騎
兵部隊ヨリ土軍ノ歩兵約一大隊騎兵約四百騎軍ノ右側ニ前進ストノ報ヲ
得直ニ龍騎兵第十一聯隊ノ第一中隊及騎砲兵第十八中隊ノ砲二門ヲ派遣
シ之ヲ驅逐シテ少將ラシユカリエフノ騎兵トノ連絡ヲ恢復セシメタリ爾
後中將ウエルヤミノフ部隊ハ午後三時頃迄情況變化無シ

中將シアコ
ウスコエ部
隊ノ情況
(附圖第三)

中將シアコウスコエハ二十九日夜中將クリユデネルヨリ命令ヲ受領シ同
夜左ノ命令ヲ下セリ

十參照)

敵ハPlevnaヲ守備シ其北方東方及南方即チOpance-Bukovlog, Grivica 及
Radisevo 附近ニ於ケル高地ニ防禦工事ヲ施セリ其兵力三萬乃至四萬ニ
シテ別ニ約二千人ヨリ成ル一支隊ハLovaニ在リ明三十日中將男爵ク
リユデネル及中將公爵シアコウスコエノ混成兵團ハ中將男爵クリユデ
ネルノ指揮下ニ敵ヲ擊破シテPlevnaヲ占領シVite河ヲ越ヘテ遁ルル土
軍ノ退路ヲ遮斷セントス

之カ爲中將男爵クリユデネルノ直屬部隊ハ東方ヨリGrivicaニ予ニ直屬
セル軍隊ハ東南及南方ヨリRadisevoニ向ヒ攻撃前進ス

予カ指揮下ニ在ル部隊ノ前進ハ左ノ方法ニ依リ實行スヘシ

一、右前衛歩兵第二百二十六聯隊及砲兵第三十二旅團ノ第一第三中隊ハ歩
兵第二百二十六聯隊長大佐サランチヨフ之ヲ率キNgajivecヲ經テRad-
isevoニ前進スヘシ

左前衛歩兵第二百二十五聯隊ノ第一第二大隊、砲兵第三十二旅團ノ第四

及第六中隊ノ半部ハ少將ゴルシヨコフノ直接指揮下ニ Pelsat ヲ經テ

Radisevo ニ前進スヘシ

Radisevo 到着後ハ兩縱隊共ニ少將ゴルシヨコフノ指揮ニ屬シ Radisevo

北方ノ高地ニ前進スヘシ

二主力歩兵第百十七第百十八聯隊砲兵第三十旅團ノ第一第三第五中隊

ハ少將ホルトラツキーノ指揮ニ屬シ Pordin, Pelsat ヲ經テ Radisevo

ニ向ヒ前進スヘシ

三歩兵第百二十五聯隊第三大隊砲兵第三十二旅團第六中隊ノ四門ハ少

佐ドムブロスキノ指揮下ニ Pelsat ヲ經テ Bohot 方向ニ前進シ Bohot

ニ達スルヤ侍從將官少將スコベレフノ指揮ニ入ルヘシ

少將スコベレフハ二十九日附近土軍陣地ヲ偵察シ中將クリコデネルニ爾後ノ動作ヲ

容易ナラシムル爲ニ同少將ニ歩兵二三大隊砲兵少クモ一中隊ヲ附スルヲ要スト意見ヲ具申

ス今茲ニ少將スコベレフニ少佐ドムブロスキノ部隊ヲ配屬セシメ

ラレシハ蓋シ同少將ノ意見具申ノ結果ニ依ルモノト察知スルヲ得

四高加士哥薩克騎兵旅團哥薩克騎兵二聯隊ドン哥薩克騎砲兵第八中隊

及騎山砲中隊ハ侍從將官少將スコベレフノ指揮下ニ我左翼ヲ安全ナ

ラシムル爲少佐ドムブロスキノ部隊到着後 Lovca ニ對スル Plevna

ノ南面ニ向ヒ威力偵察ヲ爲スヘシ

此際少佐ドムブロスキノ部隊ハ Lovca ニ對シ背後ノ警戒ニ任シ特別

ノ場合起ラサル限リ他ノ目的ニ使用スヘカラス

五騎兵第十一師團ノ第一旅團龍騎兵第十一聯隊二中隊欠槍騎兵第十一

聯隊第三第四中隊騎砲兵第十八中隊ハ少將ヒルデブランドノ指揮下

ニ Turski-Posrenik ノ方向ニ前進シ兵團豫備隊ノ位置ニ到ルヘシ

龍騎兵第十一聯隊ノ二中隊ハ歩兵第三十一師團ノ右翼ニ在リテ警戒

ニ任スヘシ

槍騎兵第十一聯隊ノ第一第二中隊ハ同聯隊長大佐ライシッヒノ令下

ニ我部隊ト共ニ行進スヘシ

六出發時刻左ノ如シ

右前衛ハ午前四時半、左前衛ハ午前四時、主力ハ午前五時、少佐ドムブロスキ―部隊ハ午前四時ニ出發スヘシ、騎兵第十一師團ノ二聯隊ハ中將クリユデネル部隊ノ右翼前ニ前進スヘキ龍騎兵二中隊ヲ午前三時ニ出發セシムヘシ、而シテ槍騎兵第十一聯隊第一第三中隊ハ中將タチシユエチエフノ指揮下ニ午前四時出發シ、グロウイック Grivica, ラヂゼボ Radisevo 線ノ左方 プレヴナ Plevna-Lovca 街道ニ至ル間ノ威力偵察ヲ行ヒ爲シ得ル限り歩兵ノ展開ヲ掩護シ次テ計畫ニ示ス地點ニ到ルヘシ

七、砲兵彈藥縱列ハ中佐シヨトリエウイックノ指揮下ニ午前六時出發歩兵第十七聯隊ノ一中隊ノ掩護下ニ ペリス Pelisat ニ前進シ該村ノ前方ニ位置スヘシ

八、前進繃帶所ハ ラヂゼボ Radisevo ノ後方ニ設置スヘシ

九、輜重ハ歩兵第二百二十六聯隊ノ二中隊ノ掩護ノ下ニ ポルヂム Pordim ニ止リ該地ニ車陣ヲ作ルヘシ

十、歩兵第三十師團第二旅團ハ軍ノ豫備隊ト爲リ中將男爵クリユデネルノ命ニ依リ行動スヘシ

十一、上述以外ノ命令ハ戦闘ノ進捗ニ應シテ發ス

十二、予ハ軍主力ノ所在地ニ在リ

中將シアコウスコエ部隊ノ出發ハ豫定ヨリ一時間後レ右前衛ハ午前五時三十分、左前衛ハ午前五時 ポルヂム Pordim ヲ出發シ、此際工兵第五大隊ノ第一中隊到着セシヲ以テ一隊ハ右前衛ニ、二小隊ハ左前衛ニ配屬セラレタリ 左前衛ハ ペリス Pelisat ヲ經テ前進シ右前衛ハ ズガルユベック Zagaljuvec-Grivica 道上 グロウイック Grivica ノ東南約五吉米ニ在ル十字路ヲ西南ニ轉シ左前衛ノ後尾ヲ續行シ午前九時前 ラヂゼボ Radisevo 附近ニ達ス

是日朝來濃霧アリ午前九時ニ至リ稍稀薄トナルヤ ムルクラ Murkli 川右岸ノ土軍ハ露軍ヲ認メテ ラヂゼボ Radisevo ニ砲撃ヲ開始セリ是ニ於テ少將ゴルシコフハ諸隊ヲシテ戦闘隊形ニ移ラシム乃チ歩兵第二百二十六聯隊ハ ラヂゼボ Radisevo ノ東北方ニ歩兵第二百二十五聯隊第一大隊ハ西北方ニ展開シ次テ午前九時半頃

砲兵第三十二旅團ノ第一第三中隊ハ ラヂヤエボ Radzevo 東北方及北方高地上ニ放列
ヲ布置シ午前十時頃ニハ砲兵第三十二旅團第四中隊及第六中隊ノ半部モ
ラヂヤエボ Radzevo 西北方陣地ニ進入シ歩兵第二百二十五聯隊ノ第二大隊ハ旅團豫備
隊トシテ ラヂヤエボ Radzevo ニ位置セリ

是ヨリ先中將シッコウスコエ直轄ノ歩兵第三十師團第一旅團及砲兵第三
十旅團ノ三中隊 露國參謀本部戰史ニハ之ヲ豫備隊ト稱ス ハ左前衛ノ後方ニ續行シ ラヂヤエボ Radzevo ノ南方
約二吉米ニ到リ軍團豫備隊ト爲リ槍騎兵第十一聯隊ノ二中隊ハ各一小隊
ヲ兩翼ニ出シ以テ隣接部隊トノ連絡ニ任セシメ殘餘ハ軍團豫備隊ト共ニ
位置セリ

露軍砲兵三中隊半ハ陣地進入ヲ終ルヤ直ニ砲撃ヲ開始シ砲兵第三十二旅
團ノ第一第三中隊ハ第十四號堡四門第四中隊及第六中隊ノ半部ハ第十一
號堡(二門)ニ對セリ午前十一時頃土軍ノ砲三門第十一號堡ト第十四號堡ト
ノ中間ニ現出シ外ニ四門ノ砲モ亦土軍ノ前進陣地ヨリ露軍ノ砲兵第四中

隊ニ向ヒ射撃セリ第四中隊ハ忽チ中隊長以下十七名ノ死傷ヲ生シ午後零
時半頃少將 ゴルシニコフ Golshnikov ノ命ニ依リ軍團豫備隊ノ位置ニ退却セシメラレ
之ニ代リテ同豫備隊内ヨリ砲兵第三十旅團ノ第一中隊ノ増加ヲ得同中隊
ハ ラヂヤエボ Radzevo ノ東北方陣地ニ進入シ直ニ第十四號堡ニ向ヒ射撃ヲ開ク是ニ
於テ土軍ノ砲ハ漸次沈黙シ露軍砲兵ハ歩兵ニ向ヒ目標ヲ變換セリ午後一
時半ヨリ二時ノ間ニ第十一號及第十四號堡ハ著シク破壊セラレ其守兵亦
漸次減少セリ之ヲ要スルニ露軍砲兵ハ午前十時頃ヨリ約四時間ニ互ル砲
戰ニ由リ大ナル效果ヲ收ムルヲ得タリ 是時砲兵第三十旅團第三第五中隊ハ尙軍團豫備隊ノ位置ニ在リテ砲戰ニ參與セス
是ヨリ先中將シッコウスコエハ ラヂヤエボ Radzevo 附近豫備隊ノ位置ニ在リ諸情況
ヲ綜合シ敵ヲ攻撃スルニ決シ豫備隊ヲ近ク ラヂヤエボ Radzevo ニ前進セシム
午後二時中將シッコウスコエハ少將スコベレフヨリ左ノ要旨ノ報告ニ接
セリ

一、予ハ豫定ノ如ク全戰線ノ左側ニ在リ プレヴァナ Plevna ト同市ノ東方堡壘團トノ

中間地ニハ砲兵ヲ有スル歩兵集團アリ

ホムチヤ

Lovca ヨリノ敵ノ行動ニ就テハ何等知ルヲ得ス予ハ此方面ノ警戒ニ

就テハ十分ノ處置ヲ施セシモ敵ノ慣用手段ヨリ推察シテ敵カ Lovca

ヨリ攻勢ヲ取ルモノト思フヲ得ス

予ハ先我左翼ヲ強固ニスヘキ本然ノ任務ヲ全フシ次テ戰鬪ノ進捗ニ

應シ猛烈ニ敵ヲ追撃セントス今迄ノ戰鬪經過ニ依リ閣下ハ何時總攻

撃ニ移ラルルヤ尙詳細ノ豫定戰鬪經過ニ付通報ヲ乞フ

右ノ報告到著後幾モ無ク少將スコベレフノ一斥候ハ歩兵第百二十五聯隊

ノ左翼前ニ土軍歩兵ノ一團現出セルコトヲ報セシヲ以テ中將シッコウス

コエハ豫備隊ヨリ第百十八聯隊ノ撤兵第三中隊ヲ此方面ニ派遣セリ

同時頃中將シッコウスコエハ中將クリュデネルヨリ我軍砲兵ノ爲十分ニ

展開スヘキ地點ヲ發見セシヤ攻撃準備ノ爲已ニ十分ノ戰鬪ヲ交ヘタルヤ

高加士哥薩克騎兵旅團ハ何ヲ爲セシヤ又砲彈ハ十分ナリヤトノ質問ヲ受

ケ直ニ左ノ要旨ノ報告ヲ出セリ

ラヂシキエボ

Radiševic ハ砲火ヲ交ユルコト無クシテ占領セリ砲兵ハ同地ノ西北及北

方高地ニ展開セリ敵ノ砲兵ハ我ヲ瞰制スル高地ニ在リテ Radiševic ニ對

スルモノ六門ヨリ多カラスシテ其砲火ハ漸次衰ヘツツアリ我砲兵陣地

ノ地幅ハ十分ナリ前面ノ敵ヲ攻撃スル爲ニハ結局堡壘ノ存在スル高地

ニ攀登スルノ外無シ高加士哥薩克騎兵旅團ノ報告ニ依レハ敵ハ Lovca

ヨリ前進ノ模様無シ Mota ニ通スル道路上即チ我軍ノ左側ニハ敵ノ騎兵

及砲兵アリ Plevna ト Grivica 高地トノ中間ニハ多數ノ敵歩兵在リト云フ

中將シッコウスコエハ午後二時半頃砲火ノ效力益熾大ト爲ルヲ認メ今ヤ

歩兵攻撃ノ期熟スルモノトセシニ會右方友軍歩兵モ Grivica ニ現出シ

方部隊ハ未タ攻撃前進ニ移ラス同地ニ現出セシモノハ歩兵第百二十二聯隊ノ一部分ナリ

且敵ノ輜重カ Plevna 東方ノ陣地ヨリ退却ニ就キ竝ニ少將スコベレフノ部隊ハ彼ノ前面ニ在ル敵ヲ牽制シ以テ總

攻撃ヲ援助シ得ヘキ情況ニ在ルヲ知り直ニ諸隊ニ攻撃前進ヲ命セリ

午後二時五十分中將シァコウスコエハ中將クリユデネルヨリ「左方部隊ノ
 情況不明ナル爲斷乎タル處置ヲ取ル能ハス貴軍砲兵發射ノ情況ヨリ察ス
 レハ貴軍ハ未タ何等ノ發展ヲ爲ササルモノノ如シ予ハ切ニ貴軍カ目下攻
 撃ヲ爲シ得ヘキ情況ニ在ルヤ否ヤヲ知ラント欲ス貴隊ノ攻撃ヲ右翼ヨリ
 援助シテ可ナルヤ直ニ返答ヲ乞フ」ナル質問ニ接セシモ已ニ攻撃命令ヲ下
 セシ後ナルカ爲一層從來ノ決心ヲ強固ニシテ直ニ敵ノ堡壘ニ對スル攻撃
 ハ既ニ開始セラレタリ」ト報告シ且之ニ「堡壘ノ正面及側面ノ掩蓋ハ甚タ強
 固ナリ歩兵一聯隊、九斤砲一中隊ヲ *Rudnev* ニ派遣セラレンコトヲ希望ス」
 ト附記セリ

少將スコベ
 レフ及少將
 ラシユカリ
 エフ部隊ノ
 情況

少將スコベレフノ指揮スル高加士哥薩克騎兵旅團騎兵二中隊、砲十二門ハ
Plevna 攻撃ニ關スル命令ヲ三十日午前六時頃受領セシヲ以テ午前五時ニ
 出發スヘキ命令ヲ實行スル能ハスシテ午前七時半 *Bohot* ノ宿營地ヲ出發
 シ當時同地ニ向ヒ前進中ナリシ歩兵第二百二十五聯隊第三大隊及砲兵第三

十二旅團第六中隊ノ四門ニ速ニ *Plevna-Lovcha* 道ニ進出スヘキ命ヲ與ヘ少將
 スコベレフハ自ラ騎兵二中隊、騎砲四門ヨリ成ル前衛ヲ指揮シテ *Plevna* 南
 方 *Brestovica* ニ向ヒ前進シ旅團ノ主力ハ高加士哥薩克騎兵旅團長大佐ツト
 ルミンノ指揮下ニ濃霧中ヲ前衛ノ後方約一吉米ノ距離ニ續行セリ
 別ニ處置スル所
 無カリシカ如シ

午前八時頃前衛ハ綠山ニ達ス
Brestovica 川左岸ニ接スル山背ヲ第一嶺 *Kojin* 東方ノ山背ヲ第二嶺
Zelenobrezski 川右岸ニ接スル山背ヲ第三嶺ト稱ス(地形圖第一參照) 是時少將スコベレフハ
 其本隊ヨリ右翼シァコウスコエ部隊トノ連絡ヲ保持スル爲竝ニ *Vit* 河ニ
 對シ左翼ヲ警戒スル爲一部隊ヲ出サシメ主力ヲ綠山第一嶺ニ止メ前衛ノ
 ミヲ以テ綠山第三嶺ニ派遣ス前衛ハ同嶺ニ達シ *Plevna* ノ西南端ニ近ク
Zelenobrezski 川左岸敵ノ堡壘線ヲ認メ又遙ニ *Plevna-Grivica* 間高地トノ中間
 ニ歩兵ノ集團
少將スコベレフハ之ヲ二萬ト算
 セシモ實際ハ一萬五千位ナリキ ヲ望見セリ
 午前九時頃シァコウスコエ部隊ノ砲火開クル頃少將スコベレフノ前衛ニ

屬スル砲四門ハ *Zelenobrezski* 川左岸ノ土軍陣地ニ向ヒ砲火ヲ開キ土軍モ亦之ニ應射ス砲戰約一時間ノ後土軍歩兵約四大隊ハ兩翼ヲ不正規騎兵ニ掩護セラレテ前進ヲ始メタリ是ニ於テ前衛ハ且戰ヒ且退キ綠山第一嶺ニ展開セシ旅團ノ主力ニ收容セラレタリ土軍歩兵ハ追撃ヲ續行シ綠山第二嶺ニ及ヒタルモ爾後前進ヲ爲サス少將スコベレフノ部隊ハ綠山第一嶺ニ停止シ友軍ノ戰況發展ヲ待チシカ後シッコウスコエ部隊ハ *Kudavovo* 附近ヨリ盛ニ土軍陣地ニ向ヒ砲撃シ今ヤ其攻撃前進モ亦近キニ至リシヲ以テ前面ノ敵ヲ牽制シ且要スレハ時機ヲ失セス最終ノ攻撃ニ移ル爲綠山第三嶺ヲ占領シ置クノ必要ヲ感シ綠山第一嶺ニハ *Lovca* 方面ニ對スル警戒及萬一ノ場合ニ於ケル收容トシテ歩兵一小隊騎兵十中隊及騎砲六門並ニ騎山砲中隊ヲ殘置シ歩兵第百二十五聯隊第三大隊一小隊欠騎兵二中隊及砲兵第三十二旅團第六中隊(四門)ヲ以テ前進ヲ開始ス 以下附圖第三十一參照 土軍ハ露軍歩兵ノ前進ヲ見ルヤ綠山第二嶺ヲ捨テテ第三嶺ニ退ク露軍ハ

之ヲ撃退シテ *Zelenobrezski* 川左岸ノ陣地ニ近キ綠山第三嶺ニ工事ヲ施シ對岸ノ敵ニ對シ銃砲火ヲ交換シ殊ニ砲四門ハ *Tucenica* 川右岸ノ敵ヲ射撃ス是時ニ當リ少將スコベレフハ強力ナル土軍ノ斥候 *Lovca* 方面ヨリ現出セルノ報ニ接シ有力ナル斥候ヲ此方面ニ派遣セシカ幾モ無ク此敵ハ *Lovca* 方面ニ退却セシヲ知レリ

少將ラシユカリエフハ槍騎兵第九聯隊(ドン)哥薩克騎兵第九聯隊及騎砲兵第十八中隊ヲ指揮シ午前七時過 *Brošjanica* ノ宿營地ヲ發シ午前八時過キ *Red. Kolesovrat* 二到著シ爾後 *Mevina* 方面ニ對シ斥候ヲ派遣シ午後六時 後ニ述フル中將クリユデネルノ命令到著迄 現狀ヲ維持モリ

戰鬪實行及終局

中將シッコウスコエノ午後二時ニ發セシ報告ハ二時四十分中將クリユデネルノ許ニ達セリ依テ中將クリユデネルハ今ヤ攻撃ヲ延期スヘキ時機ニ非スト判斷シ直ニ中將ウエルヤミノフニ攻撃ノ命令ヲ下セリ

午後三時ヨリ午後四時ニ至ル中將ウエルヤミノフ部隊ノ情況(附圖)

中將ウエルヤミノフ部隊ノ攻撃ハ午後三時ニ開始セラレタリ其右翼隊ハ步兵第三十一師團第一旅團長少將ブエロコピトフノ令下ニ步兵第百二十一聯隊(二中隊欠)及第百二十三聯隊(第一大隊欠)ヨリ成リ狹キ山背及其以北ノ地區ヨリ第七第八號堡壘ニ向ヒ左翼隊ハ中將ウエルヤミノフノ直轄ニ屬シ步兵第百二十二聯隊(二中隊欠)及步兵第百二十三聯隊第一大隊ヨリ成リ上記山背ノ南方地區ヨリ第八號堡ノ南面ニ向ヘリ

步兵第百二十一聯隊ハ第一第二大隊ヲ第一線第三大隊^{二中隊欠}ヲ第二線ト爲シテ左翼後ニ續行セシム斯クテ第一線部隊ハ間斷無ク前進ヲ繼續シ狹キ山背上ニ在ル土軍ノ前進陣地ヲ奪取ス然レトモ尙其前面角面堡ニ至ル迄約九百歩アリ其右翼ニ在リシ第一大隊ハ敵ノ重層射撃ヲ蒙リ深谷ヲ下リ再ヒ對岸ニ攀登セサル可カラサル爲容易ニ前進スル能ハス第二大隊ノ前進スヘキ地形ハ第一大隊ニ比シ稍容易ナルヲ以テ同大隊ハ最先ニ第七號角面堡ニ突撃セシモ成功セスシテ將校ノ大部分及下士卒ノ過半

第七中隊ノ如キハ

僅カニ三十三名ヲ餘セリヲ失ヒ辛フシテ敵前八十乃至百歩ノ位置ニ停止セリ是時第二線ニ在リシ第三大隊(二中隊欠)ハ聯隊ノ左翼ニ増加シ第七號ト第八號堡トノ中間ニ向ヒ攻撃セシモ亦第二大隊ト同シク撃退セラレタリ此ノ如クシテ步兵第百二十一聯隊ノ攻撃ハ三時三十分頃全然失敗ニ歸シ此時機迄ニ將校二十名下士卒一千名ヲ失ヘリ

步兵第百二十三聯隊ノ第二第三大隊ハ步兵第百二十一聯隊ノ左翼後ニ續行セシカ步兵第百二十一聯隊ノ攻撃不成功ニ畢ルヤ直ニ先其第二大隊ヲシテ援助ノ爲ニ前進セシム然ルニ亦著シキ損害ヲ受ケ同第三大隊モ同一ノ情況ヲ繰返シテ兩大隊共ニ第八號角面堡前二三百歩ノ位置ニ停止セリ

中將ウエルヤミノフ部隊ノ左翼隊步兵第百二十二聯隊(二中隊欠)及第百二十三聯隊ノ第一大隊ハ步兵第百二十二聯隊(二中隊欠)ヲ第一線トシ同第百二十三聯隊ノ第一大隊ヲ第二線トシ敵ノ猛射ノ下ニ グリウイツァ CHIVGA 西方谷地ノ西方前岸ニ在リシ土軍ヲ驅逐セシモ爾後ノ前進ハ第八號角面堡及其南方ニ

連綿セル散兵壕ヨリノ猛射竝ニ *Travina* 東方ニ在ル第九號堡ヨリノ側射ノ爲實行スル能ハスシテ敵前約三百歩ノ位置ニ停止シ赤手又ハ銃劍ヲ以テ掩體ヲ掘開シ辛ウシテ其位置ヲ保持ス此ノ如クニシテ此方面ノ攻撃モ亦右翼ト大差無ク未タ奏功セス此間中將ウエルヤミノフノ豫備隊ノ内歩兵第十七第十八聯隊ハ右翼隊ノ右翼後ヲ同第二十聯隊ハ *Chivica* ニ向ヒ前進中ナリ

是ヨリ先砲兵第五旅團第一中隊及同第三十一旅團第一第二第三中隊ノ位置セシ *Grivica* 東北方ノ陣地ハ歩兵第百二十一及同第百二十二聯隊ノ攻撃ヲ援助スル爲ニハ距離遠隔ニ失シ效果十分ナラサリシニ因リ歩兵第百二十一聯隊ノ敵ノ前進陣地ヲ占領スルヤ 附圖第三十二參照 砲兵第三十一旅團第一第二中隊ハ直ニ該地ニ陣地ヲ進メ 第二中隊ノ半部ハ更ニ前進シテ第七號堡ノ北方ニ陣地ヲ變換セリ 又豫備隊ニ在リシ同旅團第四中隊モ陣地進入ノ命ヲ受ケテ其左方標高一〇〇高地ニ到リ陣地ヲ占領セリ然レトモ此等砲兵ノ同處ニ到著セシ頃ハ第一線歩兵ハ

午後三時ヨリ午後四時頃ニ至ル中將シアコウノスコエ部隊ノ情況(附圖第三十一參照)

既記ノ如ク砲兵ノ援助ヲ待タスシテ敵陣地ニ突入シ攻撃失敗ニ畢レリ中將シアコウスコエノ攻撃命令ニ依リ少將ゴルシヨコフノ旅團ハ前進ヲ開始シ歩兵第百二十六聯隊第二大隊ノ二中隊欠ハ右翼隊ト爲リテ第十四號堡壘ニ此時機迄豫備隊タリシ歩兵第百二十五聯隊第二大隊ハ中央隊ト爲リテ第十一號堡壘ニ歩兵第百二十五聯隊第一大隊ハ左翼隊ト爲リテ土軍ノ前進陣地ニ向フ各部隊前進ヲ始ムルヤ土軍ハ猛烈ナル射撃ヲ開始シ今迄沈黙セシ砲兵モ亦活潑ナル射撃ヲ開キ露軍ハ前進ノ初メニ當リ既ニ多クノ損害ヲ蒙レリ之ニ加フルニ炎熱燒クカ如ク且地層軟ニシテ灌木野ヲ掩ヒ前進頗ル困難ナリ

右翼隊歩兵第百二十六聯隊第二大隊ノ二中隊欠ノ主力 同聯隊ノ二三中隊ハ歩兵第百二十五聯隊第二大隊ト共ニ第十一號堡ニ向ヘリ ハ一彈ヲ發スルコト無クシテ第十四號堡壘ニ突撃ヲ決行シ遂ニ同堡壘ヲ占領シ砲二門ヲ奪取シテ左方ニ旋回シ第十號及第十一號堡壘ニ向ヒタルモ土軍ノ火力ニ壓倒セラレ豫備隊ノ増加モ其效無ク前進困

難ノ情況ト爲レリ

中央隊(歩兵第百二十五聯隊ノ第二大隊ニシテ同第百二十六聯隊ノ二三中隊ヲモ加ヘリ)ハ第十一號堡壘ニ向ヒ近距離ヨリ猛烈ニ突撃ヲ行ヒ一旦堡壘ヲ占領セシニ幾モ無ク優勢ナル土軍ノ爲ニ回復セラレ堡壘ノ前方近距離ニ停止ス是時將校ノ大部分及下士卒百分ノ四十ヲ失ヘリ左翼隊(歩兵第百二十五聯隊第一大隊)ハ前進陣地ノ左翼ヲ包圍セン爲勇敢ニ前進シ散兵壕ヲ距ルル二三百歩ノ地ニ達セリ是時前進陣地内ノ土軍ハ已ニ露軍ノ砲火ニ依リ頗ル難況ニ在リ且 *Tugenia* 川ノ左岸ニ少將スコベレフノ部隊現出セシ爲遂ニ陣地ヲ棄テ第十二號堡壘ニ退却セリ因テ第一大隊ハ之ヲ追フテ第十二號堡壘前百五十乃至二百歩ニ近接セシニ恰モ土軍ノ増加兵來リ茲ニ兩軍近距離ニ於ケル激烈ナル戰鬪ヲ交ユルニ至リ爾後戰鬪進捗セス是ヨリ先 *Rudisevo* 北方高地上ノ砲兵第三十二旅團ノ第一第三中隊及第六中隊ノ半部及同第三十旅團第一中隊ハ敵陣ヲ射撃シツツ在リシカ歩兵ノ

攻撃前進ヲ爲スニ當リテ砲兵第三十旅團第三第五中隊モ放列線ニ加入セシメラレ其兵力五中隊半(四十四門)ト爲リ歩兵ノ前進ヲ始ムルヤ極力之ヲ援助セリ以下附圖第三十二參照最右翼ニ位置セシ砲兵第三十二旅團ノ第一中隊ハ第十四號堡壘露軍ノ有ト爲ルヤ獨斷ヲ以テ同堡壘ノ近傍ニ陣地ヲ變換セシモ適當ナル目標ヲ發見スル能ハスシテ舊陣地ニ歸來セリ幾モ無ク軍團砲兵部長ノ命ニ依リ第三十旅團及第三十二旅團ノ各第三中隊ハ第十四號堡壘ノ東方ニ前進シ第十一號堡壘ニ向ヒ射撃ヲ開始シ大ニ歩兵ノ攻撃ヲ容易ニセリ

午後四時頃中將シヤコウスコエノ豫備隊ハ *Rudisevo* ニ近ク前進シ歩兵第百十八聯隊ノ第一第二大隊及同第百十七聯隊ノ第一大隊ハ村ノ東方ニ歩兵第百十八聯隊ノ第三大隊同第百十七聯隊第二第三大隊ハ同村西方約二吉米ニ前進セリ

中將ウエル
ヤミノフ部

午後四時半以後ウエルヤミノフ部隊ニ於テハ堡壘ニ肉薄セル歩兵ヲ援助

隊午後四時
以後午後六時
時頃迄ノ情
況(附圖第
十三參照)

セント欲シ豫備砲兵四中隊ノ内砲兵第五旅團第四中隊ヲ砲兵第三十一旅團主力ノ陣地左翼ニ増加セシモ功ヲ奏セス *Chivice* 角面堡ニ向ヘル歩兵ノ反復實施シタル突撃ハ悉ク不成功ニ畢レリ
歩兵ノ突撃失敗後 *Chivice* ノ東方ヨリスル砲兵ノ援助射撃ハ其效力頗ル微弱ナリシヲ以テ午後六時頃迄ニ砲兵第五旅團第一中隊ハ其陣地ヲ敵ノ前進陣地ニ變換シ尙豫備トシテ控置セル砲兵第五旅團第二第五中隊モ亦陣地進入ヲ爲シテ第七號堡壘東方ノ砲兵線ニ加ハリ各方面凡ソ千三百乃至千五百米突ノ距離ヨリ射撃ヲ開始セリ此陣地變換ハ固ヨリ戰鬪ノ結果ニ重大ノ影響ヲ與フヘキモ時期既ニ遅ク夕陽將ニ西ニ傾カントシ且敵前最近距離 近クハ三十米突 ニ肉薄セル我歩兵ノ障礙ニ由リ十分ノ威力ヲ發揚スル能ハサリキ

歩兵第五師團(三聯隊)ハ前ニ述ヘタル如ク二部ニ分レ歩兵第一旅團第十七第十八聯隊ハ右翼隊ノ後方ニ又歩兵第二十聯隊ハ左翼隊ノ後方ニ續行セ

シカ第一線聯隊ノ攻撃失敗ニ歸スルヤ同第一旅團ハ右翼隊援助ノ命令ニ接シ第七號角面堡ノ東北面ニ向ヒタルニ敵ノ猛射ト角面堡前ノ深谷ニ因リ前進一時困難ヲ極メタルモ午後六時頃勇ヲ鼓シテ遂ニ深谷ヲ越エ漸次右方ニ移リツツ角面堡ノ側面及背後ヨリ迫ラントシ大ナル損害ヲ顧ミス先角面堡ノ附近ニ在ル敵ノ散兵壕ヲ占領シ次テ數回角面堡ニ向ヒ突撃ヲ施行セリ然レトモ角面堡ヨリノ三層射撃胸牆斜堤上及外岸頂ニ陥リ非常ノ損害ヲ來タシ一タヒ斜堤ヲ占領セシモ間モ無ク *Yanki Main* 高地ヨリスル砲兵ノ側射ヲ受ケ同時ニ土軍豫備隊ノ逆襲シ來ルニ遭ヒ遂ニ退却スルニ至レリ

歩兵第二十聯隊長ハ左翼隊ノ攻撃不成功後直ニ増援ノ爲派遣セラレ *Chivice* 村ヨリ第八號角面堡ニ向ヒテ前進シ第二百二十二聯隊ノ後方ニ達シタリシモ角面堡ニ向フ突撃ヲ施行スルコト無ク單ニ此方面ニ於ケル後援トシテ停止セリ

兵團豫備隊タル步兵第百二十聯隊砲兵第三十旅團第二第四中隊步兵第百十
九聯隊砲兵第三十旅團第六中隊ハ後ニ至リ記述スル如ク中將シアコウスコエ部隊ノ右翼ニ増加シテ戰闘セリハ當時其位置ヲ進メグライツ
ボルト東方一

午後四時以
後ニ於ケル
中將シアコ
ウスコエ部
隊ノ情況
(附圖第三
十三參照)

前ニ述ヘタル如ク少將ゴルシニコフ旅團ハ第十四號堡ヲ占領セシモ爾後土軍ノ抵抗頑強ニシテ攻撃毫モ進捗セス午後四時稍過キニハ損害及疲勞ノ爲全線停止スルノ已ム無キニ至レリ此機ニ乘シ敵ノ出撃アリ

附記 オスマンパシアハ總豫備隊ヲ プレツナ Plevna 東南陣地ニ加ヘ又左翼師團

(アデルパシア)ヨリモ二三大隊ヲ招致シ中將シアコウスコエ部隊ニ對

シ逆襲ヲ試ム第十二號堡ノ砲七門是ヨリ先前進陣地(タヒルパシア)ノ砲四門ハ第
十二號堡壘ニ退キ陣地ヲ占領シ在來ノ砲三門

ト合シ七門
ト爲レリ第十號堡壘ニ在リシ砲二門ハ直ニ射撃ヲ開始シ次テ午後五

時頃新ニ砲六門ハ第十二號ト第九號堡壘トノ中間ニ陣地ヲ占領シ射

撃ヲ開始シ友軍步兵ノ動作ヲ援助ス

第一ニ土軍ノ逆襲ヲ受ケタルハ步兵第百二十五聯隊ノ第一大隊ニシテ同

大隊ハ死力ヲ盡シ辛ウシテ之ヲ擊退シ次テ中央隊モ第十一號堡壘ヨリ前進セシ土軍ノ攻撃ヲ拒止ス今ヤ第一線諸隊ハ大ナル損傷ノ爲ニ戰術的統率全ク亂レシカ午後五時頃迄尙其位置ヲ保持セリ是時ニ當リ豫備隊タリシ步兵第百十八聯隊援助ノ爲到著セリ

午後五時稍前中將シアコウスコエハ土軍ノ逆襲ヲ認知シ同時ニ中將クリ

ユデネルヨリ步兵第百十九聯隊砲兵一中隊共ヲ増援ノ爲派遣シタルノ通

報(午後四時二十五分發)ニ接シ直ニ步兵第百十八聯隊ノ第一大隊ヲ以テ同

第百二十六聯隊ヲ援助セシメ又步兵第百十八聯隊第二大隊ヲシテ ラヂヤエボ Radjavevo

東北地區ヨリ同聯隊第三大隊 撤兵第三
中隊欠 ヲシテ ラヂヤエボ Radjavevo 西方地區ヨリ共ニ

第十一號堡壘前ニ在ル步兵第百二十五聯隊第一第二大隊ヲ援助セシム同

第百十八聯隊第二第三大隊ハ命ヲ受ケ前進スルヤ 同隊ハ步兵第百二十五聯隊ニ
參加セスシテ步兵第百二十六

聯隊ノ左翼ニ増
加セシカ如シ露軍ノ志氣昂リ步兵第百二十六聯隊主力第一第三大隊ノ大

部分ハ其援助ニ依リ第十四號堡壘ヲ包圍シツツ在リシ土軍ヲ擊退シ續テ

歩兵第百二十六聯隊ノ主力(第一第三大隊)ハ同第百十八聯隊第二第三大隊ト共ニ大ナル損害ヲ顧ミス攻撃ヲ續ケ午後六時頃第十號堡壘ヲ占領セリ
此頃歩兵第百十九聯隊第一第二大隊ハ歩兵第百十八聯隊ノ右翼ニ來著シ戰鬪ニ參加ス 然ルニ幾モ無ク ブルニアノ守兵再ヒ第十號堡壘ニ向ヒ逆襲シ來リ歩兵第百二十六聯隊ノ主力及第百十八聯隊ノ第二第三大隊ノ諸中隊ハ其攻撃ニ堪ヘスシテ第十四號堡壘ニ向ヒテ退却シ
第百十九聯隊モ亦是時東方ニ擊退セラレタリ 恰モ同處ニ到著セシ豫備隊タル歩兵第百十七聯隊第一大隊ニ辛ウシテ收容セラレタリ

是ヨリ先歩兵第百十八聯隊第一大隊ハ前進ノ命ニ接シ最初第十四號堡壘ニ向ヒ前進セシカ途中大隊長ノ獨斷ニ依リ ヤニク バイル Janik-Bair 高地ニ向ヒシカ グリツィヤ グリツィヤ 川ヲ渡リシトキ同高地ヨリ敵ノ逆襲ヲ受ケ第十四號堡壘ニ退却セリ

此間第百二十六聯隊第二大隊ノ主力及歩兵第百二十五聯隊第三大隊欠ハ勇ヲ鼓シ第十一第十二號堡壘ニ向ヒ突撃ヲ決行シタルモ奏功セスシテ從

前ノ如ク敵ト近距離ニ於テ相對峙ス此間豫備隊ノ内歩兵第百十七聯隊第三大隊及放列線ノ左翼方面ニ在リシ砲兵第三十二旅團第六中隊ノ半部ハ ツチエニツツ ツチエニツツ Tigenica 川左岸ノ砲四門ニ援助セラレテ少將 ゴルシ コフ 旅團ノ最左翼ニ逆襲セル敵ニ對シテ前進シ同方面ニ在ル歩兵第百十八聯隊ノ撤兵第三中隊ヲ増援シ之ヲ驅逐シ逃クルヲ追フテ ブルニア ブルニア ブルニア 東南方水車場ヲ占領ス然ルニ午後六時半頃ニ至リ敵兵 ブルニア ブルニア ブルニア 南方地區ヨリ歩兵第百十七聯隊第三大隊第百十八聯隊ノ撤兵第三中隊ニ向ヒ再ヒ逆襲シ來リシカ是時既ニ同隊ハ指揮官ノ大部分ヲ失ヒ隊伍動搖シテ遂ニ退却ス是ニ於テ中將 シ コ ウ ス コ エ ハ 之 ニ 最 後 ノ 豫 備 隊 タル 歩 兵 第 百 十 七 聯 隊 第 二 大 隊 ノ 三 中 隊 ヲ 増 加 シ 辛 ウ シ テ 敵 ノ 逆 襲 ヲ 阻 止 セ リ

是ヨリ先中將 シ ア コ ウ ス コ エ ハ 増援トシテ中將クリユデネルヨリ派遣セラルヘキ歩兵第百十九聯隊及砲兵一中隊ト連絡センカ爲ニ將校ヲ其前進地域ニ派遣セシモ之ヲ發見スルコト能ハス然ルニ同隊ハ既ニ中將 シ ア コ

ウスコエ部隊ノ右翼ニ來著シテ戰鬪ニ從事セリ

初メ中將クリユデネルハ午後四時二十分頃中將シ^アコウスコエノ午後二時五十分發ノ報告ニ依リ^グGrivica東方二吉米附近ニ前進セシ總豫備隊ノ内ヨリ歩兵第百十九聯隊及砲兵第三十旅團第六中隊ヲ中將シ^アコウスコエ部隊ノ増援トシテ^ルRusouk-Plevna道ノ南側ヲ經テ前進シ該隊ノ右側ヲ包圍セントスル敵ノ擊攘ニ任セリ同隊ハ命令ニ接スルヤ直ニ第十四號堡壘ト^グGrivica川トノ中間地域ニ向ヒ前進ヲ始メリ然ルニ各大隊ハ前進中連繫ヲ失ヒ殆ト二吉米ノ正面ニ散在シ第三大隊ハ^グGrivica村ヲ經テ前進シ第八號第九號堡壘ヨリ砲兵ノ十字火ヲ受ケ遂ニ^グGrivica西北方ニ在ル第百二十三聯隊ノ左方ニ展開シ^グGrivica堡ノ敵ト相對シ第二大隊ハ第三大隊ノ左方^グGrivica村ヨリ^プPlevnaニ通スル大街道ノ南側ヲ經テ敵ノ砲火ヲ冒シテ中將シ^アコウスコエ部隊ノ右翼ニ到著シ之ト連繫シテ第九號堡壘ニ向ヒ前進シ又第二大隊ノ左方ヲ前進セシ第一大隊^旅第一第四中隊^欠此兩中隊ハ砲兵第三十^旅團第六中隊ノ陣地ニ留リ護衛ニ任ス^ハ

其左翼ヲ以テ歩兵第百十八聯隊ノ右翼ト觸接シ第二大隊ト共ニ恰モシ^アコウスコエ部隊ノ右翼ニ向ヒ逆襲セシ土軍ヲ擊退シ第九號堡壘ニ向ヘリ又第一大隊ト共ニ前進セシ砲兵第三十旅團ノ第六中隊ハ最初^グGrivica村ノ南方約千五百米突ニ放列ヲ布キ^グGrivica堡壘團ニ向ヒ射擊ヲ開始セシモ距離遠クシテ十分ノ效果ヲ得サルヲ以テ直ニ小川ヲ越ヘテ前方ニ陣地ヲ變換シ依然^グGrivica堡壘ヲ射擊シ後幾モ無ク^グGrivica西南方二吉米附近高地^上ニ在リシ砲兵第三十二旅團第三中隊及第三十旅團第三中隊ノ右翼ニ陣地ヲ變換シテ^プPlevna東方堡壘ヲ射擊セリ其後第百十九聯隊第二大隊ハ左翼ニ在リシ第百二十六聯隊主力ノ突擊ニ連繫シ第九號堡壘前方三重ノ散兵壕中第一第二線ヲ占領セシモ第三線散兵壕ヨリ猛烈ナル銃火竝ニ近距離ヨリ砲兵ノ掃射ヲ受クルト同時ニ土軍密集部隊ノ逆襲ニ遭ヒ遂ニ其位置ヲ固守スルコト能ハスシテ退却シ第百十九聯隊第一大隊(二中隊欠)モ同聯隊第二大隊竝ニ歩兵第百二十六聯隊主力ノ退却ニ伴ヒ東方ニ退却シ幾モ

無ク日没ト爲リ砲兵第六中隊モ陣地ヲ撤シケリウイツア南方高地ニ退却セリ
午後六時半中將シアコウスコエハ中將クリユデネルニ左ノ報告ヲ呈セリ
六時間ニ亙ル戦闘ノ爲彈藥全部ヲ費消シ軍隊ノ四分ノ一ハ死傷シ隊伍
亂レ形勢益非ナルコト明ラカナリ予ハ援助ヲ乞フ

シアコウス
コエ部隊ノ
退却

中將シアコウスコエハ午後七時頃始メテ歩兵第百十九聯隊ノ午後六時以
後戦闘ニ参加シ在ルノ報ヲ得急速ニ中將クリユデネルヨリノ増援ヲ期シ
難キヲ考ヘ夜暗ニ乘シ退却スルニ決セリ

午後六時以
後ウエルヤ
ミノフ部隊
方面ノ情況
(歩兵第百
二十聯隊ノ
戦闘加入)

午後六時過キ中將クリユデネルハ總豫備隊トシテ尙歩兵第百二十聯隊、砲
兵第三十旅團ノ第二第四中隊及騎兵三中隊、騎砲四門ヲ有シ而シテウエル
ヤミノフ部隊ノ右翼敗北セルノ報ニ接スルヤ直ニ歩兵第百二十聯隊第一
大隊及騎砲二門竝ニ槍騎兵第十一聯隊第三中隊ヲ此方面ニ派遣セリ同第
一大隊ハ戦線ノ最右翼ニ前進シ其増援ニ依リテ鼓舞セラレシ第五師團第
一旅團ト共ニ第七號堡壘ニ向ヒ突撃ヲ施行セシモ僅カニ角面堡ノ前方ニ

午後三時以
後少將スコ
ベレフ部隊
ノ情況(附
圖第三十三
參照)

在ル散兵壕ヲ占領シ得タルニ過キサリキ
中將クリユデネルハ此情況ヲ目撃シ自ラ砲兵第三十旅團第二中隊ヲ提ケ
右翼方面ニ赴キ爾後第百二十聯隊第二大隊ヲモ増加シ銳意攻撃ノ再興ニ
力メタルモ大勢如何トモスル能ハス此ノ如ク戦闘ハ午後十時頃迄繼續セ
シカ遂ニ敵陣地ヲ奪取スルコト能ハサリキ
午後三時頃綠山第三嶺ヲ占領セシスコベレフノ部隊歩兵第百二十五聯隊第三大
隊一小隊欠騎兵二中隊砲兵
第三十二旅團第八
六中隊ノ四門 *Yelenobrevski* 川左岸ノ敵砲兵ト對戰中漸次ニ少カラサル損
害ヲ蒙リ後砲二門ハ同第一嶺ニ向ヒ退却スルノ已ムヲ得サルニ至レリ此
頃右方ニ方リ *Rudnyovo* 北方高地ヲ越ヘテ前進スル友軍歩兵ノ稠密ナル線
ハ指呼ノ間ニ見ルヲ得ヘク又遙カニ東北方面ニモ盛ナル砲聲ヲ聞ク是ニ
於テ少將スコベレフハシアコウスコエ部隊ノ攻撃ヲ出來得ル限り援助セ
ンカ爲前面ノ敵ヲ攻撃スルニ決セリ是時會敵兵全力ヲ擧ケテ攻勢ニ轉セ
リ當時ノ第一線ハ歩兵一中隊半ニシテ他ハ豫備隊ニ在リ乃チ豫備隊ノ二

中隊之ニ向ヒ次テ左方ニ在リシ哥薩克騎兵二中隊敵ヲ襲撃シ以テ將ニ鹵獲セラレントセシ友軍砲兵ヲ辛ウシテ免レシムルヲ得タリ土軍ハ此襲撃ニ堪ヘスシテ小川ヲ越エテ本陣地ニ退キ露軍之ヲ追フテ將ニ小川ヲ渡ラントス是時土軍ノ増加隊到着セシヲ以テ遂ニ舊陣地ニ退却シ爾後少將スコベレフノ部隊ハ日暮迄同地ヲ固守セリ

少將ラシユカリエフ部隊ノ情況(一覽圖第二參照)

午後四時三十分頃中將クリユデネルハ步兵第二百二十六聯隊ノ第十四號堡奪取ノ報告ニ接シ最早勝利疑ナキモノト判定シ少將ラシユカリエフニ訓令ヲ下シテ曰ク「シ、コウスコエハ土軍ヲ撃退セリ我方面ニ於テモ亦攻撃ノ準備十分成レリ貴官ハ^{ワイト}河ヲ越エテ敵ヲ追撃スル爲決シテ此機ヲ失スル勿レト」
是ニ由テ之ヲ觀レハ中將クリユデネルハ此時機ニ於テ既ニ勝利ヲ期セシモノト謂フヘシ

少將ラシユカリエフハ午後六時頃前記中將クリユデネルノ訓令ヲ受領シ直ニ其騎兵槍騎兵第九聯隊「ドン」哥薩克騎兵第九聯隊「ドン」哥薩克騎砲兵第二中隊ヲ率キ^{コレソボト}Red. Koresovat^{ノ北}方約五吉米ヲ發シ午後七時五十分^{リベ}Riben附近ニハ

是ヨリ先既ニ槍騎兵第九聯隊「ドン」哥薩克^{ワイト}ニ於テ^{ワイト}河ヲ渡リ十時四十五分^{トリスチニク}騎兵第九聯隊ノ監視兵派遣セラレ在リニ到リシカ時既ニ夜暗ト爲リシヲ以テ同地ノ北方一吉米ノ森林ニ宿營シ翌朝^{ソフイ}Sofia街道ヲ前進セント欲セリ

露軍ノ退却

前述ノ如ク中將クリユデネルハ午後七時迄ニ殆ト總豫備隊ヲ使用シ今ヤ餘ス所步兵第二百二十聯隊第三大隊、槍騎兵第十一聯隊及龍騎兵第十一聯隊ノ各一中隊及砲兵第三十旅團第四中隊ノミナリ是時ニ當リ中將シ、コウスコエハ更ニ戰鬪ノ難況ヲ報シ増援ヲ請ヘリ是ニ於テ中將クリユデネルハ攻撃ノ成功覺束ナキヲ認メ諸隊ヲ^{ツルスキ}Turski^{トレンタニク}Trotenik^{アルカレネ}及^{アルカレネ}Bigareneニ退却セシムルニ決シタリ然レトモ中將クリユデネルハ當時中將シ、コウスコエ部隊方面ニ砲聲絶エシヲ以テ兩軍戰鬪中止ノ情況ニ在ルヘク之ニ退却ヲ命スルハ却テ同部隊ニ不整頓且混亂ヲ來サシムルモノト爲シ先戰況激烈ナル右翼方面殊ニ爾餘ノ諸隊ニ比シ大ニ危殆ニ在ル步兵第五師團第一旅

司令部及關ノ退却心及部署(附圖第三十三參照)

團ヲ速ニ退却セシメント欲セリ乃チ此決心ニ基ツキ左ノ如ク退却部署ヲ爲ス

一、午後七時十分中將シァコウスコエニ如何ナル困難ニ遭フモ其陣地ヲ固守スヘキヲ命ス

二、午後七時半 ^{ブルガレネ} Bigarone ニ到著セル歩兵第百二十四聯隊第三大隊 ^{撤兵第三大隊} 欠ニ速ニ ^{カヤル} Grivica ニ向ヒ前進セシム 同聯隊ハ既記ノ如ク二十八日夜九時半 ^{撤兵第三大隊} 發シ二十九日夕 ^{ブルガレネ} Bigarone ニ到著セリ然ルニ該地到著ノ後兵團司令部ノ位置不明ナルト又同司令部ヨリ爾後ノ行動ニ就キ何等ノ命令ニ接セザリシヲ以テ三十日ハ空シク ^{ブルガレネ} Bigarone ニ駐留シ同夕ニ至リ同聯隊長ノ獨斷ニ依リ ^{ブルガレネ} Bigarone トラスチニク ^{ブルガレネ} Trastenic ニ向ヒ行進シ同夜該地ニ駐止ス歩兵第百二十四聯隊長ハ是夜此前進命令ヲ受領セリ

次テ總豫備隊ニ在ル歩兵第百二十聯隊長ニ同聯隊第三大隊及砲兵第三十旅團第四中隊ヲ率キ ^{クラウツァ} Grivica 東方本街道附近ニ於テ退却ヲ掩護セシメ間モ無ク歩兵第二十聯隊ヲモ同一ノ任務ニ服セシム

三、午後八時頃直接第五師團長中將シルデル、シユルデネルニ第七號角面堡ヲ包圍シ在ル同師團ノ第一旅團第十七第十八聯隊ヲ ^{クラウツァ} Grivica 東北側

高地ニ退却セシメ次テ ^{ツルスキトレスチニク} Turiski-Prostenik 及 ^{ポルヂム} Pordim ニ在ル第四第十一軍團ノ輜重ヲ ^{ブルガレネ} Bigarone ニ向ヒ退却セシム

三、午後十時頃中將ウエルヤミノフノ爾餘ノ諸隊ニ ^{クラウツァ} Grivica ニ向ヒ退却セシム

四、午後十時五十分中將シァコウスコエニ先背囊ヲ殘シタル ^{ポルヂム} Pordim ニ退却シ後 ^{ブルガレネ} Bigarone ニ向ヒ退却セシム

五、同時目下 ^{ウイト} Vit 河左岸ニ進出シ在ル少將ラシユカリエフニ戰鬪ヲ避ケ ^{ツルスキトレスチニク} Turiski-Prostenik ニ退却セシム

六、騎兵第十一師團第一旅團長少將ヒルデブランドニハ從來諸種ノ任務ニ服シ在リシ該旅團ノ部隊ヲ糾合シ以テ兵團ノ退却ヲ掩護セシム

七、午後十一時中將ウエルヤミノフノ部隊 是時第八號角面堡前面ヨリ ^{クラウツァ} Grivica ニ到著セリ ヲシテ直ニ其所屬部隊ヲ今朝ノ出發位置タル ^{コイロフチ} Kojlovec 又ハ ^{ツルスキトレスチニク} Turiski-Prostenik ニ退却セシム同時 ^{クラウツァ} Grivica 東北方地區ニ退却セシ歩兵第五師團第一旅團 ^{第十七聯隊} 第十七聯隊ノ

收容隊ノ陣
地占領(附
參照)第三十四

中將ウエル
ヤミノフ部
隊ノ退却

一部及第十八聯隊ニ Turski-Trostenik ニ向ヒ退却セシム

中將クリユデネルノ總豫備隊タリシ歩兵第百二十聯隊第三大隊及砲兵第三十旅團第四中隊ハ同中將ノ命令ニ從ヒ Grivica 東方約千米突附近ニテ本街道ノ北側ニ陣地ヲ占領シ中將ウエルヤミノフ部隊ノ退却掩護ニ任セリ幾モ無ク Grivica 西北方ニ在リテ未タ戰鬪ニ加入セサリシ歩兵第二十聯隊モ中將ウエルヤミノフノ命ニ依リ歩兵第百二十聯隊第三大隊ノ右翼ニ連ナリ午後十時頃歩兵四大隊砲兵一中隊ヨリ成ル收容部隊成立セリ

中將ウエルヤミノフ部隊方面ノ砲兵ハ未タ歩兵ノ退却ニ就カサルニ先タチ退却運動ヲ始メ 中將ウエルヤミノフハ中將クリユデネルヨリ歩兵第五師團第一旅團午後十時頃砲兵第五旅團第三中隊欠同第三十旅團第二中隊同第三十一旅團(第五第六中隊欠)ハ Grivica 東方二吉米餘ノ森林東側ニ集合シ後同地出發砲兵第五旅團第三中隊欠同第三十一旅團第三第四中隊同第三十旅團第二第四中隊砲兵第四中隊ハ收容部隊ニ屬セシモ夜ハ Trostenik ニ砲兵第三十一旅團第一

第二中隊ハ Grivica-Bigarene 道ヲ Bigarene ニ退却ス 砲兵第三十一旅團ノ退却目標ハ

方向ニ退却セシハ後文記スルカ如ク兵團ハ主力ヲ以テ Bigarene 又當時中將シアコウス

退却スヘキコトヲ兵團參謀長ヨリ通報セラレタルニ因ルナラン

コエ部隊ノ方面ニ在リシ砲兵第三十旅團第六中隊ハ歩兵第百十九聯隊主

カト行動ヲ共ニシ Grivica 西方谷地ヲ退却中ニシテ同隊ハ後砲兵第三十一

旅團第一第二中隊ノ後方ニ跟隨シテ Grivica-Bigarene 道ヲ退却セシモ獨リ

Grivica 東北方千五百米突ニ在リシ砲兵第三十一旅團第六中隊ハ前記ノ砲

兵諸隊ト方向ヲ異ニシ夜半 Kojilovec ニ向ヒ退却セリ

歩兵第五師團第一旅團ハ午後八時ノ特別命令ニ基ツキ先 Grivica 東北方ノ

地ニ退却スヘカリシモ敵火ノ下ニ在リテ日没前退却スルコトハ甚タ困難

ナリシヲ以テ歩兵第十七聯隊ノ一部及同第十八聯隊ノ大部ノミ同地ニ退

却シ次テ午後十一時ノ兵團命令ニ基ツキ Turski-Trostenik ニ退却ヲ繼續シ旅

團ノ殘餘ハ敵陣地ニ肉薄セル歩兵第百二十聯隊第三大隊欠同第百二十一

聯隊ノ主力ト共ニ三十一日拂曉頃迄其位置ヲ固守シ歩兵第百二十一聯隊

ハ唯一部約三百人ノミ午後十時頃迄ニ陣地ノ後方 Kojilovci ニ通スル道路ノ附近ニ集合シ夜半輜重ノ護衛ニ任スル爲同地ニ向ヒ行進シ同聯隊殘餘ノ中約一大隊ハ夜半迄ニ單獨或ハ小部隊ヲ成シテ來會シ Kojilovci ニ向ヘリ

隨テ步兵第百二十一聯隊ノ内敵陣地前ニ停止スルモノハ約一大隊半ト爲レリ

第八號堡壘前ニ在ル部隊步兵第百二十三聯隊同第百二十二聯隊同第百十九聯隊第三大隊ハ同第百二十二聯隊第三大隊同第百二十三聯隊第一大隊及第七第八中隊竝ニ同第百十九聯隊第三大隊ノ一部ヲ陣地ニ止メ殘餘ノ步兵第百二十三聯隊第一大隊及第七第八中隊欠同第百二十二聯隊第一大隊及第二大隊(二中隊欠)ハ午後十時頃迄ニ步兵第二十聯隊ノ陣地附近ニ退却シ 步兵第百十九聯隊第三大隊ノ主力ハ同聯隊ノ主力ト共ニ Tristenik-Blgarene 道ヲ退却セシカ如シ 夜半步兵第百二十一聯隊ノ殘餘約一大隊半及同第百二十三聯隊第七第八中隊モ步兵第二十聯隊ノ陣地後方ニ來集セリ

拂曉ノ頃步兵第百二十一聯隊ノ約半部砲兵第三十一旅團第六中隊ハ スコイ

ロヴチニ步兵第十八聯隊ハ Tristenik 同地ニハ步兵第百二十四聯隊第三大隊ノ四中隊欠モ在リ 退却シ步兵第

百十九聯隊(第三大隊ノ一部欠)砲兵第三十一旅團第一第二中隊同第三十旅團第二第四第六中隊同第三十一旅團第三第四中隊同第五旅團(第三中隊欠) Tristenik-Blgarski-Kavaga-Blgarene 道ヲ退却中ニシテ步兵第百二十一聯隊ノ

殘餘(約一大隊半)同第百二十二聯隊第二大隊 二中隊欠 第三大隊欠同第百二十三

聯隊第一大隊欠龍騎兵第十一聯隊騎砲兵第十八中隊ハ收容陣地ノ後方ニ集合シ步兵第十七聯隊同第百二十聯隊第三大隊欠ハ敵陣地前ヲ退却中ニシテ步兵第百十九聯隊第三大隊ノ一部同第百二十二聯隊第三大隊同第百二十三聯隊第一大隊モ亦幾モ無ク退却ニ就ケリ

第七第八號角面堡ニ近ク接觸シ在リシ聯隊ハ少數ノ兵ヲ前線ニ殘置シ其掩護ニ依リテ退却セシモ敵火ヲ受ケテ大ニ困難ヲ極メ殊ニ既記ノ如ク中將ウエルヤミノフノ砲兵ハ全ク退却シ其援助ニ供シ得ヘキモノ無カリシカ故ニ拂曉後ノ退却ハ一層困難ヲ極メ少數ノ掩護隊ハ最モ勇敢ニ戰闘シ

テ之ヲ掩護シ辛ウシテ退却セシメタリ
 之ヲ要スルニ中將ウエルヤミノフ部隊ノ歩兵ノ大部分ハ三十一日ノ朝歩
 兵第二十聯隊ノ占領セル陣地内ニ入ルヲ得最終ノ退却部隊モ亦正午頃迄
 ニハ同處ニ到リテ集合セシモノノ如シ同部隊爾後ノ退却ハ豫定ニ依レハ
 輜重及背囊ノ殘置セラレシ *Kojilovei* 及 *Trostenik* ニ向フニ在リシモ中將
 ウエルヤミノフハ兵團參謀長ヨリ「歩兵第三十一師團ヲ以テ *Trostenik* ニ陣
 地ヲ占領シ其他ヲ以テ *Bigarene* ニ退却シ又歩兵第三十一師團所屬ノ給養
 車輛ハ *Kojilovei* ヨリ回送シ以テ炊爨スルヲ得セシムヘク背囊ハ車輛ヲ以
 テ *Kojilovei* ヨリ *Bigarene* ニ輸送スヘシ」トノ通報ニ接シ *Givica* 附近ニ集合シ
 若シクハ集合ノ目的ヲ以テ退却中ノ諸隊ノ内歩兵第三十一師團ノ主力歩
 兵 同第二十聯隊(同第百二十一聯隊約半部)ハ *Trostenik* ニ向ヒ歩兵第十七聯隊(主力)ハ
 同第百二十二聯隊(同第百二十三聯隊)ハ *Givica-Bigarene* 道ヲ退却シ又既ニ *Kojilovei* ニ退却セル歩兵第百二十一聯隊
 ノ約半部及砲兵第三十一旅團第六中隊ハ輜重ト共ニ *Trostenik* ニ移リ歩兵

中將シア
 コエ
 ウスコ
 隊ノ退却

第十八聯隊モ *Trostenik* ヨリ *Bigarene* ニ又同地ニ向ヒ退却中ノ砲兵ノ内砲兵
 第三十一旅團第五第六中隊欠モ *Trostenik* ニ背進セシメ爾餘ノ砲兵 砲兵第五
 中隊欠同第三十旅團 第一第三第五中隊欠)ハ依然 *Bigarene* ニ退却ヲ續行ス
 歩兵第二十聯隊 砲騎兵第十一聯隊ノ第三第 四中隊之ニ屬セリ(後文參照) ハ諸隊ノ退却ヲ掩護シ在リシカ歩
 兵第百二十四聯隊ト交代シタル後損害ヲ受クルコト無ク *Bigarene* ニ向ヒ
 退却セリ歩兵第百二十四聯隊ハ曩ニ述ヘタル如ク三十日夜既ニ *Tuski-*
Trostenik ニ達シ該地ニ於テ *Givica* ニ向ヒ前進スヘキ中將クリユデネルノ
 命令ヲ得三十一日朝出發シ途中中將クリユデネルニ會シ第九軍團ノ退却
 ヲ掩護スヘキ命令ヲ受ケテ前進シ歩兵第二十聯隊ニ交代シテ陣地ヲ占領
 セシモ敵兵追撃シ來ラサリシカ故ニ午後四時頃陣地ヲ撤シ *Tuski-Trostenik*
 ニ退却セリ
 午後七時四十分中將シアコウスコエハ中將クリユデネルヨリ萬難ヲ排シ
 必ス其陣地ヲ保守スヘキ命令ヲ受領セリ然ルニ是ヨリ先午後六時頃ヨリ

負傷兵及其保護兵ヨリ成ル幾多ノ小群ハ *Radişevvo* 及其附近ノ縋帶所ニ退却ヲ始メ時ヲ逐フテ此運動ハ熾烈ト爲リ又如何トモスル能ハサル情況ニ陥リシヲ以テ中將シァコウスコエハ遂ニ午後八時ヨリ九時ノ間ニ命令ヲ下シテ諸隊ヲ *Pordim* ニ向ヒ退却セシメ

シ通報出所不明ヲ得テ退却ニ決心セリト記シアレトモ露國參謀本部出版ノ戰史ニハ此事實ヲ記セス 中將ハ夜九時 *Radişevvo* ヲ發シ同地ニ向ヒシモ途中道ヲ失シ *Pelissat* 近傍ノ曠野ニ夜ヲ徹シ三十一日ノ朝ニ至ル迄行衛不明ト爲レリ

砲兵第三十及第三十二旅團ノ諸中隊ハ退却命令ヲ受領スルヤ直ニ *Pordim* ニ通スル道路ヲ退却シ拂曉ノ頃同地附近ニ達シ停止ス

陣地ヲ撤セシ時刻不明ナルモ午後九時前後ナ

附近ニ集合シタル退却兵ハ小部隊ト爲リ徹宵 *Pordim* ニ向ヒテ退却シ尙第十一號堡壘及其以西ノ附近ニ於テ近ク敵前ニ在リタル部隊

第十七第八百二十六聯隊ノ一部及百二十五聯隊主力ヨリ成リ兵力不明 ハ同第二百二十五聯隊長ノ指揮下ニ午後十時

頃堡壘ノ基脚ヲ離レ午後十一時頃ニハ *Radişevvo* 附近ニ退却シ同地ニ於テ少將ゴルシユコフノ指揮下ニ入レリ然レトモ第十四號堡壘ニ在リシ步兵

第百十八聯隊第百十九聯隊及第百二十六聯隊ノ小部隊合シテ約千五百人

此等ノ部隊ハ多數ノ高級指揮官ヲ缺キ步兵第百二十六聯隊ハ大尉同第百十八聯隊ハ少佐之ヲ指揮セリ ハ午後十一時頃未タ退却命令ニ接セス情況全ク不明ナルヲ以テ傳令ヲ *Radişevvo* ニ遣ハシ退却ヲ開始スヘキヤ否ヤノ命ヲ請ヒ午前三時ニ至リ退却命令ヲ受領シ拂曉第十四號堡壘

ヲ撤去シ *Radişevvo* ニ到リ少將ゴルシユコフノ令下ニ入り步兵第三十師團第一旅團ハ *Radişevvo* ノ南部ニ同第三十二師團第一旅團ハ同地北部ニ集合ス此方面ニ於ケル露軍ノ退却ハ敵兵毫モ追撃セサリシヲ以テ損害ヲ受ケサリキ

第十一號堡壘ノ土軍ハ露軍ノ退却ト共ニ同地ヲ撤退シ後方第二線ニ止リ此ニ散兵壕ノ構築ヲ開始セリ

是ヨリ先中將シァコウスコエ部隊ノ最右翼ニ在リタル步兵第百十九聯隊ノ主力

第三大隊ノ大部ハ *Chirpitsa* 角面堡前又聯隊ノ一部約四百人ハ第十四號堡壘内ニ在リ ハ午後九時東方ニ向ヒ退却ヲ開始シ

獨斷ヲ以テ退却セシカ又同隊ハ途中第八號堡壘ニ向ヒシ同第三大隊ノ主力ヲモ合シタルカ如シ *Radinence* 北方ヲ *Bigarovo* ニ向ヒ

退却セリ

Radisevo 附近ニ集合セシ部隊ハ砲兵ヲ有セサリシヲ以テ少將ゴルシニコフ

ハ傳令將校ヲ Pordim 方向ニ差遣シ途上砲兵ヲ見ハ直ニ之ヲ Radisevo ニ來

ラシムヘク命セシモ遂ニ其目的ヲ達セサリキ 此將校ハ午前七時 Pordim ニ達シ砲兵

第三十二旅團第一中隊ニ會シ之ニ告

却ヲ收容スル目的ニテ Pordim 川左岸ノ地區ヨリ退却シ來レル少將スコベレフノ部隊ト共ニ Pordim

ト Radisevo トノ中間

ニ陣地ヲ占メタリ

午前九時少將ゴルシニコフハ第十一軍團長中將シニコウスコエヨリ先ツ

Pordim ニ赴キ後 Bligarene ニ退却スヘキ命令ヲ受領セリ是ニ於テ同少將ノ

部隊ハ一部ヲ後衛ニ任シ主力ヲ以テ午前十時 Radisevo ヲ發シ Polizat 附近

ニ集合セル多數ノ負傷兵ヲ收容シ Pordim ニ退却セリ

少將ヒルデブランドノ率ユル騎兵第十一師團第一旅團ハ既記ノ如ク戰闘

中獨立任務ヲ有スル多數ノ小部隊ニ分割セラレタリ最右翼ニ在リシ龍騎

兵第十一聯隊第二中隊欠及騎砲兵第十八中隊ノ二門ハ第九軍團右翼ノ警

騎兵第十一師團第一旅團ノ退却

戒ニ任シ在リシカ午前一時 Grivica 村ノ後方ニ退却スヘキ命ヲ受ケ步兵第

二十聯隊ノ陣地後方ニ到リ龍騎兵第十一聯隊ノ第二中隊槍騎兵第十一聯

隊第四中隊ト合シ次テ步兵援助ノ爲ニ派遣セラレシ同聯隊第三中隊及騎

砲兵第十八中隊ノ四門モ來リ合シ再ヒ少將ヒルデブランドノ隸下ニ入レ

リ少將ハ中將グリユネネルヨリ諸隊ノ退却ヲ掩護スヘキ任務ヲ受ケ槍騎

兵第十一聯隊第三第四中隊ヲ步兵第二十聯隊陣地ノ兩側ニ派遣シ警戒セ

シメ主力ハ三十一日朝迄同地ニ留リ諸隊ノ大部退却セシヲ認メタル後兩

翼ニ在リシ槍騎兵第十一聯隊第三第四中隊ヲ步兵第二十聯隊長ノ指揮ニ

屬シ主力ヲ率キテ大街道ヲ Bligarene ニ向ヒ退却シ同第三第四中隊ハ歩兵

第二十聯隊ノ兩翼ニ在リテ警戒ニ任シ後同聯隊ト共ニ Bligarene ニ退却セリ

槍騎兵第十一聯隊第一第二中隊ハ三十日終日其主力ヲ以テ Radisevo 村ノ

近傍ニ在リシカ午後十時頃 中將シニコウスコエ部隊ノ大部 中將シニコウスコエ

ノ命ニ依リ Grivica ヲヨリ Radisevo ニ至ル間ニ騎哨ヲ配置シ三十一日午前七

少將ラシユ
カリエフ部
隊ノ退却

時頃警戒ヲ撤シ *Pordim* ニ退ケリ

少將ラシユカリエフハ三十一日午前八時四十分 *Vit* 河左岸 *Trostenik* ノ露
營地ニ在リ未タ前進ヲ始メサルニ先チ第九軍團參謀長ヨリ「戦闘失敗ニ終
レリ *Turski-Trostenik* ニ向ヒ退却スヘシ」トノ通報ニ接シ直ニ發進シ午後五時
三十分該村落ニ到達ス 是ヨリ先中將クリユデネルハラシユカリエフ部隊ノ消息ニ關シ何
等ノ情報ヲ得サリシヲ以テ或ハ *Nikopol* ニ向ヒ退却スヘキヲ顧慮シ

少將スコベ
レフ部隊ノ
退却

該地要塞司令官ニ若シラシユカリエフ部隊到着セハ之ヲ *Turski-Trostenik* 或ハ *Bigarene* ニ向フヘク命令ノ傳達ヲ依頼セリ
綠山第一嶺ニ在リシ少將スコベレフハ午後十時中將シァコウスコエヨリ
Bohor 及 *Pelizat* ヲ經テ退却スヘキ命令ヲ受領シ午前一時運動ヲ始メ高加士
哥薩克騎兵旅團 負傷者ノ護衛ニ任ス ヲ先頭トシテ退却中 *Pelizat* ノ前方ニ於テ *Lozga* 方
面ヨリ來レル中佐バクラノフノ支隊(ドン)哥薩克騎兵第二十三及第三十聯
隊ノ各二中隊ウラディカウカツ哥薩克騎兵半中隊竝ニ(ドン)哥薩克騎砲兵
第六中隊ノ一小隊及曩ニ少將ゴルシニコフノ傳令將校ニ依リ *Radisevo* ニ
招致セラレタル砲兵第三十二旅團第一中隊ニ會セシヲ以テ直ニ此等ノ諸

隊ヲ以テ少將ゴルシニコフ部隊ノ退却ヲ掩護セリ是時土軍ノ一部追撃シ
來リタルモ砲兵第三十二旅團第一中隊ハ砲火ヲ以テ之ヲ拒止セリ
少將スコベレフハ *Pelizat* ニ著後三十一日午前零時四十分 *Turski-Trostenik* 發
兵團參謀長ヨリ左ノ通報ヲ受領セリ

兩軍團ノ諸部隊ハ全然弛解シテ *Bigarene* 方向ニ退却ス貴官ハ可成速ニ
Tucenica, Pelizat ヲ經テ *Plevna-Bigarene* 街道ニ出テ以テ我諸隊ノ退却ヲ掩護
スヘシ最近ノ情報ニ依レハ第十一軍團長ハ *Pelizat* ニ第九軍團長ハ *Turski-Trostenik*
Trostenik ニ在リト云フ第九軍團ノ一部隊ハ該村ノ前方ニ於テ *Plevna* 方
向ニ對シ敵ヲ拒止セントス貴官ハ我等ノ所在地ニ急行スヘシ我等ハ今
ヤ何等ノ掩護ヲ有セス尙將官ラシユカリエフヨリハ未タ何等ノ報ニ接
セス

是ニ於テ少將スコベレフハ高加士哥薩克騎兵旅團ノ一部(クバン)哥薩克騎
兵聯隊ノ四中隊ヲ兵團司令部ノ許ニ *Bigarene* ニ送り 少將スコベレフハ兵團司令
部カ同處ニ退却スルモノト

豫想 セリ 爾餘ノ諸隊ハ依然少將ゴルシエコフ部隊ノ收容ニ任シ後 ポルヂム Pordim ニ赴キ同地ニ宿營セリ

以上ノ如クシテ中將クリエデネルノ令下ニ於テ プレアナ Plevna ノ敵ヲ攻撃セシ部隊ノ退却ハ土軍ノ追撃無カリシ爲概シテ安全ニ施行セラレタリ土國ノ文書ニ依レハオスマンパシアハ翌日ニ於ケル再攻撃ヲ期待セシヲ以テ追撃ヲ實行シ得サリシト云フ實ニ露軍ノ退却ハ中將シエコウスコエ部隊ノ左翼及中將ウエルヤミノフ部隊ノ内歩兵第百二十二聯隊第三大隊同第百二十三聯隊第一大隊ヲ除クノ外殆ト敵ノ壓迫ヲ受クルコト無ク行フヲ得タルモ ポルヂム Pordim ヨリ退却セシ中將シエコウスコエ部隊ノ輜重ハ非常ノ混亂ヲ極メ該輜重ト負傷兵運搬隊トノ退却ハ時ヲ經ルニ隨ヒ殆ト逃走ニ變セリ蓋シ當時病氣ノ爲輜重ト共ニ在リシ歩兵第三十師團長中將プザアノ フ 歩兵第三十師團ハ戰鬪ノ 際 全ク二分セラレタリカ神經過敏ノ状態ニ在リテ急劇ノ命令ヲ發セシカ爲ナリト云フモ抑モ又第十一軍團司令部カ夜間道ヲ失シテ諸隊トノ連絡

七月三十一日西部兵團ノ位置(附圖第三十五参照)

一時中絶シタルハ一般ノ經過ニ影響スル所無シトセス而シテ此恐怖ハ遠ク後方ニ傳播シ單ニ シストフ Sestov 附近ノミナラス ドナツ Donau 河ノ左岸ニモ亦波及セリ八月一日負傷兵運搬隊及軍用車輛ニ屬スル非戰鬪員 シストフ Sestov ニ達スルヤ同處ノ住民ニ大恐慌起リ爲ニ住民及車輛ノ大群ハ爭フテ軍橋ヲ渡過セントシ危險名状スヘカラス然レトモ工兵第三旅團長少將リヒテルノ熱心ナル行動ニ依リ橋梁ノ墜落ヲ免レタリ又土軍 プレアナ Plevna ヨリ シストフ Sestov ニ向ヒ前進スルノ誤報傳ハリ シストフ Sestov 南方陣地ニハ歩兵第百二十四聯隊第三大隊一中隊欠及第二次召集布爾牙利兵千二百人砲兵第五旅團第三中隊工兵第六大隊ノ二中隊其他攻城砲兵ノ一大隊モ亦銃ヲ執リテ其守備ニ任セララルニ至レリ

斯クテ西部兵團ハ三十一日夕左ノ如ク位置ス

歩兵第三十一師團歩兵四中隊及砲兵第三十一旅團

第五中隊欠)

槍騎兵第九聯隊

〔ドン〕哥薩克騎兵第九聯隊

同第三十四聯隊ノ一中隊

同騎砲兵第二中隊

ツルスキ-トステニク

計步兵十一大隊、騎兵十一中隊、砲四十六門
 步兵第十七聯隊
 步兵第十八聯隊
 步兵第二十聯隊
 步兵第三十師團第二旅團
 砲兵第五旅團第三中隊欠
 砲兵第三十旅團第二第四第六中隊
 龍騎兵第十一聯隊
 槍騎兵第十一聯隊第三第四中隊
 騎砲兵第十八中隊
 「クバン」哥薩克騎兵四中隊但シ夜半到著セリ
 計步兵十五大隊、騎兵十中隊、砲七十門
 步兵第三十師團第一旅團

Bigarene

同 第三十二師團第一旅團
 砲兵第三十二旅團第二第五中隊欠
 同 第三十旅團第一第三第五中隊
 高加士哥薩克騎兵旅團騎兵八中隊、騎砲十二門
 中佐バクラノフ部隊「下」シ哥薩克騎兵第二十三第三十聯隊ノ各二中隊「ウ」ラデイカウカツ「哥薩克騎兵」ノ半中隊「下」シ「哥薩克騎砲兵」第六中隊ノ二門
 工兵第五大隊ノ一中隊
 計步兵十二大隊、騎兵十二中隊半、砲七十門及
 工兵一中隊
 槍騎兵第十一聯隊第一第二中隊
 計騎兵二中隊
 合計步兵三十八大隊、騎兵三十五中隊及
 砲百八十六門、工兵一中隊

Pordim

Zgaljuveo

會戰ノ成績
附録第三
第四參照

右ノ外歩兵第十九聯隊、ドン哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ四中隊騎兵四中隊ノ内大部ハ砲兵第三十一旅團第五中隊計歩兵三大隊、騎兵四中隊及砲八門ハ Nikopoli ノ守備ニ、歩兵第二百二十一、第二百二十二聯隊ノ各二中隊ハ Nikopoli, Sistor 間ノ俘虜ノ護送ニ任シ又歩兵第二百二十四聯隊第三大隊撤兵第三中隊欠 砲兵第五旅團第三中隊、ドン哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ一中隊ハ Sistor ノ守備ニ任ス

Plavna 第二會戰ニ於ケル露軍ノ死傷ハ將校百七十六人、下士卒五千三百三十三人、失踪千四百二十三ニシテ歩兵ノ死傷數ハ現員ニ對シ將校二割五分、下士卒二割三分ニ相當シ、歩兵ノ内死傷多キ聯隊ハ歩兵第二百二十六聯隊制四分、第七厘、第二百二十一聯隊三割八分、七厘ナリキ

土國ノ文書ニ依レハオスマンバシアノ軍ハ此戰鬪ニ於テ僅カニ千二百人ヲ失ヒタルノミナリト云フ

第十三章

八月一日ヨリ
同十三日ニ至ル 作戰

一 一般ノ情況 一覽圖第一、第二、附圖第十六、第三十六參照

Plavna 第二會戰失敗ノ報告

七月三十一日 會戰ノ翌日、軍司令官大將ニコラエウイチ親王ハ Plavna 軍司令部ニ於テ先進兵團司令官中將グルコヨリ敗戦ノ報ヲ得次テ午前九時西部兵團司令官中將クリエデネルヨリ Plavna 第二會戰ノ失敗ニ關シ左ノ電報ヲ受領セリ 此電報ハ七月三十一日午前六時四十分 Turan Masarele ヨリ發信セラレタ

戰鬪ハ終日ニ互レリ敵ハ我ニ比シ頗ル優勢ナル兵力ヲ使用シタリ小官ハ Bigarene ニ退却ス云々

Plavna 第二會戰失敗直後軍司令官直ノ決心及處置

軍司令官ハ右ノ報告ニ接セシモ Plavna 附近ノ土軍カ西部兵團ヨリモ優勢ナリトハ信セス 敵ハ今回モ亦追撃セサルヲ以テ其弱勢ヲ示スモノナリトハ軍司令官ノ察知セル所ナリ(フライタツハ著書露軍高等司令部參照) 乃チ成ルヘク多數ノ兵力ヲ Plavna 前面ニ集結シ自ラ其指揮ニ任シ三タヒ同地攻撃ヲ行ヒ殊ニ Lovca 方面ヨリ有力ナル部隊ヲ進メント欲シ左ノ處置ヲ爲ス

一、西部兵團ヲシテ Bigarene 附近ヲ占領シテ敵ヲ拒止セシム

二、西部兵團ノ増援トシテ第四軍團ノ内 Sistolov ニ於テ Donau 河ヲ渡リ右岸地區ニ在ル諸隊歩兵第十六師團ノ歩兵三聯隊及砲兵五中隊同隊ハ七月三十一日 Ivaroga (Sistolov) ノ東南方八里ニ在リ及騎兵第四師團(一聯隊欠)既ニ Sistolov ノ南方 Carvevo ニ在リヲ充テ歩兵第十六師團ノ歩兵三聯隊及砲兵五中隊ハ Bela-Plevna 道ノ南方 Batak ヲ經テ Gradiste 方約三里ニ騎兵第四師團(一聯隊欠)及工兵第三大隊ハ Bigarene ニ到ラシム

三、歩兵第五十四聯隊歩兵第十四師團所屬ヲ Sevlijevo ニ到ラシメ同地ニ在ル歩兵第三十五第五十三聯隊、砲兵第九旅團第一第三中隊等ト共ニ歩兵第九師團長中將スワヤトポール、ミルスキーノ指揮ニ屬ス但シ同官ハ依然中將ラデツキーノ指揮ヲ受ケシム此部隊ハ戰況ノ發展ニ伴ナヒ南方ヨリ Plevna 攻撃ニ參與セシメントス

中佐バクラノフノ部隊ヲ歩兵第九師團長ノ指揮ニ屬セシム

四、Tynovo-Osmanbazar 道上ニ在ル騎兵第十三師團長少將ラーデンノ指揮

スル「オスマンバザール」部隊ヲ依然第八軍團長中將ラデツキーニ屬シ現在ノ地ヲ守備セシメ又先進兵團巴爾幹山ノ後方ニ退却シ來リタル場合ニハ之ヲモ同中將ノ指揮ニ屬セシム但シ歩兵第三十六聯隊同隊ハドゥンノ哥薩克騎兵第三十聯隊ノ一部、同騎砲兵第十中隊ノ二門ト共ニ Galinovo 附近ニ在リ

ハ別命アル迄中將グルコノ指揮ヲ受ケシム爾後中將ラデツキーノ指揮下ニ在ル諸隊ヲ南部兵團ト稱ス

五、中將グルコニハ過早ニ巴爾幹山ノ後方ニ退却スルコト無カラシム

六、歩兵第十四師團第二旅團(歩兵第五十五第五十六聯隊)及同師團ノ砲兵ハ依然 Tynovo ニ止マラシム

七、ルスチ ャック兵團司令官ニハ現在ノ陣地ニ駐止シ東正面ノ敵ノ出撃ニ際シ左ノ顧慮ヲ以テ準備ヲ整ヘシム

敵兵 Sumla ヨリ攻勢ニ轉シ來ル場合ニハ其主力ハ Osmanbazar ヲ經由シテ Tynovo ニ向フカ或ハ Eski Dzunaja 竝ニ Razgrad 等ヨリ Lom Cer-

コブナ 及 Bela ニ向フカ或ハ又 Razgrad ヨリ第十二軍團ニ向ヒ前進スルナラン

第一ノ場合ニ在リテハ第十三軍團ハ一部ヲ以テ Eski Dzumaja 或ハ Razgrad ヨリ Iom Cerkovna ニ向フ敵縱隊ノ前進ヲ拒止シ主力ヲ以テ Trnovo ノ守備ニ充テラレタル軍隊ヲ援助スヘシ此時主力ハ第八軍團長ノ隸下ニ屬スルモノトス

第二ノ場合ニ在リテハ第十三軍團ハ敵ノ前進ヲ拒止スヘシ此際其援助トシテ第八軍團ノ部隊ヲ Trnovo ヨリ Draganova 及 Trembes ヲ經テ前進セシムルスチ ユック兵團ヨリモ亦援助ノ爲第十二軍團ノ諸隊ヲ派遣スルヲ要ス

第三ノ場合ニ在リテハルスチ ユック兵團ハ全力ヲ擧ケテ前進スル敵ヲ拒止スヘシ其援助トシテ第八軍團ノ部隊ヲ Trnovo ヨリ送遣セシム

第二第三ノ場合ニ在リテハルスチ ユック兵團司令官ハ其方面ニ在ル諸隊ヲ凡テ指揮スヘシ

八、羅馬尼王ニ電請シテ同軍 Nikopol 附近ノ渡河ヲ速カナラシムルカ或ハ少クトモ渡河セントスルノ狀ヲ示シ以テ敵ヲ脅威セシム

軍司令官ハ以上ノ處置ヲ爲シタル後 Blagarene ニ到リ躬ラ Plevna 攻撃ヲ指揮セント欲シ同日午後二時軍參謀長及軍司令部ノ一部ヲ率キテ出發先ツ Bela 大本營ニ向ヘリ

是ヨリ先三十日皇帝ハ西部兵團カ Plevna 附近ニ於テ受ケタル戰敗ニ關スル報告ニ接シ三十一日早朝軍司令官及ルスチ ユック兵團司令官(皇太子)ヲ Plevna 大本營ニ招致シ同日夕軍司令官ノ到著後會議ヲ開催ス陸軍大臣侍從將官伯爵ミリユーティン及軍參謀長大將ネボコエチッキーモ亦之ニ列席セリ會議ノ結果皇帝ハ近衛軍團胸甲騎兵諸聯隊ヲ除ク及步兵第二十四第二十六師團ニ動員ヲ令セリ就中近衛軍團ト步兵第二十四師團トハ動員完

八月一日軍司令官ノ決心

結後直ニ歐羅巴作戰地ニ向ヒ出發セシメタリ當時皇帝ハ軍ノ兵力ヲ増加シタル後
 增加隊ノ來著ヲ待タス直ニ之ヲ攻撃スルノ意圖ヲ有セシモ會議Planaヲ攻撃セント欲シ軍司令官ハ
 ノ結果概シテ增加隊來著迄攻撃ヲ延期スルニ決セシモノノ如シ
 軍司令官ハ軍議終了後同夜直ニ ヤイ Bojn-Plana 道上 Bein 西方約五里ニ赴キ宿營ス翌一日
 軍司令官ハ Plana 攻撃ノ時期ハ新銳増加團隊ノ來著後ニ在ルモノトシ
 令官ハ大本營會議ノ結果攻撃ノ決心大ニ動搖セシモノノ如ク一日軍ノ後方ニ於テ敗戦ノ慘狀ヲ見
 殆ト攻撃ヲ延期スルニ決シ次テ二日西部兵團ノ諸隊ヲ親閲シ人馬材料ノ缺損著大ナルヲ見愈々増
 加隊ノ來著スル迄攻撃ヲ延期 中將ラデツキーニ左ノ意味ノ電報ヲ發セリ曰ク「中
 將 グル コ ヲ シ テ 輜 重 (大 部) ヲ Trnovo ニ 送 還 シ 尙 山 間 ノ 通 路 ヲ 守 備 シ 之 ニ 工
 事ヲ施サシムヘク步兵第九師團長中將公爵ミルスキーヲシテ Sevljevo ニ
 於テ等シク強固ナル堡壘ヲ築設セシムヘシ又將官ラデツキーハ過剩ノ輜
 重ヲ後送シ又野戰病院ハ Trnovo ヨリ Distov ニ 移 ス ヘ シ ト 之 ヲ 要 ス ル ニ 軍
 司令官ノ意圖ハ一面ニ於テ執拗ナル抵抗ヲ以テ從來得タル作戰ノ結果ヲ
 極力保守シ一面ニ於テ不幸巴爾幹山ノ通路ヲ失フニ至リタル場合ニ於テ
 モ尙能ク十分ナル運動ノ自由ヲ得ント欲スルニ在リ

再御前會議

八月二日軍司令官ハ步兵第五師團第一旅團ノ露營地ヲ檢閲シ負傷者ヲ歴
 訪シ次テ Causka Mahla 附近ノ露營地ニ於テ第九軍團長中將男爵クリユデ
 ネル及第四軍團長中將ツォトフヲ會シ會議ヲ開ケリ
 軍司令官ハ既ニ軍隊ノ情況ヲ知悉シタル後當時諸隊ハ被服及裝具缺乏シ且其半ハ
兵員ヲ補充スルノ必要アリ特ニ騎兵隊
ニ於テ 四日皇帝ニ筆記ヲ以テ Plana ノ 第三次攻撃ハ増加團隊ノ到着迄延
 期セサルヘカラスト報告シ且躬ラ檢閲シタル軍隊ト途上ニ於テ出會シタ
 ル負傷者輸送隊トノ實況ヲ述ヘ軍隊ハ損害アリシニモ拘ラス志氣旺盛ニ
 シテ戰意勃々タルコトヲモ附記セリ附錄第五參照
 當時西部兵團カ増加團隊ノ來著スル迄攻撃ヲ猶豫スヘキヤ否ヤニ就テハ
 大本營ニ於テモ議論アリシカ一般ニ守勢的ニ傾ケルコトハ事實ナリ三日
 夕軍工兵部長少將デップ及ルスチュック兵團參謀長中將ワソノウスキー
 等ヲ會シテ開キタル御前會議ニ於テハ獨リ西部兵團方面ノ事件ニ止マラ
 ス Jantira 河畔ルスチュック兵團ノ防禦ニ關シテモ亦評議セラレ皇帝ハ其

決議ニ關セス親ラ工兵第二旅團長少將ロイトリングルニ工兵第二大隊ヲ使用シテ *Bela* ニ臨時築城ヲ施スヘシトノ命令ヲ與ヘタリ 七月二十三日工兵第二大隊ハ *Gilgari* *Ginparvo* ニ

到著シ第三第四中隊ハ *Paraijani* *Globozia* ニ到リ他ノ二中隊ハ徒歩 *Zimniseen* ヲ經テ *Enovo* ニ前進中八月一日 *Bela* ニ於テ此命令ニ接シ *Bela* 附近 *Jutra* 河ノ右岸ニ正面約十五吉米ノ蹄鐵形ノ陣地ヲ構築シ尙同河左岸ニモ一後衛陣地ヲ構築シ同河上ニハ二個ノ橋梁ヲ新設スヘキ計畫ニ基キ其實施ニ著手セシモ八月中ハ若干ノ準備作業ヲ實施シタルノミニシテ作業ノ實施ハ九月下旬ニ至リテ進捗ヲ見レリ

陸軍大臣ノ覺書

八月三日軍司令官ハ皇帝ヨリ陸軍大臣ノ覺書ト共ニ左ノ訓令ヲ受領セリ 陸軍大臣ノ覺書ニハ一氣呵成ノ攻勢作戰ヲ中止シ領有セル地域ヲ保守スルヲ以テ目下ノ急務トシ且其保持ニ就テハ内線作戰ノ要領ニ準シ強大ナル豫備隊ヲ中央ニ集結シ敵ノ攻撃ニ對抗スヘキヲ論セリ附録第六參照)

朕ハ卿ニ陸軍大臣ノ覺書ヲ送り以テ一覽セシム

大臣ノ判斷ハ十分肯綮ニ中レリト信ス卿亦此說ニ同意セハ速ニ之ヲ實行スルヲ努ムヘシ我軍ハ八方ニ對シ強固ニ工事ヲ施シタル陣地ヲ占領シテ增加兵ノ來著ヲ待チ尋テ攻勢ニ轉スル案ヲ立テサルヘカラス又攻城廠ヲ *Donau* 河ノ右岸ニ沿ヒ招致スルハ目下實行シ難キヲ以テ *Roschik*

ノ砲撃ハ有利ナル時期ノ到ル迄延期スルハ已ムヘカラサルコトトス是故ニ朕ハ今日尙會見スヘキ皇太子ニ遠ク前進スヘカラストノ命令ヲ與ヘントス

軍司令官ハ陸軍大臣ノ覺書ヲ大體ニ於テ同意セシモ細部特ニ戰略的豫備隊ノ使用ニ就テハ少シク意見ヲ異ニシ三日同官ハ直ニ電報ヲ以テ左ノ要旨ノ奉答ヲ爲セリ

臣カ陛下ト意見ヲ同フシタルハ幸トスル所ナリ即チ諸隊到ル處ニ於テ工事ヲ施スヘシトハ臣ノ既ニ命令シタル所トス然レトモ陸軍大臣ノ覺書ニ擧ケタル條項中ニハ同意シ能ハサル事項若干アリ殊ニ速ニ強大ナル豫備隊ヲ編成スヘシト云フニ至リテハ最モ然リトス臣ハ歩兵第三十二師團ノ一旅團第十一軍團所屬ヲ豫備トシ凡テ新來ノ諸隊ハ此旅團ノ許ニ集合セシメントス軍ノ部署竝ニ計畫ハ臣自ラ軍隊及陣地ヲ巡閱シタル後ニ上奏セントス

是ヨリ先七月三十日軍司令部ハ伯林及維納通信ニ依リ土軍ノ攻勢作戰ニ
 關スル風評ヲ知り爾後頻々トシテ之ニ關スル諸情報ヲ得タリ此諸情報中
 東方面ニ於ケル土軍ノ情況ハ軍司令部ヲシテ少カラス恐惶ヲ惹起セシメ
 タルモノノ如シ即チ軍參謀長大將ネボコエチツキーハ三日第八軍團長中
 將ラデツキーニ敵兵 ^{ツルノホ} Tirovoニ向ヒ前進セハ直ニルスチ ャック兵團司令官
 及第十三軍團司令部ニ通報シ若シ敵兵ルスチ ャック兵團ニ向ヒ攻撃セハ
 成ルヘク多クノ兵力ヲ以テ該兵團ヲ援助スヘシト訓令シ又ルスチ ャック
 兵團司令官ニモ敵兵 ^{ツルノホ} Tirovoニ向ヒ前進セハ第十三軍團ヲ以テ ^{ツルノホ} Tirovo東方
 ノ陣地ニ據ル第八軍團ヲ援助スヘク敵若シ ^{ラツグラド} Kazgrad 及 ^{エスキヤ} Eski Dzumajaヨリ ^{ベラ} Bela
 ニ向ヒ前進セハルスチ ャック兵團ハ極力之ヲ拒止スヘク尙常ニ ^{ルスカ} Ruscul要
 塞ノ敵ニ對シテモ防禦ノ方法ヲ講セサルヘカラサルヲ通報セリ
 今ヤ軍司令官ハ ^{ブレナ} Plevna方面ノ作戰ノミナラス東正面ノ作戰ヲモ等閑ニ附
 スヘカラサルニ至リシヲ以テ自ラ西部兵團ヲ指揮スルノ不適當ナルコト

ヲ覺リ六日 ^{ノボヤ} Nova 竝ニ ^{ブレナ} Plevna 前方ニ在ル第四第九軍團諸隊ノ指揮ヲ占參
 將官タル第四軍團長中將ツォトフニ任シ騎兵第四師團長中將クリロフヲ
 シテ一時第四軍團ノ指揮ヲ取ラシメ且中將ツォトフニ凡テ決戰的企圖ハ
 特別ノ命令アル迄之ヲ延期スヘク且新來ノ部隊ヲシテ成ルヘク疲勞セシ
 メサルヘキ旨ヲ訓令シ又第十一軍團ノ諸隊ヲ西部兵團ノ編組外トシ ^{チナ} Chna-
^{スツデナ} Studenaニ到リ軍ノ豫備隊タラシム
 此間軍司令官ハ三方面ニ在ル各兵團ノ連絡ヲ完全ナラシメント欲シ第八
 軍團長ヲシテルスチ ャック兵團ノ右翼ニ連絡部隊ヲ出シテ步兵第十一師
 團ノ ^{カキ} Cajir (Carliko) 出發後騎兵第八及第十三師團間ニ生セシ大間隙ノ連絡
 ニ任セシメ又西部兵團ト南部兵團間ノ連絡竝ニ警戒ノ爲 ^{ブレナ} Plevna 第二會戰前ニ
 部隊ニ依リテ維持セラレタリシカ該部隊ハ同會戰ニ於テ攻撃軍ニ屬シ同地方ニ移リシヨリ
 爾後 ^{セブリヤ} Sevljevo 附近ニ於ケル南正面ノ右翼部隊ハ搜索及警戒ニ要スル騎兵ヲ有セサルニ至レリ
 將スコベレフノ令下ニ在リタル中佐バクラーノフ部隊(哥薩克騎兵四中隊騎
 砲二門)之ニ任セシカ次テ三日少將スコベレフノ部隊ヲモ中將スワヤトボ

イル、ミルスキーニ隸屬シ此等部隊ヲ以テ中將ミルスキーノ部隊ヲ掩護シ且同隊ト Plevna 攻撃軍トノ連絡ニ任シ尙 Lovcha 附近ノ敵情ヲ搜索シ爲シ得レハ之ヲ攻略セント欲シ少將スコベレフニ步兵第三十五聯隊龍騎兵第十一聯隊及砲兵第九旅團第六中隊(後更ニ步兵第三十師團ヨリ步兵第一百七聯隊ノ二大隊及砲兵第一中隊ヲ増加ス)ヲ屬シ先ツ威力ヲ以テ Lovcha 附近ノ敵情ヲ偵察セシメタリ

七日少將スコベレフハ右ノ命令ニ基ツキ Lovcha ニ對シ威力偵察ヲ實施シ八日軍司令官ハ同少將ヨリ步兵約二十大隊ヨリ成ル敵ノ一支隊ハ Lovcha ノ天險ヲ利用シ堅固ニ陣地ヲ占領セルカ故ニ約二師團ヲ以テ逐次之ヲ攻撃スルニアラスンハ奏功セストノ報告ニ接シ該地ノ攻略ヲ延期シ且同少將ノ部隊ヲ解散セシム

九日軍司令官ハ敵兵 Plevna, Lovcha 間ヲ交通スルヲ知り西部兵團司令官ニ敵情搜索ヲ周密ニシ若シ Plevna ノ守兵 Lovcha に向ヒ前進セハ之ヲ妨害シ

選抜兵第二第三師團ノ招致

狙撃歩兵第三旅團歩兵第二師團等ノ到著

八月中旬露軍軍隊區分

テ其企圖ヲ挫折スルニ至ラシムヘキヲ訓令セリ

八月十日 Bala 大本營ニ於テ御前會議ヲ開催シ軍司令官竝ニ「ルスチュック」兵團司令官之ニ參列セリ此際選抜兵軍團ヲ動員シ同軍團ノ選抜兵第二第三師團ヲ巴爾幹半島上ノ作戰軍ニ増加セシメラレタリ選抜兵第二第三師團ハ第一師團ハ巴ニ動員シ高加士方面ニ増遣セラレ在リ而シテ Ristov 附近橋梁中ノ一個ヲ

更ニ Ruseuk 方面即チ Pirgoz ニ移サントノ提案附錄第六參照ハ否決セラレタリ同日軍司令部ハ Grin-Studena ニ轉シ十四日ニハ大本營モ亦同地ニ移レリ

七月二十日ノ發令ニ依リ作戰軍ニ増加セシメラレ同月二十九日本國ヲ出發シタル諸團隊ハ漸次戰場ニ來著セリ即チ狙撃歩兵第三旅團ハ八月九日

Grin-Studena 同旅團ニハ Kikopoli 於テ鹵獲セル火砲四門ヲ以テ編成セGolnitsy 砲兵一中隊各砲ニハ彈藥二百發ノ準備アリヲ附屬セリ步兵第二師團ハ十二日其第二旅團ヲ以テ Zimnicea ニ到著セリ七月二十日ノ命令ニテ出發シタル師團ノ殘餘ハ八月十九日迄ニ、步兵第三師團ハ八月二十二日ヨリ三十日ノ間ニ又「ドン」哥薩克騎兵第二師團ハ九月九日ヨリ十三日ノ間ニ「Donau」河ヲ渡過シタリ

以上ノ如クシテ八月十三日露軍軍隊區分ハ附錄第七ノ如ク而シテ其一般

及一般配置
(附圖第三
十六參照)

ノ配置ハ左ノ如シ

西部兵團ハ ^{ツルスキトレステニク} Turski-Prostenik, ^{ペリス} Pelisat 附近ヲ占領シテ近ク ^{プレブナ} Plevna ノ土軍ト相對シ其右翼ハ羅馬尼亞軍第四師團ト連絡シ 當時羅馬尼亞軍第四師團ハ ^{ニコポリ} Nikopolj 及其西南地區ニ進出セリ後文參照 其左翼ハ高加士哥薩克騎兵旅團ヲ以テ南部兵團ノ「セルエビ」支隊ト連絡セリ

南部兵團ハ先進兵團ヲ巴爾幹山内ニ收容シタル後 ^{セヴリェヴォ} Seviljevo 附近ヨリ ^{シプカ} Sipka 峠 ^{エレナ} Elena ヲ經テ ^{ディリジュネ} Dzirjunci 附近ニ互ル線ヲ占領シ其左翼ニ在ル「セルエビ」支隊ハ其前衛ヲ以テ ^{カクリナ} Kakrina 附近ヲ占領シ西部兵團所屬ノ高加士哥薩克騎兵旅團ト連絡シ ^{ロヴカ} Lovca 附近土軍ト相對シ又兵團ノ最左翼ハ「オスマンバザール」部隊所屬ノ騎兵ヲ以テ「ルスチ ユック」兵團ト連絡セリ

「ルスチ ユック」兵團ハ ^{アジャズ} Ajazlar, ^{シロコフ} Sirokov, ^{ピルゴツ} Pirgoz ノ線ヲ占領シ ^{ラズグラド} Razgrad, ^{ルスカ} Ruscak ノ土軍ト相對ス

豫備隊ハ ^{グリンシュテン} Grn Studena 附近ニ軍司令部モ亦同處ニ、大本營ハ ^{ベラ} Bela ニ在リ翌

十四日軍司令部ノ位置ニ移轉セリ下流「ドナウ」兵團ハ ^{ツェルナ} Cernavoda, ^{コンスタンツァ} Constantia ノ線ニ停止シ少將アレクサンドロフノ部隊ハ布爾牙利戰地ニ招致セラレシモ未タ下流 ^{ドナウ} Donau 河ノ地域ヲ出發スルニ至ラス之ニ反シテ同部隊ト交代スヘキ少將ウエレウキンノ率キル下流「ドナウ」師團ハ漸次 ^{ドナウ} Donau 河下流地域ニ來著セリ

「アレレル」支隊ハ依然 ^{グurgevo} Gurgevo, ^{オテンジャ} Otentja 間ノ警戒ニ任シ同地域ニ在リ

當時外交關係ハ露國ノ爲頗ル有利ト爲リタリ即チ倫敦駐劄大使伯爵スバロフヨリ英國政府ハ露土戰ニ關シ中立ヲ守ルヘキヲ宣言セシトノ通報アリ又奧國皇帝ノ侍從武官男爵ベヒトルスハイムモ ^{ベラ} Bela ニ於テ奧帝カ露國ニ好意ヲ表スル旨ヲ報セリ

然レトモ羅馬尼亞軍トノ關係ハ未タ露軍所望ノ如ク有利ニ進捗セサリキ羅馬尼亞軍ハ既記ノ如ク七月下旬露軍ノ要求ヲ容レ第四師團ノ一部ヲ ^{ニコポリ} Nikopolj ニ移シ同地要塞ノ守備ニ任セシカ國王ハ其後陸軍大臣ブラチアノー

八月中旬ノ
外交關係

露羅兩國軍
ノ關係及羅
馬尼亞軍ノ
情況

ノ獻言ニ依リ第四師團ノ内未タ渡河セスシテ Turnu-Măgurele 附近ニ集合セル部隊ヲ以テ Nikopoli^{ニコポリ}ノ戍兵ヲ増加シ之ニ渡河後露軍ノ希望ニ從ヒ所要ノ地點ニ於テ該軍ヲ援助スヘキヲ訓令シ又第三師團ヲ第四師團ノ舊位置ニ在ラシメ且其旨ヲ直ニ露軍司令官ニ通報シ之ト同時ニ露軍ノ要求ニ從ヒ陽動ノ實行ヲ約シタリ但シ主力ノ渡河ニ關シテハ何等意見ヲ吐露スルコト無ク唯敷設水雷ノ缺乏ヲ訴ヘ苟モ之無クンハ Rahovo, Lompalanka^{ラホヴォ、ロムパランカ} 間ノ Donau^{ドナウ} 河上ニ在ル土國モニトール艦ニ對シ我架設セントスル橋梁ヲ警戒スル能ハサルヲ揚言セシノミ蓋シ國王ノ意ハ尙其主力ヲ以テ Vidin^{ヴィディン} 附近ニ於テ Donau^{ドナウ} 河ヲ渡リ獨立シテ作戰スルヲ欲セシニ依レリ

然ルニ其後國王ハ八月二日發ノ露國軍司令官ヨリ左ノ要旨ノ電報ヲ受領セリ

Plavna^{プレヴナ} 附近ニ集合セル敵ノ大集團ハ我軍ヲ擊退セリ小官ハ嘗テ宣言セラレタル如ク爲シ得ヘクンハ Donau^{ドナウ} 河ヲ渡過シテ陽動セラレンコトヲ

希フ但シ其陽動ハ Celejni (Celauj) Corabia^{チエラジュニ(チエライ)コラビア} 附近ニ於テシ以テ我諸隊ノ移動ヲ妨害セサラシメンコトヲ要ス

是ニ於テカール公ハ從來包持セシ軍ノ作戰目標ヲ變更シ Plavna^{プレヴナ} 前方ニ在ル露軍ニ對シ直接援助スルノ考案ヲ立テ其渡河點ヲ Icker^{イクセル} 及 Vit^{ヴィト} 河間ニ撰定シ三日カール公ハ此旨ヲ露軍司令官ニ打電シ尙左ノ要旨ヲ通報セリ

一、羅馬尼軍ハ幾多ノ困難ナル情況ヲ排斥シテ Plavna^{プレヴナ} ニ對スル攻撃ノ爲約三萬人ヲ集合セシムルノ準備ヲ爲シタリ

二、架橋ノ爲ニハ凡ソ八日間ノ時日ヲ要セン

三、露軍ノ作戰計畫竝ニ部署ニ關シ十分ニ知得スル所無キヲ以テ最近作戰ノ經過ノ大略ヲ通報セラレンコトヲ乞フ

四、羅馬尼軍ハ大規模ノ作戰ヲ行ヒ得ル如ク完全ニ編成セラレサルヲ以テ隨テ Plavna^{プレヴナ} ヨリ前方ニ突進スル能ハス故ニ露軍ノ右方ニ在リテ作戰シ露軍ノ右翼ト必要ノ連絡ヲ維持スルニ止メサル可カラス

十一日國王ハ九日發ノ露國軍司令官ノ通報ニ依リ其軍ヲ率キテNikopoli附近ニ於テ渡河ヲ行フヘシトノ提案ヲ受ケタリ同提案ニハ其理由トシテ述ヘテ曰ク羅馬尼亞軍カ露軍ト甚タ離隔シテ渡河ヲ行フトキハ危險ノ虞レアリト雖モNikopoli附近ニ於テ渡河セハ右岸ニ在ル羅馬尼亞軍及露軍ノ爲ニ直接警戒セララルヲ以テ其憂ヒ無シト斯クシテ露軍ハ羅馬尼亞軍ヲ合一セント欲セリ然レトモ國王ハIsker河口附近ニ於テDonau河ヲ渡リテ獨立シテ作戰ヲ爲サント欲シNikopoli附近ニ於ケル渡河說ヲ却ケ羅馬尼亞軍ト露軍トノ間ノ關係協議セラルル迄ハ一般ニ於テDonau河ヲ渡ラサルニ決心セリ

此間同國第四師團ノ殘餘ハDonauヲ渡河シ八月六日迄ニ全部右岸ニ移リ十三日迄ニ其主力ハBrosjjanica附近ニ進出シPlevnaニ對シ西部兵團ノ右翼ヲ警戒シ一部ハ同兵團ノ一部トNikopoliノ守備ニ任シタリ而シテ羅馬尼亞軍爾餘ノ諸隊ハOrehovo (Rahovo)ノ東方Isker河口ニ向ヒ前進中ニシテVidinノ對岸ニハ歩兵十大隊騎兵八中隊砲三十六門ノミ留メラレタリ

以上ノ如クシテ八月中旬迄ニ羅馬尼亞軍ハ單ニ其歩兵約一師團騎砲兵共ノミヲ以テDonau河ノ右岸Nikopoli近傍ニ到著シタルノミ而モ露軍ハ敵ノ

八月一日頃
ヨリ中旬ニ
至ル土軍ノ
情況

三方面ヨリ受ケントスル攻撃ニ對シテ強大ナル豫備隊ノ控置ヲ必要トセシニ拘ラス未タ軍司令官ノ隷下ニ屬セサリキ

附記 布爾牙利内土軍ノ兵力ハ既記ノ如クオスマン、スライマン及メヘメットアリーノ三軍ニ分離セリ土軍ハ七月末露軍西部兵團ヲPlevnaヨリ撃退シ又先進兵團ヲStarazagoraヨリ驅逐シ特ニ一般ニ露軍ノ情況ニ精通セシニ拘ラス土軍ハ在維納ノ自國公使館ヨリ情報ヲ得ルノ便法ヲ有セリ戰捷ヲ利用シ效果ヲ收メントスルニ意無クメヘメットアリーパシアハ既記ノ如クKazgradi附近ニ兵力ヲ集結セシモ其兵力豫期ニ達セサリシヲ以テ全ク守勢ヲ事トシ彼ノスライマンパシアノZitka攻撃ニ協同セシメンカ爲ニCismanbazariヨリIrnovoニ對シテ陽攻セシメシ支隊ヲモEski Dzumajaニ止メ情況ニ應シテ巴爾幹山ニ向ハシメ或ハKazgradニ招致シテ自軍ヲ増加セントセリ

メヘメットアリーパシアノ八月二日陸軍大臣ニ送リタル報告ハパシ

ア當時ノ情況判斷ヲ察知スルニ足ル曰ク「Plevna 附近ノ敗北後露軍ハ該要塞ニ對シテ其全力ヲ集合シ同時ニ Ruschik 及 Razgrad ニ對シテモ亦兵力ヲ集合シ而シテ巴爾幹山ノ各通路ハ單ニ必要止ムヲ得サル限リノ兵力ヲ以テ守備シ同山南爾餘ノ諸隊ヲ北方ニ招還スルナラン又露軍ハ Plevna 及 Razgrad 附近ノ我軍ヲ驅逐セサル間ハ大軍ヲ以テ巴爾幹山ヲ越ユル能ハサルヘシ特ニ今ヤ露軍ハ作戰上困難露軍ハ從來糧秣ヲ羅馬ニ仰クノ已ムヲ得サル情況ニ在リ」ニ遭遇スルカ故ニ必ス南進作戰ヲ中止スルナラン因テ我ハ Plevna 及 Razgrad ニ對スル露軍ノ攻勢ニ注意スヘキナリ云々」ト之ニ加フルニメヘメットアリーハスライマンパシアノ軍ヲ自軍ニ合一セント欲シスライマンパシアニ通報シテ曰ク「露軍ノ巴爾幹山内ニ背進セシヨリ判斷スルニ此方面ヨリ敵ノ再攻撃アリト思考スルヲ得ス必スヤ敵ハ Razgrad ノ前方ニ集合シタル其三軍團ヲ以テ同地ニ向ヒ前進シ又同時ニ Ruschik ヲ攻圍スルナラン

以上ノ理由ニ依リ貴軍ハ速ニ Hankioj, Tvardica 峠ヲ守備シ Sipka 山峽ヲ占領シ殘餘ヲ以テ Tynovo 東方ノ地區ニ前進スルヲ可トス貴官ハ七十大隊ヲ使用スルカ故ニ之ヲ實行スルコトハ困難ナラサルヘシ又露軍 Kotel ニ對シ攻撃ヲ行フコト無シト信ス況ヤ同地方ニハ Behrovo 附近ノ住民露軍ニ對シ武装シテ各峠ヲ防守スヘク準備シ在ルオヤ Kotel ニ在ル予ノ部隊歩兵四大隊砲兵一中隊半ハ全然貴官ニ隸屬セシメントスライマンパシアハ最初ヨリ Tynovo ニ向ヒ三軍相呼應シテ露軍ヲ攻撃セント欲シ Starazgora 附近ノ戦闘後 Novazgora, Hankioj ノ地域ニ在ルヘキ露軍ヲ巴爾幹山北ニ驅逐シ右側ノ危険ヲ除カントシ既ニ Novazgora ニ向ヒ四日同地ヨリ Tvardica, Hankioj 峠ヲ占領シ次テ Sipka ニ向ハン「トメヘメットアリーパシアニ報告シ其協力ヲ請ヘリメヘメットアリーノ判斷ハスライマンパシアニ異ナリシヲ以テ此要求ヲ拒絶シ却テスライマンパシアニ部下ノ軍隊ヲ率キテ前記ノ峠ヲ占領シ然ル後

成ルヘク速ニ援助ノ爲ニLivno及Kotel(Kazan)ニ向フヘキヲ以テセリ當時
 メヘメツトアリーパシアハ事實上全軍總指揮ニ任セシモ其權力極メ
 テ薄弱ニシテスライマンパシアハ殆トメヘメツトアリーノ司令權ヲ
 認メサリシヲ以テ戰後開カレタル軍法會議ニ於テスライマンパシアハ常ニメヘメツトアリーパシアノ隸下ニ在リシヤ否ヤノ問題ニ關シテ答辯ヲ避ケ十分明確ナル成績ヲ擧ケスシテ閉停セリ飽ク迄モ前決心ヲ保持シ先Hankiojヲ占領セント欲
 シ其動作ヲ容易ナラシムル爲メヘメツトアリーパシアノ一支隊ヲシ
 テOsmanbazar方面ヨリ露軍ヲ攻撃セシメントシ直接陸軍大臣ニ請フ
 テメヘメツトアリーヲ促シテ自己ノ要求ニ應セシメントセリ其理由
 ニ曰クHankiojヲ占領スルトキハ兩軍ノ連絡確實ト爲リ且露軍ノ攻
 撃セントスルKotelハ之ニ依リ掩護セラルルニ至ルヘシト陸軍大臣ハ
 右ノ要求ニ接シタルモ露軍ノ主力ヲ以テZipka峠ヲ經テAdrianopol
 ヲ攻撃センコトヲ懸念シ何等斡旋スル所無ク却テ五日スライマンパ
 シアニ敵ヲ拒支シ且之ヲ擊退セシメンカ爲ニ幾何ノ兵力ヲ要スヘキ

カノ意見ヲ徵シ尙露軍カバ爾幹山脈ヲ越エテ同時ニPhilippopol若シク
 ハLivnoヲ經テTurkiseニ向ヒ攻勢ヲ取ルハ不可能ナレハ何レカノ
 一二出テンコトニ想到シ七日スライマンパシアニ何レノ峠ヲ占領ス
 ヘキカ何レノ地點ニ工事ヲ施スヘキカ又此等地點ニ幾何ノ糧食及彈
 藥ヲ集積スヘキカヲAdrianopol總督サフェットパシアニ協議スヘキ
 ヲ訓令シ而シテオスマンパシアメヘメツトアリーパシアノ行動ニ關
 シテハ何等指示スル所無シ
 スライマンパシアハ前記八月五日ノ陸軍大臣ノ質問ヲ受ケ第一線ト
 シテKazanik, Zipka間ニ歩兵五十八大隊、Novaznagora附近及工事ヲ施
 セルHankioj竝ニIvrica峠ニ同十一大隊又第二線トシテハAdrianopol
 ノ守備隊ニ同二十六大隊ヲ使用シ尙Adrianopolニハ歩兵十四大隊ヨ
 リ成レル豫備隊ト外ニ兵站部隊トシテ歩兵四大隊ヲ計上シ合計百十
 三大隊ヲ要スヘキヲ報告シ且附言シテ曰クオスマンパシア及メヘメ

トアリーカ同時ニ ツルノ Trnovoニ向ヒ前進シテ以テ露軍ノ退却線ヲ脅威スルニアラスンハ此兵力ヲ以テ敵ノ正面ニ對スル作戰ハ何レモ無効ナリト信ス」ト斯クテ十日迄ニ若干ノ増加隊ヲ得同日 ノメザ Novazbegova 出發 トアルチヤ Tyrdicaニ向ヒ前進ヲ起ス

メヘメットアリーハスライマンパシアノ此運動ヲ知ルヤスライマンカ豫メ己レニ通報セサリシ旨ヲ陸軍大臣ニ訴ヘ且スライマンノ兵力ノミヲ以テ先 シツカ Sipkaニ向ヒ攻勢ヲ取り之ニメヘメット軍ノ一小部隊ヲ協力セシメ同地略取後三軍 ツルノ Trnovoニ前進スルヲ可トシ十一日左ノ要旨ノ意見ヲ具申セリ

土軍ノ兵力微弱ニシテ加フルニ各地ニ散在スルカ爲 ラツグ Razgrad 附近ニ歩兵四十八大隊 ブレナ Plevna 附近ニ同三十八大隊 ブレナ Plevnaノ兵力ニ直接 ツルノ Trnovoニ向ヒ前進スルハ不可能ノコトトス之ニ反シ露軍ノ攻勢ニ轉スルハ當ニ然ルヘキ所タリ若シ夫レ露軍ニシテ一度 ブレナ Plevna 及

ラツグ Razgrad 設堡陣地ヨリ我ヲ驅逐シ得ンカ アドリアノ Adrianopelニ對スル前進ハ最早途ニ妨クルコト能ハサルニ至ルヘシ今ヤ露軍僅カニ一師團ヲ以テ巴爾幹ノ諸峠ヲ守備スルノミ之ヲ攻撃スルハ容易ナリ以上ノ理由ニ依リ前記兩土軍 ブレナ Plevna 及 ラツグ Razgradノ軍ハ守勢ヲ取りスライマンノミ爲シ得ル限り速ニ巴爾幹山ノ通路ヲ占領スヘキナリ而シテ其成效ヲ容易ナラシメンカ爲ニハスライマン軍ノ動作ニ連繫シテ巴爾幹山ノ北方山腹ヨリ部隊ヲ前進セシムルノ必要アルモ小官ハ兵力ノ關係上大部隊ヲ割キ得サルカ故ニスライマン軍ヨリ歩兵十五乃至二十六大隊ヲ オスマン Osmanbazarニ向ヒ派遣シ予ノ指揮下ニ屬セシムヘキナリ如此シテ兩方面ヨリ攻勢ヲ取ルトキハ各山路特ニ シツカ Sipka 峠ヲモ占領シ得ヘシ既ニスライマン軍 シツカ Sipkaヨリ ツルノ Trnovoニ前進セハメヘメット及オスマンノ軍モ亦運動ヲ起シ茲ニ始メテ一般ニ攻勢ヲ取り得ルニ至ラン

君府ニ於テハ之カ爲十三日(或ハ十四日)軍事會議ヲ開キ其結果遂ニス
ライマンパシアノ *Sipka* 攻撃案ニ決定セラレ八月下旬ヨリ其活動ヲ
見ルニ至レリ八月十三日土軍一般ノ配置左ノ如シ

西方面ニハ *Plevna* ニオスマンパシアノ自ラ指揮スル歩兵四十九大
隊、騎兵十二中隊、砲六十門約三萬一千人) *Lovea* ニ歩兵八大隊、騎兵二
中隊、砲六門(約五千人)アリ

Donau 河畔ニハ *Rahovo* ニ歩兵六大隊、砲六門 *Lom (Lom-Palanka)* ニ歩
兵二大隊 *Vidin* ニ歩兵七大隊、砲六門アリ又 *Orhanje* 附近ニ
ハ合計歩兵二十一大隊、騎兵六中隊、砲十八門 *Sofia* ニ歩兵六大隊、騎
兵四中隊、砲十二門アリ

南正面ニハスライマンパシアノ自ラ指揮スル歩兵五十六大隊、騎兵
二十三中隊、砲五十四門(約三萬七千人)ハ既ニ *Tyrdica* ニ達シ *Marica* 河
谷 *Tihovo* ヨリ上流地區ニハ歩兵四大隊、騎兵十四中隊アリテ各要地

ヲ守備シ又歩兵八大隊、砲九門ハ *Tyrdica* ノ東北方 *Kotel* 附近ノ山地
ニ歩兵二大隊ハ *Novazagora* ニ在リ

東正面ノ要塞地區ニハ合計歩兵百四十五大隊、騎兵七十一中隊、砲二
百十六門ノ兵力アリ其内 *Funula*, *Razvuk* 及其以東ノ地區内ニ在ル約歩
兵七十五大隊及砲百門ノ要塞守兵ヲ除キ歩兵五十七大隊、騎兵四十
九中隊、砲八十四門(約四萬人)ハ *Razgrad* 及 *Iski-Dzumaya*
合シ又歩兵十二大隊、騎兵四中隊、砲十二門(約八千人)ヲ有スル部隊ハ
スライマンパシアノ *Sipka* 峠攻撃ヲ間接ニ容易ナラシメンカ爲ニ
Osmanbazar ニ在リ

以上戰場及其附近ニ在ル土軍ノ全兵力ハ歩兵三百十二大隊、騎兵百
三十四中隊、砲三百八十七門トス

一 西部兵團ノ行動

西部兵團ハ *Mevna* 附近ヨリ退却シタル後八月一日概ネ前日ノ位置ニ駐止

八月一日西
部兵團ノ位

ス即チ第九軍團司令部兵團司令部ヲ兼ヌ步兵第三十一師團及騎兵第九師團ノ各主力ハ *Turkski-Rosentsk* 附近ニ第十一軍團司令部步兵第三十師團第一旅團砲兵第三十旅團ノ半部步兵第三十二師團第一旅團砲兵第三十二旅團(二中隊欠)高加士哥薩克騎兵旅團ノ主力及中佐バクラノフノ部隊ハ *Portim* 附近ニ步兵第五師團ノ主力步兵第三十師團ノ半部及騎兵第十一師團ノ主力ハ *Bigarene* 附近ニ尙一部ノ守備兵ハ *Nikopoli, Sistov* 附近ニ在リ 以下一覽圖第二參照

是日中將クリユデネルハ三十一日附軍命令ヲ受領ス即チ左ノ如シ

西部兵團ノ増援トシテ步兵第十六師團ノ步兵三聯隊竝ニ砲兵五中隊ハ *Ivanca* ヨリ *Batak, Gradiste* ニ騎兵第四師團(ドン)哥薩克騎兵第四聯隊欠(工兵第三大隊ハ *Bigarene* ニ進ム

軍司令官ハ司令部ノ一部ト共ニ三十一日 *Bela* ニ赴キ後 *Bigarene* ニ到リ西部兵團ノ指揮ヲ取ラントス

軍司令官ノ到著スル迄貴官ハ *Bigarene* 附近ノ諸團隊ヲ指揮シ中將ミル

スキーノ軍隊ト常ニ連絡スヘシ同中將ハ步兵三聯隊ヲ指揮シ *Deviljevo* 附近ニ集合スル筈ナリ

貴官ハ *Bigarene* 附近ノ最モ適當ト認ムル陣地迄退却シ同處ニ於テ敵ヲ拒止スヘシ

依テ中將ハ諸隊ヲシテ現在地ヲ守備セシメ増加團隊ノ來著ヲ待ツ

六日第十一軍團長中將シァコウスコエハ其部隊ト共ニ西部兵團ノ編組ヲ脱シ *Causka-Mahla* ニ到リ軍ノ直轄ト爲ルヘキ命令ニ接シ同時ニ第四軍團長中將ツォトフハ左ノ要旨ノ二回ノ命令ニ接セリ

1. *Plevna* ノ前方ニ集中シタル軍隊ノ指揮ヲ統一ナラシムル爲左ノ諸團隊ヲ第四軍團長中將ツォトフノ指揮ニ屬ス

第四軍團

第九軍團

Plevna ニ到著セル 馬尼第四師團 當時羅馬尼軍ハ未タ露軍司令官ニ隸屬セサリシモ軍司令官ハ近ク使用シ得ルモノ

ト考ヘテ第四軍團少將スコベレフノ騎兵集團高加士哥薩克騎兵旅團及
長ニ屬セシカカ如シ
中佐バクラノフノ部隊

但シ少將スコベレフノ騎兵集團ハ啻ニ第九軍團ノ左側ヲ掩護スルノ
ミナラス *Ловча* ニ對峙スル中將ミルスキーノ部隊ヲ掩護シ特別ノ理
由アルニアラスンハ其主力ヲ其本來ノ指定地ヨリ他ニ移轉スヘカラ
ス又中佐バクラノフノ部隊ハ依然少將スコベレフニ屬シ中將ミルス
キーノ部隊ノ前方ニ駐マリ如何ナル場合ニ在リテモ *Osma* 河左岸ニ
渡過セサルヲ要ス

二軍司令官ハ先ツ増加團隊ノ到着ヲ得タル後攻勢ニ轉セントス故ニ中
將ツォトフハ現在ノ陣地ヲ固守シ唯敵ノ或ル運動ニ依リ成功ヲ確保
シ得ヘキ場合ニ限り攻勢ニ轉スルヲ得ヘシ

既ニシテ第十一軍團ハ *Causka Mahla* ニ到リ軍ノ豫備ト爲リ西部兵團ノ増
加團隊タル歩兵第十六師團歩兵第六十一聯隊砲兵第四旅團第一中隊欠ハ

第十一軍團
軍ノ豫備ト
爲ル
八月七日西

部兵團ノ位
置(一覽圖
第二參照)

Ivanca *Porri* *Batak* ヲ經テ *Gradiste* ニ騎兵第四師團(ドン)哥薩克騎兵第四聯
隊欠ハ *Blgarene* ニ向ヒ前進シ工兵第三大隊モ西部兵團ノ編組ニ入り
一 中隊ハ *Blgarene* ニ於テ橋梁ノ架設陣地ノ編成ニ從事シ同第三中隊ハ *Causka Mahla* ニ分遣セラレ第
二 第四中隊ハ是ヨリ先西部兵團ニ屬セシ工兵第五大隊ノ一中隊ト共ニ第四第十一軍團ニ配屬セシ
メラレ陣地ノ編成ニ任ス而シテ一般ノ指揮監督ハ 七日西部兵團諸隊ノ位置概ネ左ノ
工兵第二旅團長少將ロイトリンゲル之ヲ擔任セリ
如シ

歩兵第三十一師團第二旅團歩兵第二百二十四聯隊第三大隊欠同師團砲兵
第三十一旅團ノ第三第六中隊、槍騎兵第九聯隊(ドン)哥薩克騎兵第九聯隊、
同第三十四聯隊ノ第一第二第三中隊(ドン)哥薩克騎砲兵第二中隊ハ西部
兵團司令部ト共ニ *Turski-Trostenik* ニ歩兵第三十一師團第一旅團同師團
砲兵第三十一旅團ノ第一第二第四中隊、歩兵第五師團歩兵第十九聯隊、歩
兵第十七聯隊第二大隊、第十八聯隊第二大隊、砲兵第五旅團ノ第三中隊欠
ハ *Bigarski-Karagac* ニ歩兵第三十師團歩兵第一百七聯隊ノ第二大隊、砲兵第
三十旅團第一中隊 此部隊ハ少將スコベレフ部
隊ニ屬セリ後ノ記事參照 欠ハ *Pordina* ニ歩兵第十六師團歩

少將スコベレフ部隊ノ

兵第六十一聯隊砲兵第十六旅團第一中隊 此部隊ハ少將アレクサンドロフノ指揮ニ屬シドン哥薩克騎兵第四聯隊ト共ニ
下流Donau河ノ地ニ在リ 欠龍騎兵第四聯隊槍騎兵第四聯隊騎砲兵第七中隊ハ Peisatz 附近ニ驃騎兵第四聯隊騎砲兵第八中隊ハ Iucenica ニ在リ又步兵第十七聯隊第二大隊ハ Causka-Mahla ノ大本營勤務ニ服シ步兵第十八聯隊第二大隊ハ Osma 河橋梁附近ニ在リテ輜重ノ護衛ニ任シ步兵第十九聯隊砲兵第三十一旅團第五中隊ドン哥薩克騎兵二中隊ハ Nikopoli ニ 他ノ一中隊ハ傳令遣セラレ在リ 步兵第二百二十四聯隊第三大隊撤兵第三中隊欠ハ Natov ニ在リ
 羅馬尼第四師團ハ七月二十九日 Nikopoli 附近ニテ渡船ヲ開始シ八月六日迄ニ悉皆渡河ヲ終了シ常備步兵第五第七聯隊後備步兵第十三二中隊欠第十五一大隊欠及第十六聯隊獵兵第二大隊騎兵第三第七第八聯隊砲兵第三聯隊ノ三中隊同第四聯隊ノ三中隊合計步兵十一大隊半騎兵十二中隊砲三十六門ヲ Kikopoli ニ集結セリ
 是ヨリ先少將スコベレフハ高加士哥薩克騎兵旅團ドン哥薩克騎砲兵第八

行動

中隊ヲ附ス中佐バクラフノ部隊ヲ指揮シ第九軍團ノ左側竝ニ中將ミルスキー部隊ヲ掩護シ西部兵團ト中將ミルスキー部隊トノ連絡ニ任シタリシカ三日更ニ軍司令官ヨリ龍騎兵第十一聯隊竝ニ中將ミルスキーノ部隊ノ前衛 步兵第二十五聯隊砲兵第九旅團第三中隊及ドン哥薩克騎兵第三十聯隊ノ若干中隊ヨリ成リ Sevlijevo ノ西方 Kakrins 南方 Lovca-Sevlijev 道上附近ノ陣地ニ在リシモノノ如シヲ指揮シ後ニ至リ第九軍團步兵第三十師團第七十七聯隊 二大 及同師團砲兵第三十旅團第一中隊ヲ増加セラレタリ Lovca ニ對シ威力偵察ヲ實施スヘシ其目的ハ Lovca ニ在ル敵兵尙築城工事ヲ繼續セルヤ否ヤ殊ニ七月二十八日以後ニ於ケル工事進捗ノ程度及同地附近ノ敵ノ兵力ヲ知ルニ在リ但シ全然敵トノ交戦ヲ避ケ唯偵察ノミヲ行フヘシトノ任務ヲ得又之ト同時ニ中將ミルスキーノ隷下ニ屬セシメラル 然ルニ六日軍命令ニ依リ中將ミルスキーレタ 而シテ四日先自ラ Plevna 及 Statina ヨリ Lovca ニ通スル道路方面ヨリ Lovca ヲ偵察シ其結果同地ヲ攻撃スルノ困難ナルコトヲ知り五日六日更ニ他ノ方面ヨリ偵察ヲ試ミ斯クテ七日遂ニ威力偵察ヲ實行スルニ決ス

當時少將スコベレフノ指揮ニ屬セル諸隊ノ位置左ノ如シ

高加士哥薩克騎兵旅團(一中隊)欠龍騎兵第十一聯隊ノ一中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第八中隊(二門)欠ハ「ヨグラーフ」ニ

歩兵第三十五聯隊、歩兵第一百十七聯隊ノ二大隊、龍騎兵第十一聯隊ノ二中

隊「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊ノ三中隊中佐バクラノフニ屬セシ二中隊ト「クバ

ン」哥薩克騎兵聯隊ノ一中隊、砲兵第九旅團第六中隊、同第三十旅團第一中

隊「ドン」哥薩克騎砲兵第六第八中隊ノ各二門ハ「カクリナ」ニ

「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊是時中佐バクラノフノ混成騎兵部隊ハ解

隊トアレトモ前後ノ關係上二中隊ナルカ如シ及龍騎兵第十一聯隊ノ一中隊ハ「カザ

セヴォ(Talareto)ニ在リ

少將スコベレフハ前記諸隊ノ配置ニ鑑ミ威力偵察ノ部署ヲ左ノ如ク定ム

一、「ヨグラーフ」ニ在ル諸隊ハ大佐ツトルミンノ指揮ニ屬シ「オスマ」河ノ左岸ニ

沿ヒ「Lovca」ニ向ヒ前進ス

八月七日
Lovcaニ對
スル少將ス
コベレフノ
威力偵察

一、「カクリナ」ニ在ル諸隊ハ少將スコベレフ之ヲ指揮シ「Lovca-Sevlijevo」道ヲ

「Lovca」ニ向ヒ前進ス

二、中佐バクラノフノ部隊ハ「オスマ」河左岸ヲ「Lovca-Trojan」道ニ沿ヒ前進シ

南方ヨリ「Lovca」ニ對シ前進ス

七日各縱隊ハ前記ノ部署ニ依リ行進シ中央縱隊ハ「Lovca」ニ著後同地ニ對

シ砲火ヲ開ク然レトモ土軍ハ僅カニ砲一門ヲ以テ徐々應戦シタル外歩兵

ハ凡テ散兵壕内ニ掩蔽シテ其所在ヲ暴露セス唯精良ナル望遠鏡ニ依リ若

干土軍ノ守兵ヲ認ムルヲ得ルノミ是ニ於テ少將スコベレフハ歩兵第三十

五聯隊ヲシテ敵陣地ニ向ヒ攻撃セシメ同時ニ兩側ニ前進シタル騎兵ノ兩

縱隊ヲ以テ敵ノ翼側ニ向ヒ前進セシメ敵兵其陣地ニ暴露セシヲ認メ午後

一時偵察戰ヲ中止シ各縱隊舊位置ニ退却ス

少將スコベレフハ此偵察ニ依リテ「Lovca」ニ在ル守兵ハ約二十大隊ニシテ

火砲十餘門ヲ有スルモノタルコトヲ判斷シ同時ニ「Lovca」ヲ圍繞セル諸高

地ハ天然ノ築城ヲ成シ更ニ散兵壕、掩蓋砲兵掩體及交通路ノ如キ人工的築城ヲ以テ之ヲ堅固ニシ就中敵陣地ハ北東及南方ニ對シ能ク瞰制ノ利ヲ占メ居ルコトヲ知り直ニ其結果ヲ軍司令部ニ報告シ尙七日 ロフチヤ Lovca ニ在ル土軍ノ兵力ニ對シテハ二師團ノ兵力ヲ以テ準攻圍法ニ依ルニアラスンハ之ヲ占領スルコト能ハサルヘキコトヲ軍參謀長ニ報告セリ 少將スコベレフノ報告中ニハ一般ニ築城陣地ヲ略奪スルノ困難ナル實例ヲ示シ Lovca ノ攻撃ニハ是非野戰的ノ攻圍ニ依ラサルヘカラサルノ意見ヲ述ヘタル後野戰的攻圍ノ意義ヲ説明シテ曰ク野戰的攻圍トハ絶ヘス攻撃ヲ援助シ又敵陣地ヲ占領スル爲ニ良好ナル砲兵陣地ト爲ルヘキ地區ヲ開斷無ク逐次占領スルノ意ナリ斯ノ如クセハ Lovca ハ若干日ノ後ニ占領スルヲ得ント

是ニ於テ(時日不詳)少將スコベレフノ令下ニ在リシ諸隊ハ解散セシメラレ中佐バクラノフノ「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊及騎砲兵第六中隊ノ二門ハ「セルエビ」支隊步兵第九師團長中將スワヤトボール、ミルスキー之ヲ率ユニ屬シ以テ同部隊前衛ノ編組ニ入り步兵第三十五聯隊砲兵第九旅團第三中隊ト共ニ ロフチヤ Lovca ノ東南方 ロフチヤセハラチ Lovca-Savijevo 道上 カクナ Kakina 附近ニ位置シ高加士哥薩克騎兵旅團ハ依然 ヨグヤフ Joslav 附近ニ在リテ西部兵團ニ屬シ同兵

團ノ左翼ヲ掩護シ且セルエビ支隊トノ連絡ニ任シ步兵第一百十七聯隊(一大隊)砲兵第三十旅團第二中隊及龍騎兵第十一聯隊ハ各所屬隊ニ復歸セシメラルルニ至レリ 但シ步兵第一百十七聯隊一大隊欠砲兵第三十旅團第一中隊及龍騎兵第十一聯隊ハ八月十三日頃ニハ未タ所屬隊ニ合スルニ至ラザリキ

附記 當時 ロフチヤ Lovca ヲ守備セシ土軍ノ兵力ハ既ニ述ヘタル如ク步兵八大隊、騎兵約二中隊、砲六門ニ過キサリキ

是日オスマンパシアハ ロフチヤ Plevna ニ在リテ ロフチヤ Lovca 方向ニ砲聲ヲ聞キ ロフチヤ Lovca ノ守備兵ヲ増援スル爲午前直ニエミンパシアノ指揮スル步兵五大隊、砲兵一中隊及騎兵ノ一部ヲ派遣セリ同部隊ハ露軍ノ騎兵約一中隊ト ロフチヤ Lovca ノ附近ニ於テ衝突セシ外何等敵ノ抵抗ヲ受クルコト無ク ロフチヤ Lovca ニ著セシカ是時既ニ同地ニ對シテ企圖セシ露軍ハ退却セリ

騎兵第四師團長中將クリロフハ七日午後九時 ペリヤト Pelizat ニ於テ龍騎兵第四聯隊第四中隊 此中隊ハ中將クリロフノ命令ニ依リ Plevna-Lovca 道上ノ電線 破壊ノ任務ヲ受ケテ該街道上ニ派遣セラレタルモノトス ヨリ午後四時 ラヂセボ Radisevo 發報告ニ接ス曰ク ロフチヤ Plevna-Lovca 道ニハ多數ノ縱隊殊ニ步兵前進シ

ツツ在リ其先頭ハ *Kosin* ト齊頭面ニ在リト然レトモ中將クリロフハ夕刻ニ近キト其所在地ト遠隔シ在リシヲ以テ之ヲ遮斷スルコトノ不可能ナルヲ認メ敢テ處置スル所無カリキ

八日早朝中將クリロフハ中將ツォトフノ命令ニ依リ中將ツォトフハ前日 *Plevna* ヨリ土軍ノ一部隊 *Lovca* ニ向ヒ前進セシヲ知り命令セシモノナラシ敵情偵察ノ爲二個ノ部隊ヲ派遣セリ其一ハ大佐ラウニツツ 騎兵第四師團參謀長 指揮スル龍騎兵第四聯隊ノ一部隊ヨリ成リ *Tucenica, Prestovica* ニ前進シ他

ノ一ハ大佐チヒメニエフ 步兵第十六師團參謀長 指揮スル槍騎兵第四聯隊ノ一部隊ヨリ成リ *Bohot, Rajnovo* ヲ經テ *Karaguj* 方約三吉米 ニ前進スヘキモノニシテ兩偵察隊ニハ支援トシテ各步兵二中隊及騎砲二門ヲ配屬セリ兩偵察隊ハ所命

ノ如ク運動シ大佐ラウニツツノ部隊ハ *Kosin* ニ於テ土軍ノ陣地ヲ確認シ大佐チヒメニエフノ部隊ハ前進中敵ニ出會セサリシモ *Bohot* ニ歸還中 *Lovca-Plevna* 道上ヲ *Plevna* ニ向ヒ前進中ナル歩兵約四大隊騎兵約一中隊砲四門

ノ土軍 前記エミンバシチノ部隊ナリ ニ遭遇シ戦闘ヲ開キシモ敵ニ損害ヲ與フルコト能ハスシテ *Bohot* ニ退却セリ

中將クリロフハ正午 *Pordin* ニ於テ *Lovca* 方面ニ在ル高加士哥薩克騎兵旅團長ヨリ土軍 *Lovca* ヨリ *Plevna* ニ向ヒ前進中ナリトノ報告ニ接シ *Pelizat* ニ在リシ步兵二大隊騎兵二中隊砲兵一中隊騎砲二門ヲ騎兵第四師團第一

旅團長少將レオンチエフノ指揮ニ屬シ直ニ *Plevna-Lovca* 道ニ差遣セリ此支隊ハ直ニ *Bohot* ニ向ヒ前進シ同地ニ於テ大佐チヒメニエフノ部隊ニ合シ土軍縱隊ノ後尾同地西方ヲ退却中ナルヲ認識セシモ前面ノ地形斷絶シテ

騎兵ノ運動ヲ妨ケラレ遂ニ追及スルニ至ラス各舊位置ニ復歸セリ中將ツォトフハ敵ノ行進ニ關スル報告遲延スルハ騎兵第四師團ノ搜索敏活ナラサルニ基ツクモノトシ同師團ニ命シ *Plevna* 方面竝ニ *Lovca-Plevna* 道ヲ嚴ニ監視セシム又 *Plevna, Lovca* 間ニハ大ナル間隙アリテ土軍ノ動作ヲ妨害スルコト能ハサルヲ以テ九日歩兵第十六師團及騎兵第四師團第一旅團

ヲ Tuceica 附近ニ派遣シ特ニ騎兵ニハ Plevna 方向竝ニ Plevna, Lovca 道ヲ監視スルト同時ニ Stalna ヲ經テ Osma 河左岸ニ至ル迄高加士哥薩克騎兵旅團ト連絡ヲ保持セシメ又歩兵第六十二聯隊ヲ Peliat ヲリ Zgaljuvec ニ移サシム

西部兵團主動ノ左方移

同日中將ツォトフハ軍參謀長ヨリモ [Liscov 附近ニ於ケル渡河點及同地ヨリノ背後連絡線ヲ掩護シ同時ニ如何ナル場合ニ於テモ土軍ヲシテ Plevna ヲリ Sevljevo 方向ニ前進セシメサルヲ要ス]トノ命令ヲ受領シ更ニ歩兵第三十師團ヲ Pordim ヲリ Peliat 及 Vlodina ニ歩兵第二十聯隊ヲ Bigarski-Karagac ヲリ Pordim ニ移シ情況ニ依リ歩兵第三十師團及騎兵第四師團第一旅團ヲ遊動的ニ使用セントセリ然ルニ偶強雨アリ道路著シク破壊シ直ニ之ヲ實行スルコト能ハス漸ク八月十三日迄ニ左ノ如ク新配置ニ就ケリ

八月十三日頃西部兵團ノ位置(附圖第三十七參照)

歩兵第二百二十四聯隊第三大隊ノ四中隊欠「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊第一第二第三中隊、砲兵第三十一旅團第三第六中隊ハ Turski-Tostenik ニ第

九軍團司令部、歩兵第五師團第一旅團、歩兵第二百二十一聯隊「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊第六中隊、槍騎兵第九聯隊「ドン」哥薩克騎砲兵第二中隊、砲兵第五旅團第一第五中隊欠、砲兵第三十一旅團第一第二第四中隊、工兵第三第五大隊ノ各一中隊ハ Bigarski-Karagac ニ在リ

歩兵第三十一師團第一旅團長少將ビエロコピトフハ歩兵第二百二十二聯隊同第二百二十三聯隊「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊第五中隊ノ半部、砲兵第五旅團第一中隊ヲ指揮シ前記諸隊ノ前衛ト爲リテ Bigarski-Karagac ノ西方六吉米ヨリ其北方ニ互ル地區ヲ占領セリ

歩兵第二十聯隊、砲兵第五旅團第五中隊、工兵第三大隊第二中隊ハ西部兵團司令部ノ所在地タル Pordim ニ歩兵第六十二聯隊、驃騎兵第四聯隊、騎砲兵第八中隊、砲兵第十六旅團第六中隊ハ Zgaljuvec ニ在リ

歩兵第十六師團第二旅團、騎兵第四師團第一旅團、騎砲兵第七中隊「ドン」哥薩克騎兵第九聯隊ノ四中隊、砲兵第十六旅團第二第三第四第五中隊ハ Po-

西方 Tuceuca 河岸 同部隊ヨリハ歩兵二中隊、騎兵二中隊
 Lisat ノ 宛テ警戒ノ爲メ Tuceuca, Bohot ニ出セリ
 ノ一大隊、同第百十八聯隊、ドン、哥薩克騎兵第九聯隊ノ二中隊、砲兵第三十
 旅團第二第五中隊ハ Vladina ニ 同部隊ヨリ歩兵一大隊、砲二門
 步兵第三十師團第二旅團、砲兵第三十旅團第三第四第六中隊ハ左翼第四
 軍團ノ第二線ヲ成シテ同軍團司令部ト共ニ Pelizat ニ在リ
 [ドン] 哥薩克騎兵第三十四聯隊第五中隊ノ半部ハ輜重ノ護衛ニ任シ Ber-
 rene ニ、同第四中隊ハ第四軍團司令部、步兵第五第三十一師團司令部ノ傳
 騎ト爲リ各司令部所在地ニ、工兵第三大隊ノ二中隊、第三第四中隊ハ Osmu
 河ノ橋梁附近 Bigrane 及其附近ニ在リ
 步兵第百二十四聯隊第三大隊撤兵中隊欠ハ Zinov ニ在リテ橋梁ノ守備
 ニ任シ 從來同地ニ在リシ騎兵及砲兵各一中隊ハ 步兵第十九聯隊、砲兵第三十一旅
 團第五中隊ハ羅馬尼軍後備步兵第十四聯隊、騎兵第七聯隊ノ二中隊ト共
 ノ Nikopoli ノ守備ニ任セリ

八月十三日
羅馬尼第四
師團ノ位置

從來下流 Donau 河地域ノ守備ニ任セシ歩兵第六十一聯隊、ドン、哥薩克騎
 兵第四聯隊、砲兵第十六旅團第一中隊ハ未タ中將ウレウキンノ指揮ス
 ル部隊ト交代スルニ至ラス同地域ニ在リ
 高加士哥薩克騎兵旅團(ドン) 哥薩克騎砲兵第八中隊ヲ附スハ兵團ノ最左
 翼 Joglav ニ位置シ Kakrina 南方陣地ニ在ル「セルエビ」支隊ノ前衛ト相連絡
 シ歩兵第百十七聯隊ノ二大隊、龍騎兵第十一聯隊及砲兵第三十旅團第一
 中隊ハ少將スコベレフノ Lovca ニ對スル威力偵察隊ニ加ハリ同少將ノ
 部隊既ニ解散セラレ各所屬ニ復歸スヘキ筈ナルモ尙暫ク高加士哥薩克
 騎兵旅團ノ許ニ駐止セリ
 當時兵團ノ最右翼ニハ羅馬尼第四師團(獵兵第二大隊、步兵第五第七聯隊、後
 備步兵第十三第十四聯隊、第十五聯隊(一大隊ノミ)及第十六聯隊、騎兵第三第
 七第八聯隊、砲兵第三聯隊第三第五第六中隊、砲兵第四聯隊第三第四及第六
 中隊合計歩兵十二大隊、騎兵十二中隊、砲兵六中隊(三十六門)アリ其一部歩兵

二大隊騎兵二中隊ハ既記ノ如ク *Nikopoli* ノ守備勤務ニ服シ殘餘步兵九大
 隊騎兵十中隊砲兵六中隊ハ大佐アレクサンデル、アンデレーセン之ヲ指揮
 シ内獵兵第二大隊步兵第七聯隊騎兵第三第八聯隊同第七聯隊ノ二中隊砲
 兵一中隊計步兵三大隊騎兵十中隊及砲六門ハ前衛ト爲リテ *Brosljanica* ノ東
 北高地ヲ占領シ又後備步兵第十六聯隊ノ一大隊ハ *Vit* 河畔ノ *Jaurene* ニ在
 リテ右側ノ警戒及同河ノ渡過點ヲ監視シ同聯隊ノ一大隊及砲兵一中隊ハ
Osma 河附近兩橋梁警戒ノ目的ニテ *Museljevo* 附近ニ位置シ爾餘步兵第五聯
 隊後備步兵第十三聯隊同第十五聯隊ノ一大隊砲兵四中隊(二十四門)ハ本隊
 ト爲リテ *Nikopoli* 附近ヨリ *Brosljanica* 間ノ地域ニ宿營セリ

附記 當時露軍ニ相對セル土軍ハ二部ニ分レタリ即チ *Plevna* ニ步兵四
 十九大隊騎兵十二中隊砲六十門並ニ不正規騎兵千七百アリ *Lovea* ニ
 ハ步兵八大隊騎兵二中隊砲兵一中隊アリ

三 南方面ノ作戰

其一 自七月三十一日先進兵團ノ *Sipka*, *Hankioj* へノ

退却 一覽圖第三附圖第二
十四第三十七參照

七月三十一日先進兵團ハ既記ノ如ク *Starazagora* 附近ヨリ相異ナル二方向
 ニ退却セリ即チ中將グルコハ先進兵團ノ主力步兵第九師團第一旅團 四中隊欠
 狙撃步兵第四旅團哥薩克步兵二中隊龍騎兵第八聯隊驃騎兵第九聯隊(ドン)
 哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ三中隊同第二十六聯隊ノ四中隊(ドン)哥薩克騎
 砲兵第十中隊ノ四門同騎砲兵第十五中隊騎砲兵第十六中隊並ニ砲兵第九
 旅團第四第六中隊合計步兵約九大隊半騎兵十五中隊砲三十二門ヲ率キテ
Starazagora 東側ヨリ *Dibok* ニ又少將ラウフ 先進兵團ノ
司令部附 指揮スル布爾牙利步兵
 第一第二第三及第五大隊龍騎兵第九聯隊山砲兵第二中隊ノ四門及(ドン)哥
 薩克騎兵若干ハ *Tundza* 河左岸 *Tulovo* 附近ニ到著シ各其附近ニ於テ夜ヲ徹
 セリ斯クテ兩部隊相隔ツコト約五里而モ其間 *Sruenagora* 山ト *Tundza* 河ト
 ニ依リテ相分離セラレ連絡困難ナリキ 以下一覽圖第三及
附圖第三十七參照

七月三十一日先進兵團ノ位置(附圖第二十四參照)

中將グルコハ依然退却ヲ繼續シ Hainkioj 砲八門^{同地ニハ步兵第九師團第一旅團ノ四中隊、山}隊同第二十三聯隊ノ半中隊アリ^{隊ノ半中隊アリ}ヲ守備スルニ決シ翌八月一日主力ヲ以テ Jelhovo^{ニ向ヒ前進}ニ向ヒ前進シ少將ラウフ^{ニ與フル命令ハ八月一日午前八時三十分 Diboiki^{ヨリ兵}ヨリ兵}ニ到ラシメント欲シ所要ノ命令ヲ下シ少將ラウフニ與フル命令ハ八月一日午前八時三十分 Diboiki^{ヨリ兵}ヨリ兵同時ニ軍司令官ニ左記要旨ノ報告ヲ呈ス

スライマンパシアノ全軍攻勢ヲ採リタルハ既ニ確實ナリ
小官ハ明日 Starazagora^{附近ノ優勢ナル敵ヲ攻撃スルコト無ク}附近ノ優勢ナル敵ヲ攻撃スルコト無ク Hainkioj^{ニ向ヒ退却セントス}ニ向ヒ退却セントス

七月三十日三十一日ノ戰鬪ニ於テ諸隊ハ多數ノ彈藥ヲ費消シ今ヤ其補充ノ切要ナルコトヲ報告スルハ小官ノ義務ナリト信ス
スライマンパシアニシテ若シ更ニ攻勢ヲ繼續セハ Hainkioj^{ノ陣地ヲモ}ノ陣地ヲモ固守スルコト能ハサルヘシ小官ハ昨日約百人ヲ失フ今日ノ損害ハ甚大ナルヘキモ未タ知ル能ハス希クハ増加兵ヲ送り彈藥、繃帶材料、重燒麵麩

八月一日ノ情況

ヲ送付セラレンコトヲ

八月一日先進兵團ノ主力ハ Diboiki^{出發} Balabanli^{ヲ經テ} Hainkioj^{ニ向ヒ退却ス其部署ノ大要左ノ如シ}出發 Balabanli^{ヲ經テ} Hainkioj^{ニ向ヒ退却ス其部署ノ大要左ノ如シ}

一、ドン^{哥薩克騎兵第二十一第二十六聯隊ノ各第四中隊ハ Avijene^{Novazagoraノ西北方}ニ前進シ} 前進シ Novazagora^{方向ノ警戒ニ任セシム} 方向ノ警戒ニ任セシム

二、步兵第三十三聯隊、龍騎兵第八聯隊、ドン^{哥薩克騎兵}一^{中隊}、砲兵第九旅團第六中隊ヲ後衛ト爲ス

三、自餘ハ先ツ騎兵ノ殘餘、步兵第三十四聯隊(四中隊欠)、砲兵第九旅團第四中隊次テ輜重及負傷兵、最後ニ狙擊步兵第四旅團、哥薩克步兵二中隊ノ順序ヲ以テ Diboiki-Balabanli-Hainkioj^{道ヲ退却ス}道ヲ退却ス

先進兵團主力ノ退路中 Diboiki-Balabanli^{間ハ山道ナリシヲ以テ砲兵ノ行軍ハ爲ニ大ナル困難ニ遭遇セリ即チ砲兵ハ同行セシ步兵ノ大ナル援助ヲ受ケシモ尙約三里ノ登坂ニ十二時間ヲ要シ約二里ノ降坂ニ四時間ヲ費セリ}間ハ山道ナリシヲ以テ砲兵ノ行軍ハ爲ニ大ナル困難ニ遭遇セリ即チ砲兵ハ同行セシ步兵ノ大ナル援助ヲ受ケシモ尙約三里ノ登坂ニ十二時間ヲ要シ約二里ノ降坂ニ四時間ヲ費セリ

情況此ノ如クナリシカ故ニ後衛ハ遂ニ是日 *Smenagora* 山ノ南麓ニ駐止セサルヘカラサリキ

此朝中將グルコハ其幕僚ト共ニ *Dilpoki* 北方山上ニ於テ南方ヲ瞰望シ夕刻ニ至ル迄敵ノ五個ノ大縱隊南方ニ行進スルヲ認メテ *Novazagora, Darazagora* 附近ニ於ケル戰鬪ノ結果敵兵退却セシモノト想像セシモ依然退却ノ決心ヲ變更セス又敵情ヲ確知スルノ方法ヲ取ラサリキ蓋シ中將ハ思惟スラク退却スル土軍ハスライマンパシアノ一部分ニ過キサルヘク且其後方ニ集合セル諸梯隊ヲ掩護スル爲ナラン故ニ若シ兵團之ヲ追撃セハ敵ノ術中ニ陥ルノ虞アリト 八月二日中將グルコノ軍司令官ニ呈出シタル報告ハ追撃ヲ實施セサリシ理バシアノ軍南方ニ發進スルヲ確認シタリ恐ラクハ之ニ對シ追撃ヲ行フノ必要アリシナラン然レトモスライマン軍ハ一部分ノミ失敗シタルニ過キサルヘク現ニ主力方面 *Charazagora* 方面ノコトヲ云フナランニ於テハ好果ヲ收メ得加フルニ退却セル敵ハ恐ラクハ目下尙後方ニ集合中ナル後續梯隊ヲ爲ニ掩護陣地ヲ占領スルモノナラン故ニ小官ハ敵ニ誘致セラルルコト無カラント欲シ遺憾ナカラ追撃ヲ中止スルニ決心セリ換言スレハ小官カ贏チ得タル戰略上ノ效果(スライマン軍ノ退却ヲ以テ一時甘セサル可カラサルニ至レリ既ニ小官ハスライマンノ全軍或ハ少クモ其大部集合シタルヲ認ムルカ故ニ爾後小官ハ十分ノ援助無クンハ此敵ニ對シテ決戦スルヲ不利ト信ス即チ今ヤ小官ノ任務ハ攻勢ヨリ守勢ニ轉スルニ至レルモノト謂フヘシ是ヲ以テ小官ハ *Handagi* 退却陣地ヲ占領

シ先ツ彈藥ノ補充ヲ行ヒ而シテ情況變更シ我主力再ヒ決戦攻撃ニ轉シ得ルノ機ヲ待タントスト

附記 スライマンパシアハ *Starazagora* 附近ノ戰鬪未タ終了セサルニ方

リ該市内ノ回教民ヲ避難セシメント欲シ其撤退ノ期限ヲ八月二日晝迄トスル旨ヲ告知シ八月一日其集合ヲ待チ護衛トシテ步兵二大隊ヲ

附屬シ露軍ヨリ危險ヲ受ケサル場所(該市南方)ニ送レリ 八月一日中將グル

高地上ニ *Dilpoki* ニ於テ土軍ノ五個ノ大縱隊南方ニ退却スルモノト認メシハ此行進ヲ見誤リテ判斷シタルモノナリ

七月三十一日少將ラウフハ同日ノ戰鬪後 *Iljovo* ニ退却シ步兵及龍騎兵既ニ彈藥ヲ消盡シ布爾牙利歩兵大隊モ兵員著シク減耗シ 報告ニ依レハ四大隊ノ總人員約千人ニ過キスト云フ 加フルニ *Tundza* 河畔ニ有利ナル陣地無キヲ以テ土軍若シ追躡シ來ラハ之ニ對抗スルコト能ハサルモノト信シ中將グルコヨリ別命ナキ時ハ翌一日 *Kazanlik* ニ向ヒ退却スルニ決シ三十一日午後九時其決心ヲ中將グルコニ報告セリ

當時 *Gabrovo, Sipka, Kazanlik* 附近ニ於ケル諸隊ノ配置左ノ如シ

Gabrovo ニ在ル部隊

歩兵第三十六聯隊(八中隊欠)

〔ドン〕哥薩克騎兵第三十聯隊ノ若干中隊

同 騎砲兵第十中隊ノ二門

〔バシツカ〕 峠ニ在ル部隊

歩兵第三十六聯隊ノ八中隊

砲兵第九旅團第五中隊

鹵獲砲兵中隊(七門)

Kazanlik 附近ニ在ル部隊

布爾牙利歩兵第四大隊

〔ドン〕哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ三中隊

烏拉爾哥薩克騎兵中隊

山砲二門

〔ガブロボ〕支隊

先進兵團ノ巴爾幹山南ニ進出スル際殘置シタル部隊

Kalofar 附近

〔ドン〕哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊

右ノ外 〔バシツカ〕 峠ニハ砲兵第九旅團第二中隊在リ同中隊ハ七月二十八日頃

ノ軍命令ニ依リ先進兵團増加ノ爲 Trnovo ヨリ出發シ三十一日同峠ニ到着

セシモノナリ

八月一日朝迄ニ少將ラウフハ中將グルコヨリ何等ノ命令ヲモ受ケザリシ

カハ前夜ノ決心ニ基ツキ午前九時露營地出發 Kazanlik ニ向ヘリ諸隊ハ十分

休養セシヲ以テ元氣ヲ回復シ整頓シテ行進シ Kazanlik ノ南方約三吉米ニ

達シタルトキ布爾牙利歩兵第四大隊砲兵第九旅團第二中隊 〔布爾牙利歩兵第四

兵第二中隊ハ少將ラウフノ部隊ヲ收容スル爲前進ヲ命ト合シ Kazanlik ニ到リ同處ニ在

セラレタルモノノ如シ但シ砲兵中隊ハ後レテ到着セリ〕

リシ騎兵諸中隊及山砲二門ヲ併セ指揮シ其北側ニ露營セリ

午後八時少將ラウフハ一日午前八時三十分 Diboiki 發ノ先進兵團參謀長大

佐ナグロウスキーヨリ左ノ命令ニ接ス

先進兵團ノ主力ハ *Diboki* ヲ經テ *Jelhovo* ニ前進ス貴官ハ *Hankioj* ニ行進スヘシ先進兵團モ亦 *Jelhovo* ヨリ同地ニ到ラントス

當時少將ラウフハ土軍約二千 *Kalofar* 西方約九里 *Kazanlik* ヨリ東進シツツ在ルヲ知リ此方面ニ對シテ兵團ノ側背ヲ掩護スルノ必要ヲ認メ若シ命令ニ從ヒ *Hankioj* ニ向ヒ前進センカ南方土軍ニ對シテ危險ナル側面行進ヲ敢テセサル可カラサルノミナラス負傷者ノ搬送未タ畢ラサルニ先タチ疲勞セル諸卒ニ休息セシムルコト無ク直ニ *Kazanlik* *Hankioj* 間約九里ヲ行進セシメサル可カラサルノ不利アルヲ理由トシ依然 *Kazanlik* 附近ニ停止スルニ決シ直ニ中將グルコニ既ニ *Kazanlik* ニ向ヘリ然レトモ速ニ先進兵團ノ主力ニ合一センカ爲 *Sipka* 山内迄ニハ退却セスト報告セリ

八月二日先進兵團ノ主力ハ依然退却ヲ繼續シ後衛ハ漸ク山地ヲ越エ兵團ハ主力ヲ *Balabanli* 附近ニ集合スルコトヲ得タリ少將ラウフノ部隊ハ是日 *Sipka* 村南方迄退却セリ同日少將ラウフハ第八軍團長中將ラデツキー發

八月二日ノ情況

中將グルコ宛ノ筆記命令ヲ傳達ノ途中ニ於テ披見シ先進兵團ハ中將ラデツキーニ隸屬シ *Sipka* *Hankioj* ノ兩峠ヲ占領スヘキコトヲ知り翌三日獨斷ヲ以テ *Sipka* 峠ニ退却スルニ決セリ

二日夕中將グルコハ少將ラウフノ部隊 *Sipka* ニ退却スヘキコトヲ知り龍騎兵旅團ヲシテ *Sipka* トノ連絡ヲ確實ナラシムルト共ニ *Tundza* 河畔ノ地域ヲ警戒セント欲シ先進兵團ノ主力ト共ニ退却セシ同旅團ノ主力ヲ *Dj-Sofulare* ニ派遣シ同時ニ少將ラウフノ隸下ニ在ル龍騎兵第九聯隊ヲモ同地ニ到ラシメ且 *Sipka* 附近ノ砲兵一中隊ヲ *Hankioj* 方面ニ招致セントシ少將ラウフニ左記要旨ノ命令ヲ下シ

本命令ハ三日正午少將ラウフノ許ニ到着セリ

先進兵團ノ主力ハ明日 *Hankioj* ニ向ヒ退却ヲ續行スルニ決ス

一、龍騎兵第九聯隊ハ *Dj. Sofulare* *Kazanlik* *Hankioj* 間ノ *Tundza* 河畔ニ到ルベシ

龍騎兵旅團ノ主力ハ *Tundza* 河畔地域ノ警戒竝ニ *Kazanlik* ノ掩護ノ爲

二 *Dj. Sofulare* ニ派遣セララル豫定ナリ

二龍騎兵第八聯隊、驃騎兵第八聯隊、騎砲兵第十六中隊ノ輜重ハ龍騎兵第九聯隊ト共ニ Di. Sofulare ニ到ラシムヘシ
 三、明三日 Saurazagora, Kalofar ヨリ土軍前進シ來ラサルトキハ同日夕六時ヲ期シ布爾牙利步兵一大隊ノ掩護ノ下ニ九斤砲中隊ヲ Hankioj ニ到ラシムヘシ

八月三日ノ情況

三日先進兵團主力ノ内歩砲兵並ニ驃騎兵第九聯隊及哥薩克騎兵ノ大部ハ Hankioj ニ到著セリ 中將クルコハ是時迄軍司令官若シクハ南部兵團司令官中將ラデツキーヨリ何等ノ命令ヲ受領セサルモノノ如シ
 同日少將ラウフハ其指揮スル諸隊ノ内布爾牙利步兵第四大隊及騎兵中隊若干、山砲四門ヲ シレフカ 村附近ニ留メテ陣地ヲ占領セシメ其他ハ羊腸タル山徑ヲ登リ シレフカ 峠ニ到リ同地ヲ占領シ在リシ步兵第三十六聯隊ノ八中隊砲兵第九旅團第五中隊及鹵獲砲兵中隊(七門)ト合シ少將ラウフハ古參者トシテ此等諸隊ノ指揮ヲ執ル正午少將ラウフハ前記中將グルコノ命令ヲ受領セシカ當時騎兵ノ輜重ハ既ニ カブロボ Chabrovo ニ移サレ又砲兵中隊ヲ單ニ步兵

八月四日先進兵團ノ位置

一大隊ノ掩護ヲ以テ シレフカ Sipka 高地ヨリ ハインキョイ Hankioj ニ派遣スルハ危險ナルノミナラス シレフカ Sipka 峠防禦ノ爲ニハ現在ノ砲數ヲ以テスルモ尙不足ナリト判斷シ龍騎兵第九聯隊ノミヲ カニニツフ Di. Sofulare ニ差遣セリ 同聯隊ハ五日 シレフカ Sipka 出發途中 カザン Kazanニ合セリ(時日不明ナルモ龍騎兵旅團ハ之ヨリ先既ニ同地ニ到著シ在リ)
 以上ノ如クシテ四日先進兵團ノ位置概ネ左ノ如シ

先進兵團主力

- 步兵第九師團第一旅團
- 狙撃步兵第四旅團
- 哥薩克步兵二中隊
- 驃騎兵第九聯隊
- 〔ドン〕哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ三中隊
- 同 第二十三聯隊ノ半中隊
- 同 第二十六聯隊ノ五中隊

步兵九大隊半、騎兵十二中隊半
 砲三十四門 Hankioj 附近

「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ四門
同 第十五中隊

砲兵第九旅團第四第六中隊
山砲 八門

少將ラウフノ部隊 八月五日布爾牙利步兵隊司令官少將ストリエトフの部隊ニ到著シ少將ラウフニ代リ同地附近ノ諸隊ヲ指揮セリ

布爾牙利步兵第一乃至第五大隊
步兵第三十六聯隊ノ八中隊
砲兵第九旅團第二第五中隊

步兵約七大隊砲二十七門
山砲 四門
嶂附近
Zipka

鹵獲砲 七門

先進兵團ノKazantchik 出發ニ際シ同地ニ留置シタル山砲二門ヲ合算スルトキハ二十九門ト爲ルヘキ管ナルモ露國參謀本部戰史ニ據レハ當時山砲ハ四門ノミニシテ殘餘二門ノ所在ハ不明ナリ
「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ二中隊
同 第二十六聯隊ノ一中隊
騎兵五中隊 Zipka 山麓ニ在リ
テ警戒ニ任ス

烏拉爾哥薩克騎兵中隊

龍騎兵旅團

騎兵八中隊半
砲 六門
Dl. Soliare 附近

其二 南部兵團ノ情況

一般ノ情況

七月三十一日ニ於ケル南方面諸隊ノ位置左ノ如シ

第八軍團 長 中 將 諸隊

一、大佐リピンスキー 步兵第三十聯隊長 ノ指揮スル部隊

步兵第三十五聯隊 步兵六大隊

同 第五十三聯隊 騎兵若干

砲兵第九旅團第一第二中隊 砲 十六門

右ノ部隊ハ Sevlijevo (Seljvi) 附近ニ位置シ Lovca ニ對シ Trnovo 及 Gab

七月三十一日南方面諸隊ノ位置

ロボ ヲ 掩護ス

一、ガブロボ支隊 長歩兵第九師團第二旅團
長少將デロチンスキ

歩兵第三十六聯隊

「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊ノ四中隊

同 騎砲兵第十中隊ノ二門

砲兵第九旅團第五中隊

鹵獲砲兵中隊

「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊ノ内若干ハ他ニ分遣セラレシモノ
ノ如シ然レトモ確實ナル記録無キヲ以テ支隊ノ内ニ加算セリ

右支隊ハ ガブロボ Cadrovo ニ位置ス但シ内歩兵八中隊、砲兵第九旅團第五中

隊、鹵獲砲中隊(七門)ハ先進兵團ノ後援トシテ シプカ Sipek 峠ニ在リ

又砲兵第九旅團第二中隊ハ既記ノ如ク先進兵團ニ増加スル爲 シプカ Sipek

ノボ Novoye ヨリ南進シ三十一日 シプカ Sipek 峠附近ニ到着セリ

三、第八軍團ノ主力

軍團司令部

歩兵第十四師團 (歩兵第五十
三聯隊欠)

騎兵二中隊半

右部隊ハ ツルノボ Turovo ニ位置ス

四、第八軍團爾餘ノ諸隊左ノ如シ

少將ボレエシアノ部隊 歩兵第九師團第一旅團第三十三第三
十四聯隊砲兵第九旅團第四第六中隊

先進兵團ニ屬シ ディホキ Dikhoki 附近ニ在リ

中佐バクラノフノ部隊 「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊同第三十聯隊ノ各二中隊
「ドン」哥薩克騎兵半中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第六中隊ノ二門

西部兵團所屬少將スコベレフニ屬シ プレヴァ Plevna 東南方ニ在リ

先進兵團 司令官中
將グルコ

スタラザゴラ Starazgora 附近ヨリ退却中ニシテ少將ラウフノ部隊(歩兵四大隊、騎兵

四中隊、砲四門)ハ カザンリク Kazanlik 方向ニ(同地附近ニハ歩兵一大隊、騎兵五中隊

砲二門アリ)兵團ノ主力歩兵九大隊半、騎兵十五中隊、砲三十二門)ハ ハイナ Haina

第十三章 八月一日ヨリ同十三日ニ至ル作戦

方向ニ(同地附近ニハ步兵一大隊騎兵一中隊半山砲八門アリ)行進
中ナリ

Trnovo^{ツルノボ}ノ東方及東南方ニハ「オスマンバザール」部隊^{長少將ヲ}アリ其兵力配
置左ノ如シ

步兵第十一師團

騎兵第十三師團(騎兵六中隊
騎砲四門欠)

Dzuljunci, Cajir^{ドズルジュンチ、カジール}附近ニ在リテ「ルスチユック」兵團ト連繫シ四角要塞殊
ニOsmanbazar^{オスマンバザール}方向ニ對シTrnovo^{ツルノボ}ヲ掩護ス

布爾牙利步兵第六大隊

騎兵五中隊

騎砲二門

Elena^{エレナ}附近ニ在リテ「Shiven」^{シヴェン}方向ニ對シTrnovo^{ツルノボ}ヲ掩護ス

七月三十
第八軍團長中將ラデツキーハ西部兵團Plevna^{プレヴナ}第二會戰失敗ノ後七月三十

一日ノ軍
命令

一日左記要旨ノ軍命令ヲ受領セリ

一、步兵第五十四聯隊及砲兵第十四旅團第四中隊ヲDeviljevo^{セヴリェヴォ}ニ到ラシメ
同地ニ在ル步兵第三十五同第五十三聯隊、砲兵第九旅團第一第三中隊
等ト共ニ步兵第九師團長中將スワヤトポール、ミルスキー<sup>中將ハ是迄ガ
プロボ支隊ノ</sup>
許ニ在リテ之ヲ指揮セシムヘシ但シ此等ニ關スル詳細ノ部署ハ貴官
ノ任スル所トス

中佐バクラノフノ部隊ヲ步兵第九師團長ノ指揮ニ屬セシム
步兵第九師團長ノ指揮ニ屬スル部隊ハ戰況ノ發展ニ伴ナヒ南方ヨリ
Plevna^{プレヴナ}攻撃ニ參與セシムル筈

一、步兵第十一師團、騎兵第十三師團及步兵第十四師團第二旅團ハ現在ノ
位置ニ在ルヘシ但シ此等諸隊竝ニ中將スワヤトポール、ミルスキーノ
部隊ハ別命アル迄貴官ニ隸屬セシム

一、ルスチユック兵團ニハ從來ノ位置ニ在リテ左ノ事項ニ注意スヘキコ

トヲ訓令セリ故ニ貴官ハ情況ニ應シ必要ノ部署ヲ爲スヘシ

敵兵 Sumla ヨリ攻勢ニ轉シ來ル場合ニハ其主力ハ Osmanbazar ヲ經テ
 Trnovo ニ向フカ或ハ Eski-Dzumaja 竝ニ Razgrad ヨリ Lom Cerkovna 及
 Bela ニ向フカ或ハ又 Razgrad ヨリ第十二軍團ニ向ヒ前進スルナラン
 第一ノ場合ニ在リテハ第十三軍團ノ一部ヲ以テ Eski-Dzumaja 或ハ
 Razgrad ヨリ Lom Cerkovna ニ向フ敵縱隊ノ前進ヲ拒止シ主力ヲ以テ
 Trnovo ノ守備ニ充テラレタル部隊ヲ援助スヘシ是時主力ハ第八軍
 團長ノ隷下ニ屬スルモノトス

第二ノ場合ニ在リテハ第十三軍團ハ敵ノ前進ヲ拒止スヘシ此際其
 援助トシテ第八軍團ノ部隊ヲ Trnovo ヨリ Dragunovo 及 Trembe ヲ經テ
 前進セシメンルスチ ャック兵團ヨリモ亦援助ノ爲第十二軍團ノ諸
 隊ヲ派遣セラルルヲ要ス

第三ノ場合ニ在リテハルスチ ャック兵團ハ全力ヲ擧ケテ前進スル

敵ヲ拒止スヘシ其援助トシテ第八軍團ノ部隊ヲ Trnovo ヨリ送遣セ
 シム

第二第三ノ場合ニ在リテハルスチ ャック兵團司令官ハ其方面ニ在
 ル諸隊ヲ總ヘテ指揮スヘシ

四、中將グルコノ先進兵團巴爾幹山ニ向ヒ退却スルノ已ムヲ得サルニ至
 ラハ該兵團ヲ貴官ノ隷下ニ入ラシム此旨ハ中將グルコニモ命令セリ

此軍命令カ適時中將グルコノ許ニ達セシヤ否ヤ不明ナ
 リ恐ラク八月四日以前ニハ受領セサルモノト察セララル

尙中將スワヤトポール、ミルスキーヲシテ Seljevi 附近ノ諸隊ヲ指揮セ
 シムルニ至リシヲ以テ Gabrovo 附近ニ在ル歩兵第三十六聯隊ヲ中將
 グルコノ指揮ニ屬セシム 中將グルコハ主力ヲ以テ Hainki 附近ニ退却セシヲ以
 テ實際歩兵第三十六聯隊ヲ使用スルニ至ラザリキ

爾後中將ラデツキーハ左ノ諸隊ヲ指揮スルニ至レリ 以下之ヲ南部兵團ト
 稱ス(附録第八參照)

第八軍團

歩兵第十一師團

第十三章 八月一日ヨリ同十三日ニ至ル作戦

南部兵團ノ
編成

騎兵第十三師團(一中隊欠)

「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊

同 第三十聯隊

先進兵團

合計歩兵四十六大隊半、騎兵五十四中隊、砲百九十五門内騎砲三十門

八月一日中將ラデツキーハ左ノ軍命令ヲ受領ス

八月一日ノ軍命令

一、第八軍團ハ巴爾幹山ノ諸道路ヲ守備スヘシ又輜重ノ大部ヲIrnovoニ移シ尙不用ナル輜重ハKurseto (Borus) 附近ノ橋梁ヲ經テIvancaニ到ラシムヘシ

二、中將ミルスキーノ部隊ハSevljevo 附近ヲ占領シ堅固ニ防禦工事ヲ施スヘシ中將クリユデネルノ部隊西部兵團ハFigarene 附近ニ堡壘ヲ設クル筈該部隊ハ實ニ非常ナル損害ヲ受ケタリ該方面ノ敵ノ兵力ハ強大ナリ貴官ハ十分防禦工事ヲ施ササルヘカラス

八月一日中將ラデツキーノ情況判斷並ニ處置

中將ラデツキーハ此情況ニ於テ一面巴爾幹山ニ向ヒ退却中ナル先進兵團ヲ收容シ且之ニ追躡シ來ルヘキスライマンパシア軍ニ對セサルヘカラス又東方面ニ於テハOsmanbazar 方面ヨリ攻撃シ來ル敵ヲ拒止シ西方面ニ於テハ中將ミルスキーノ部隊ヲ以テLovca 附近ノ敵ト相對セシメサルヘカラス故ニ兵力ニ比シ正面過廣ナルヲ以テ成ルヘク速ニ其中心點タルIrnovo 附近ニ多クノ豫備隊ヲ集結シ敵ノ攻撃ニ當リテハ第一線部隊ヲシテ南方ニ對シ巴爾幹山ノ諸峠ヲ扼シ東南方ニ對シMatarica 附近ノ陣地ヲ又東方ニ對シLaskovec 附近ノ陣地ヲ占領シ情況ニ應シ豫備隊ヲ進メテ敵ヲ拒止セント欲シ一日左ノ處置ヲ爲ス但シ當時中將ラデツキーハ先進兵團退却ノ情況ニ關シテハ未タ知ル所無シ

一、先進兵團ヲシテSipka, Hainkiój 兩峠ニ退却シ其附近ノ最高點ヲ固守セシメ其輜重ヲIrnovoニ到ラシム

二、歩兵第十四師團第二旅團ヲシテSerenetjaノ前方ニ於テ陣地ヲ占領セ

二「オスマンバザール」部隊長少將ラーデンヲシテ左ノ如ク處置セシム
 少將エルンロートノ部隊步兵第十一師團第二旅團、驃騎兵第十
三聯隊、砲兵第十一旅團、第二第五中隊ニ直ニ Oqirヨ
 リ Dzuljunciニ到ラシメ其驃騎兵第十三聯隊ハ同部隊ノ左方 Iom Co-
 rkovnaニ在ル第十三軍團ノ前衛ト連絡セシメ敵兵第十三軍團ニ向
 ヒ攻撃シ來ラハ速ニ之ヲ Tynovo 附近ノ部隊ニ報告シ同所ニ在ル部
 隊ヲシテ應援ニ必要ナル時間ノ猶豫ヲ得セシムルヲ要ス
 步兵第十一師團第一旅團ハ同第二旅團 Dzuljunciニ到着セハ同處附
 近ヨリ Leskovecニ退却シ Seremetja 前方ニ在ル步兵第十四師團第二
 旅團ト合セシム 其後第十一師團第一旅團ハ
中將ラデツキーニ直屬セリ
 「エレナ」支隊(布爾牙利步兵第六大隊、龍騎兵第十三聯隊、ドン)哥薩克騎
 兵第十三聯隊ノ一中隊、同騎砲兵第二中隊ノ二門計步兵一大隊、騎兵
 五中隊、砲二門ハ敵ノ大兵 Osmanbazar 方向ヨリ攻撃シ來ルコトヲ確

八月二日
中將ラデツ
キーノ部署

知セハ Belyovo 附近ヨリ Malanicaニ退キ「オスマンバザール」部隊ノ
 右翼ヲ掩護セシム

四、步兵第五十四聯隊步兵第十四師團
第一旅團所屬及砲兵第十四旅團第四中隊ヲ Devijavo

ニ在ル諸隊ニ増加シ此等諸隊ヲ中將ミルスキーノ指揮ニ屬セシム

二日中將ラデツキーハ先進兵團カ Starazagora 附近ヨリ Hankiojニ退却セ

シコトヲ知り同兵團ヲシテ同峙ヲ固守セシメ尙 Elena 方面ノ兵力薄弱ナ

ルヲ以テ之ヲ増加セント欲シ先進兵團司令官ニ命シテ龍騎兵旅團ヲシテ

Elenaニ又騎兵一聯隊ヲ Tynovoニ送遣セシム 中將グルコハ此意見ニハ同意セサリ
シカ故ニ其實施ヲ見ルニ至ラスシテ

三日中將ラデツキーハ二通ノ軍命令三日ニ接セリ

第一ノ命令ハ軍參謀長ノ發セシモノニシテ其要旨左ノ如シ
 要塞地區内ノ土軍將ニ攻勢ニ轉セントスルモノノ如シ現ニ一軍團ノ敵

兵 Osmanbazarニ前進セシトノ報アリ若シ土軍 Tynovoニ向ヒ攻撃シ來ラ

ハ貴官ハ「ルスチ ユック」兵團司令官及第十三軍團長ニ其旨ヲ通報スヘシ
 又敵兵「ルスチ ユック」兵團ニ向ヒ攻撃シ來ルトキハ直ニ其目的ニ使用シ
 得ヘキ諸隊ヲ以テ必要ノ援助ヲ爲スヘシ又凡テ敵ニ對抗セントスル地
 點ニハ或ル可ク布爾牙利人ヲ使用シテ堅固ナル工事ヲ施スヘシ又先進
 兵團ノ使用竝ニ敵兵猛烈ニ南方ヨリ巴爾幹山ニ向ヒ前進スル場合ニ於
 ケル處置ヲ豫メ報告スヘシ但シ諸峙ハ如何ナル場合ニ在リテモ固守ス
 ルヲ要ス

軍司令部ヨリ屢次諸隊ニ工事ヲ實施スヘシトノ命令ヲ發セラレ之ニ對シテ各隊ハ其占領セル
 陣地ニ工事ヲ施セシナランモ之ニ關スル記錄無シ但シ「Св. Никола」峙附近ノ工事ニ就テハ第三卷ニ於
 テ記述スル所アルヘシ

第二ノ命令 八月一日夕發 ノ要旨左ノ如シ 此命令遲著セシ理由不明ナリ

一、將官エルンロート及ミルスキーヲシテ其陣地ニ強固ナル防禦工事ヲ
 施サシムヘシ

二、中將グルコヲシテ Ганкидж, Сипка 峙竝ニ Св. Никола 山ニモ同シ
西側高地

ク工事ヲ施サシメ凡テ此等ノ地點ニ於テ頑強ニ敵ニ抗戰セシムヘシ

三、Елена 附近ノ部隊モ亦工事ヲ施スヘシ但シ地方人民ヲ使用スヘシ
 又四日中將ラデツキーハ「ルスチ ユック」兵團トノ連絡ニ關シ左記要旨ノ軍
 命令ヲ受領セリ

步兵第三十二師團 Плевна ニ向ヒ出發セシ後騎兵第八同第十三師團間ニ
 大ナル空隙ヲ生セリ故ニ中將ラデツキーハ其騎兵ヲ以テ此間隙ヲ補填
 シ連絡ヲ確實ナラシムヘシ
 要スレハ先進兵團ニ屬セル騎兵ノ一部ヲ此目的ノ爲ニ使用スルコトヲ
 得

依テ中將ラデツキーハ「ルスチ ユック」兵團ノ右翼ニ在ル第十三軍團トオス
 マンバザール部隊トノ連絡ノ爲「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊ノ二中隊ヲ派
 遣スヘキコトヲ少將ラーデンニ命令セリ

是日中將ラデツキーハ八月二日ノ處置ニ對シテ中將グルコノ意見具申ヲ

八月四日中
 將ラデツキ

中將グル
コノ意見具
申テ却ケ

受領セリ其要ニ曰ク「先進兵團ノ巴爾幹山南ニ於テ獲得セシ成果ヲ成ル可ク長ク保守シ且爾後ノ攻勢ヲ容易ナラシメンカ爲ニ Hainkioj 前方ニ留マラントス之カ爲ニ步兵一旅團砲兵二中隊ノ増援ヲ要ス」下然ルニ中將ラデツキーハ巴爾幹山北方地區ニ於テ四角要塞又ハ Plevna 方面ヨリ土軍カ攻勢ニ轉スル場合ヲ顧慮シ一意兵力ヲ Trnovo 附近ニ集結セント欲シ巴爾幹山方面ニ對シテハ爾後ノ進出ヲ顧慮スルヨリモ寧ろ成ル可ク少數ノ兵力ヲ以テ諸峠ヲ占領スルヲ勝レリト爲シ中將グルコノ意見ヲ却ケ左記要旨ノ命令ヲ與ヘタリ此命令ハ六日午前中將グルコノ許ニ到著セリ

貴官ハ狙撃歩兵旅團ノ外ニ步兵第九師團ノ一聯隊ヲ使用セハ能ク Hainkioj 峠ヲ守備スルニ足ルナラン故ニ同師團ノ他ノ一聯隊ハ速ニ Trnovo ニ到ラシムヘシ尙成ル可ク砲兵第九旅團ノ兩中隊ノ内一中隊ヲモ Trnovo ヲ派遣スヘシ

軍ハ露國內地ヨリ新ニ増加兵團ヲ得ントス其到著迄諸隊ハ占領シタル

陣地ヲ固守スルヲ要ス

先進兵團ノ主力ハ六日正午頃運動ヲ起シテ Hainkioj 峠ニ向ヒ退却シ八日歩兵七大隊騎兵二中隊砲二十六門ハ同時ニ残りテ守備ニ任シ其他ノ部隊ハ Trnovo ニ向ヘリ此等諸隊ハ十日頃 Trnovo ニ到著セリ

八月七日中
將ラデツキ
一少將スト
リエトフノ
意見具申テ
却ケ

七日 Sipka 峠ヲ守備セル少將ストリエトフヨリ同時ノ兩側高地ヲ占領スル爲歩兵一聯隊ノ増援ヲ乞ヒ來リシモ八月四日中將グルコノ意見具申テ却ケシト同一ノ理由ニ依リテ請求ニ應セス

同七日オスマンバザール部隊長少將ラーデンヨリ左ノ件ヲ問合セ來レリ騎兵ノミヲ以テスル搜索ハ不十分ナリト雖モ歩兵ヲ出サンカ敵ト眞面目ノ戦闘ヲ惹起スルノ恐アリ其何レノ方法ヲ取ルヘキカ決心スルヲ得ス「オスマンバザール」部隊ノ任務竝ニ搜索實行ノ方法ヲ精密ニ規定セラレンコトヲ乞フ

中將ラデツキーハ即日左ノ要旨ノ回答ヲ附與セリ

一「オスマンバザール」部隊ノ主ナル任務ハ *Osmanbazar, Irnovo* ニ通スル諸道ヲ掩護シ且第十三軍團ト「エレナ」支隊トノ連絡ヲ維持スルニ在リ同支隊ハ *Novazagora, Siven* ヨリ強大ナル敵兵攻撃シ來ラハ諸通路ヲ扼シテ極力之ヲ拒止スル筈ナリ故ニ貴官ニ隸屬スル部隊ハ敵兵 *Irnovo* ニ通スル道路ニ沿フテ前進セハ成ルヘク敵ノ前進ヲ遲滯セシメ然ル後 *Serenetja* ニ退却シ同地ニ在ル歩兵第十四師團ノ第二旅團ニ合シ敵ト決戦スヘシ然レトモ「エレナ」支隊ニ向ヒ強大ナル敵兵攻撃ストノ報ヲ得ハ貴官ハ爲シ得ル限り同支隊ヲ援助スヘシ *Serenetja* 附近ノ豫備隊モ亦敵兵 *Trevena* 峠或ハ *Plevna* ヨリ來襲セハ *Serenetja* ヨリ各其方面ニ派遣セラルルニ至ラン此場合ニハ其部隊ハ *Sumla-Irnovo* 道上ニ於ケル唯一ノ掩護部隊タルヘシ

Osmanbazar 方向ニ遠ク斥候ヲ派遣スルノ必要無クンハ敢テ遠距離斥候ヲ用ユルヲ要セス然レトモ敵情搜索ハ何等カノ方法ヲ以テ繼續シ

八月一日ノ
中將ラデツ
キーノ決心
變更

敵兵我軍ノ不意ニ出テテ來襲スルカ如キコト無カラシムルヲ要ス

中將ラデツキーハ其後 *Serenetja, Zlatarica* 附近ニ於テ東方又ハ東南方ヨリ來ル敵ノ攻撃ヲ拒止セントセシ最初ノ決心ヲ變更シ 中將ラデツキーハ軍司令官ヨリ過早ニ *Serenetja* 附近ノ陣地ニ退却ス可カラストノ意圖ヲ受ケシモノノ如シ 其守備線ヲ前方 *Dzuljanci, Elena* ニ進ムルニ決シ之カ爲 *Elena* ノ守備兵ヲ増加スルノ必要ヲ認め又 *Trevena* 峠ノ守備ニ布爾牙利歩兵第六大隊ヲ充テントシ十日少將ラーデン及少將ボレエシアニ左ノ要旨ノ命令ヲ下セリ

一少將ボレエシアハ歩兵第三十四聯隊及砲兵一中隊ト共ニ *Elena* 附近ニ到リ同地ニ在ル諸隊ノ指揮ニ任スヘシ但シ *Zlatarica* ニ在ル龍騎兵第十三聯隊ノ一中隊「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊ノ一中隊ヲモ貴官ノ指揮ニ入ラシム

強大ナル敵兵攻撃シ來ラハ *Irnovo* ニ退却スルコト無ク其地ヲ固守シ *Irnovo* ヨリ増加兵ノ來著ヲ待ツヘシ又敵兵 *Osmanbazar* ヨリ *Irnovo* ニ

攻撃シ來ラハ其側面ニ出テ少將ラーデンノ部隊ヲ援助スヘシ

一、布爾牙利歩兵第六大隊ハ前記諸隊 Elenaニ到着セハ之ト交代シ Trevenaニ赴キ同處ノ通路ヲ守備セシムヘシ

二、目下敵ハ Osmanbazar 方面ノミナラス巴爾幹山ヨリモ攻撃シ來ルヘキカ故ニオスマンバザール部隊ハ Seremetjaニ退却スルコト無ク Dzuljanci附近ノ陣地ニ止リ増加隊ノ來著ヲ待ツヘシ

次テ十一日中將ラデツキーハ Hankioj 守備隊ヲ歩兵第三十三聯隊長ノ指揮スル同聯隊砲兵第九旅團第六中隊、山砲兵第一中隊、砲八門騎兵二中隊計歩兵三大隊、騎兵二中隊、砲十六門トシ其他ヲ Trnovoニ招致ス

此頃不明時 中將ラデツキーハ「ガブロボ」支隊長少將デロチンスキー步兵第九師團第二旅團長ヲシテ Sipka 峠附近ニ在ル少將ストリエトフノ部隊ヲ併セ指揮セシム

八月四日先進兵團ノ主力ハ既記ノ如ク Hankioj 附近ニ到着セリ此頃中將

八月四日迄
ニ中將グル

コノ得タル
命令

グルコハ中將ラデツキーヨリ左ノ要旨ノ命令ヲ受領セリ 此命令受領ノ時日等不明ナリ又中將グルコハ七月三十一日附軍命令ヲ受領セシ管ナルモ之ニ關シテハ全ク記録無シ軍司令部及第八軍團司令部ニ於テハ先進兵團カ Sipkaニ向ヒ退却スルナラントノ想像ヨリシテ命令傳達ハ最初悉クの誤ヲ經由セシヲ以テ著シク遲著セシハ事實ナリ

八月一日附ノ命令ニ曰ク

一、中將グルコハ Sipka, Hankioj 兩峠ノ最高點ヲ固守スヘシ

二、先進兵團ノ輜重ハ Trnovoニ移ラシムヘシ

八月二日附ノ命令ニ曰ク

一、中將クリユデネルハ三十日三萬ノ兵ヲ以テ Plevenaヲ攻撃セシモ大ニ損害ヲ受ケテ撃退セラレ軍司令官殿下ハ中將クリユデネルノ部隊ノ許ニ赴キ南方面ニ在ル諸隊ヲ凡テ中將ラデツキーニ隸屬セシメ尙中將グルコノ部隊モ亦中將ラデツキーノ隸下ニ入ラシメラル

二、中將グルコハ Hankioj 峠ヲ固守スヘシ

三、中將グルコハ其任務ヲ達スル爲騎兵ヲ使用スルノ必要アラサルヘキ

ニ依リ龍騎兵旅團ヲ *Klena* ニ騎兵一聯隊ヲ *Tynovo* ニ送遣スヘシ
是ニ於テ中將グルコハ四日中將ラデツキーニ報告シテ曰ク

一、*Hankioj* 峠ハ隘路ノ南口ヲ距ル約五里ニシテ *Hankioj*, *Sipka* 附近ノ南
斜面ハ共ニ甚タ急峻ナリ隨テ *Hankioj* 村附近ノ山路ノ出口ヲ放棄セン
カ他日スライマンパシア軍ノ前面ニ於テ危険ヲ冒シテ巴爾幹山ヲ越
エサルヘカラス故ニ小官ハ依然現在地ニ止リ新ナル命令ヲ待タント
ス

一、スライマンパシア若シ約三十大隊ノ兵力ヲ以テ我ヲ攻撃センカ我ハ
現在ノ兵力ヲ以テ *Hankioj* 附近ノ廣キ陣地ヲ固守スルコト能ハス即
チ之カ爲步兵一旅團九斤砲二中隊ノ増援ヲ必要トス又龍騎兵旅團ハ
目下勞苦甚タシク其實力僅カニ一個聯隊ト同一ノ價値アルノミ小官
若シ *Hankioj* ノ最高點ヲ占領スルニ至ラハ此龍騎兵旅團ヲ使用ス
ルコト能ハサルニ至ルヘシ尙同旅團ハ目下各處ニ散在シアルカ故ニ

中將グルコ
Hankioj 峠
ノ出口ヲ守
備セントシ
増援ヲ請求
ス

八月五日ニ
於ケル敵情

八月六日再
ヒ増援ヲ請
求ス

Klena 附近ニ送遣スルモ八日又ハ九日ニアラスンハ同地ニ到著セシ
ムルコト能ハサルヘシ

是ヨリ先先進兵團ハ八月一日以來其騎兵ノ主力ヲモ *Shennigora* 山ノ北ニ退
却セシメシヲ以テ敵トノ接觸ヲ失ヒ何等敵情ヲ知ルコトヲ得サリシカ五
日朝ニ至リ始メテ中將グルコハ左ノ敵情ヲ得タリ

四日午後十時 *Novazagora* (*Jenizagora*) ニ敵ノ二縱隊進入セリ其一ハ *Staruzagora*
方向他ハ鐵道ニ沿フテ同市ノ東側ヨリ前進セリ各縱隊ノ兵力ハ約五千
人ニシテ約五百騎ノ騎兵アリ砲兵モ縱隊中ニ在リシカ其砲數ヲ知ルヲ
得ス

因テ中將グルコハ「ドン」哥薩克騎兵旅團長大佐セルノッポフヲシテ *Novazagora*
Sora ヨリ北方ニ通スル山路特ニ *Canakci*, *Atari*, *Orzari* 附近ノ各道路ニ一中隊
ヲ出シテ守備セシメ同時ニ *Hankioj* ノ南出口ヲ固守スルノ必要ヲ認め六日
更ニ左ノ要旨ノ意見ヲ中將ラデツキーニ呈セリ

意見具申ノ
不採川

一、小官ニ隸屬セル諸隊ヲ以テ堅固ニシテ且大ニ開豁セル Hankioj 附近
ノ陣地ヲ占領セハ步兵二十五大隊ノ敵ヲ擊退スルヲ得ン
I Starazagora, Dzuranti 附近ノ戰鬪後 Trnovo, Trk-Sejmen 鐵道交叉點附近ノ
陣地ニ退却シタルスライマンパシアノ全軍ハ新ニ Novazagora 附近ニ
集合シ Hankioj ヲ攻撃スルニ至ラン
II Hankioj ノ隘路口即チ Tundza 河ノ流域ヲスライマンパシアノ有ニ歸
セシムルハ軍ノ爲ニ甚タ不利トスル所ナリ故ニ步兵一聯隊ト砲兵一
中隊トノ増援ヲ請フコト切ナリ
然ルニ此報告ノ發送後去ル四日發中將グルコノ報告 步兵一旅團及砲兵二中隊ノ請求ニ對シ
中將ラデツキーヨリ Hankioj 峠ハ狙擊歩兵旅團ノ外歩兵第九師團ノ一聯
隊ヲ以テ之ヲ守備セシメハ足ラン其他ノ歩兵一聯隊及成シ得レハ砲兵一
中隊モ速ニ Trnovo ニ到ラシムヘシトノ命令ニ接セシカハ到底自己ノ意見
ノ容レラレサルコトヲ思ヒ直ニ諸隊ヲ集合シ正午頃 Hankioj 峠ニ向ヒ出

先進兵團主
力ノツルヲ
歸還

發セリ但シ其騎兵ハ午後六時迄現在地ニ在リテ退却ヲ掩護ス
翌七日中將グルコハ歩兵ノ主力ヲ以テ Hankioj 峠ヲ占領シ其他ヲ以テ
Trnovo ニ退却セント欲シ左ノ命令ヲ下セリ
一、龍騎兵旅團、驃騎兵第九聯隊、ドン哥薩克騎砲兵第十中隊ノ四門、ドン哥
薩克騎兵旅團ハ明八日龍騎兵旅團長大佐オイゲン、マキシミアノウ
イツチ、フオン、ロイヒテンベルヒ親王殿下ノ指揮ニ依リ Trnovo ニ到ル
ヘシ
二、狙擊歩兵第四旅團、哥薩克歩兵二中隊歩兵第三十三聯隊砲兵第九旅團
ノ第四第六中隊、山砲兵第一中隊、砲八門ハ狙擊歩兵第四旅團長少將ツ
ウエチンスキーノ指揮ニ屬シ Hankioj 峠附近ノ高地ヲ占領シ土軍ノ
攻撃ヲ防止スヘシ此目的ノ爲ニ山間諸道路ニハ防禦工事ヲ施シ強固
ナラシムルヲ要ス
三、工兵第五大隊ノ一中隊ハ工事實施ノ爲同時附近ニ在リ同隊ニハ峠附

近ノ防禦陣地ノ要圖ヲ作爲シ之ニ設置セラルヘキ工事ヲ記入セシメ
タリ但シ要圖ノ寫ハ本官ノ許ニ送付スヘシ

四、混成騎兵旅團長ハ Hankioj 峠附近守備部隊ノ搜索及警戒ノ爲同處ニ

約三中隊ヲ殘置スヘシ

五、步兵第三十四聯隊ハ明日 Trnovo ニ向ヒ出發スヘシ同隊ハ後 Drenovo

ヲ經テ Trivna (Trjavna) ニ到リ同地山路ノ防禦ノ爲派遣セラルヘシ

六、予ハ明日兵團司令部ト共ニ Trnovo ニ到ル諸報告ハ同處ニ送ルヲ要ス

七、Hankioj 峠ノ守備部隊ノ參謀勤務ニ服セシムル爲參謀大佐サカロフ

ヲ派遣ス

先進兵團ノ
解散

右ノ命令ニ依リテ十日頃少將ツウエチンスキーノ指揮スル狙撃步兵第四
旅團、哥薩克步兵二中隊、步兵第三十三聯隊、ドン、哥薩克騎兵第二十一、第二十
六聯隊ノ各一中隊、砲兵第九旅團第四第六中隊、山砲兵第一中隊(八門)計步兵
七大隊半、騎兵二中隊、砲二十四門命令ニハ騎兵三中隊ヲ殘ス様指示セラハ Hankioj 峠
レタルモ實際ニ中隊殘留セラレタリ

八月十一日
以降 Hankioj
ノ守備

ヲ守備シ步兵第三十四聯隊、龍騎兵旅團、驃騎兵第九聯隊、ドン、哥薩克騎兵旅
團(主力)ドン、哥薩克騎砲兵第十中隊ノ四門ハ Trnovo ニ赴キ其内騎兵十九中
隊、騎砲兵諸隊ハ七月下旬ノ行動ニ依リテ大ニ疲勞セルヲ以テ騎兵第九師
團第二旅團長少將ラトエフノ指揮ニ屬シ休養ノ目的ヲ以テ Zmajev 赴キ
步兵第三十四聯隊ハ十一日 Elena 方面ニ派遣セラレ茲ニ先進兵團ハ全ク
解散ス

十一日 Hankioj ノ守備ニ任シタル部隊ハ中將ラデツキーノ命令ニ依リ歩
兵第三十三聯隊長大佐グロマンノ指揮スル同聯隊及砲兵第九旅團第四中
隊、山砲兵第一中隊、砲八門、騎兵二中隊ニ減シ狙撃步兵第四旅團、砲兵第九旅
團第六中隊ハ Trnovo ニ來著ス

附記 スライマンパシアハ七月三十一日 Starazagora 占領後先 Novazagora
ヲ略取シ然ル後ニ Siska ニ向ヒ作戰ヲ繼續セント欲シ八月一日二日
ノ兩日留リ三日東方ニ向ヒ出發シ同日 Dibolki ニ四日 Novazagora ニ著

八月一日頃
スライマン軍
ノ状況

シ十日迄同地ニ駐留セリ此間 Karabunar ヨリハシキールバシアノ指揮スル新編成ノ十大隊來著シ君府ヨリハ砲兵二中隊鐵道ニ由リテ到著シ尙糧食及小銃彈藥ヲ得且 Siven ヨリ輜重編成用材料モ亦到著シスライマンバシアハ爾後給養ノ爲 Philippopolニ兵站集積所ヲ設ケ斯クテ銃一挺ニ付三百發、砲一門ニ付二百發ノ彈藥ヲ準備シ重燒麵麩二十四日分及數多ノ屠獸ヲ蒐集シ其兵力歩兵六十六大隊、正規騎兵二十三中隊(不正規騎兵ヲ含ム)砲兵十中隊半(六十三門)計四萬二千人ヲ算スルニ至レリ但シ其内歩兵八大隊、砲兵一中隊半(九門)ハフツセンバシアノ指揮ニ屬シ内歩兵四大隊、砲九門ハ Kotaiニ歩兵四大隊ハ Siven 及其北方山地ニ派遣セラレタリ

フツセンバシア部隊ノ任務ハ Siven 及其北方ニ横ハル巴爾幹山路ヲ守備シ又軍ノ主力 Sipka 峠方向ニ前進スルニ際シ側背掩護トシテ Tvardicaニ留置セラルヘキ部隊ト連絡シ且布爾牙利ノ暴徒ヲ剿討スル

守備 峠ノ

ニ在リ而シテ Novazgoraニハ歩兵二大隊留メラレタリ故ニスライマンバシアノ直接指揮セシ兵力ハ歩兵五十六大隊騎兵二十三中隊、砲兵九中隊(五十四門)ニシテ内三中隊(十六門)ハ山砲トスニシテ既記ノ如ク君府及メヘメツトアリーバシアト交渉後遂ニ獨立シテ攻勢ニ轉シ一部ヲ以テ Tvardica, Hankiojヲ占領シ此方面ヲ警戒セシメ主力ヲ以テ Sipka 峠ヲ占領セントシ十一月一日 Tvardicaニ向ヒ運動ヲ起セリ

少將ラウフノ指揮スル部隊ハ八月三日 Sipka 峠ニ到著シ五日龍騎兵第九聯隊ヲ DI. Sofiareニ派遣シ同日布爾牙利歩兵隊司令官少將ストリエトフハ先進兵團ノ主力ヲ離レテ Sipkaニ到著シ同地附近ノ諸隊ヲ指揮ス

少將ストリエトフハ Skarzgora 附近ノ戰鬪後布爾牙利歩兵隊ト相失シ其兵力左ノ如シ
 中將グルコノ許ニ在リ又少將ラウフハ五日中午將グルコノ許ニ赴ケリ
 布爾牙利歩兵五大隊歩兵第三十六聯隊ノ八中隊「ドン」哥薩克騎兵三中隊、烏拉爾哥薩克騎兵中隊、砲兵第九旅團第二第五中隊、山砲兵第二中隊ノ四門、鹵獲砲七門合計歩兵七大隊、騎兵四中隊、砲二十七門

尙其後方 ガブロボ 附近ニハ少將デロチンスキーノ指揮セル步兵第三十
 六聯隊八中隊欠及騎兵若干「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門アリ
 少將ストリエトフハ地形偵察ノ結果 スチニコラ 山ノ外此附近ヲ瞰制スル
 諸高地即チ タルヤ 山及 リソボ 山ヲ併セ占領セント欲シ七日步兵一聯隊ノ
 増援ヲ中將ラデツキーニ請求セリ然レトモ中將ラデツキーハ成ル可ク多
 クノ兵力ヲ リソボ ニ集結セント企圖セシヲ以テ其請求ヲ拒絕セリ其後
不明ナルモ八月 中將ラデツキーノ命令ニ依リ ガブロボ ニ在リシ步兵第九師
 團第二旅團長少將デロチンスキーハ シプカ 峠ニ在ル少將ストリエトフノ
 部隊ヲ併セ指揮シ シプカ 西方地區ヨリ クリツ 山間ヲ警戒シ爾後此部隊ヲ
 「シプカ」支隊ト稱ス

「セルエビ」支隊ノ情況

プレツナ 第二會戰後七月三十一日軍命令ニ依リ步兵第十四師團ノ第五十四
 聯隊及同師團砲兵第四中隊ハ セヴリェボ ニ到リ同地附近ノ部隊ト共ニ步兵第

「セルエビ」
支隊ノ編組
及任務

九師團長中將スワヤトポール、ミルスキーノ指揮ニ屬シ爾後此諸隊ヲ「セル
エビ」支隊ト稱ス 同中
 將ハ南部兵團司令官中將ラデツキーニ隸屬ス而シテ支隊ノ任務ハ軍カ東
 方ヨリ プレツナ ヲ攻撃スル際之ニ策應シ南方ヨリ攻勢ニ轉スルニ在リ支隊
 ノ編組左ノ如シ

步兵第三十五聯隊

步兵第十四師團第一旅團步兵第五十三聯隊
同 第五十四聯隊

「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊ノ二中隊「ガブロボ」支隊ニ屬スルモノナリト雖
モ事實上當支隊長ノ指揮ヲ受ケシトモ
如シ

砲兵第九旅團第一第三中隊

同 第十四旅團第四中隊

中佐バクラノフノ部隊「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊同第三十聯隊
第六中隊ノ二門近衛哥薩克騎兵半中隊ハ爾後
他ニ轉シタルモノノ如ク所在不明ト爲レリ

合計步兵九大隊、騎兵六中隊半、砲二十六門

少將スコベレフ部隊一
時中將ミル
スキーニ屬ス

八月二日中將ミルスキーハ中將ラデツキーヨリ *Sevriyev* 附近ニ堅固ナル陣地ヲ構築スヘキ命令ヲ受領シ又翌三日軍司令官ヨリ 軍司令官ハ是時 *セレンナ* ノ攻撃ヲ本國ヨリ増加期スルニ決セリ 少將スコベレフハ中將ミルスキーニ隸屬シ西部兵團ノ一部隊及セルエビ支隊ノ内中佐バクラノフノ部隊及歩兵第三十五聯隊砲兵第九旅團第三中隊ヲ指揮シセルエビ支隊ト西部兵團トノ連絡竝ニ *LOVGA* ノ偵察ヲ爲スヘキ命令ヲ受ケ次テ未タ *LOVGA* ノ偵察ヲ實施セサルニ當リ六日少將スコベレフハ其指揮スル部隊ト共ニ西部兵團ニ轉屬セシメラレ七日 *LOVGA* ヲ偵察シ後偵察隊ハ解散セラレ從來セルエビ支隊ニ屬セシ部隊ハ概ネ同支隊ニ復歸シ 少將スコベレフノ威力偵察ニ關スル記事ハ本卷第二七六頁以下參照 支隊ハ爾後 *LOVGA* 方向ヨリスル敵ノ攻勢ヲ拒止スルト共ニ西部兵團トノ連絡ニ任シタリ

「エレナ」支隊ノ情況

七月下旬「エレナ」支隊ノ概況

「エレナ」支隊長大佐レルマントフ 龍騎兵第十三聯隊長 布爾牙利歩兵第六大隊龍騎兵第十三聯隊「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊ノ一中隊同騎砲兵第二十中隊ノ二門

少將ボレエシア「エレナ」支隊ヲ指揮ス

合計歩兵一大隊騎兵五中隊砲二門ハ七月二十七日以來オスマンバザール部隊長少將ラーデンニ隸屬シ *Klena* *Bebrovo* 附近ニ位置シ「オスマンバザール」部隊ノ右翼ヲ掩護シ且東南方ニ對シ *Trinovo* ヲ掩護セリ

八月十日少將ボレエシア 歩兵第九師團第一旅團長 ハ南部兵團司令官中將ラデツキーノ命令ニ依リ歩兵第三十四聯隊及砲兵第十四旅團第五中隊ヲ率キテ十二日 *Klena* ニ到リ「エレナ」支隊ヲ併セ指揮シ爾後該支隊ハ少將ラーデンノ隸下ヲ脱シ中將ラデツキーニ直屬シ從來「エレナ」支隊ニ屬セシ布爾牙利歩兵第六大隊ハ歩兵第三十四聯隊ト交代シテ *Trinovo* ニ向ヒ出發シ十五日 *Kristec* 山ニ到著シ *Trevna* 峠ノ守備ニ任ス

「オスマンバザール」部隊ノ情況

七月下旬「オスマンバザール」部隊ノ概況

七月二十七日以來「オスマンバザール」部隊ハ少將ラーデンノ隸下ニ在リテ左ノ如ク位置シ *Osmambazar* 及其西南方ニ對シ *Trinovo* ヲ掩護シ且四角要塞内ニ在ル敵兵「ルスチ」兵團ニ向ヒ攻勢ヲ採ル場合ニハ同兵團ト協同

シテ作戦スル任務ヲ有セリ

歩兵第十一師團ノ主力

騎兵第十三師團ノ主力

「エレナ」支隊 歩兵一大隊騎兵五中隊砲二門

Elena, Bebrovo 附近

少將エルンロートノ指揮スル部隊 歩兵第十師團第二旅團騎兵第十三聯隊砲兵第十一旅團第二第五中隊

Qahir 附近

八月一日少將エルンロート部隊ノ移動

八月一日少將ラーデンハ中將ラデツキーヨリ命令ヲ受領シ

南部兵團一般ノ情況本卷第三〇八頁

照 少將エルンロートノ部隊ヲ カタルハナチ Dzuljunci ニ招致シ同地ニ在リシ歩兵第

十一師團第一旅團(歩兵第四十二聯隊ノ二大隊欠及砲兵第十一旅團第二第

四第五中隊ヲ レスコヴェツ Leskovec ニ後退セシメタリ但シ驃騎兵第十三聯隊ハ ダ Dzuljunci

北方ニ在リテ ロムチヘルゴナ Lom-Cerkovna ニ在ル第十三軍團ノ前衛ト連絡セシム

當時中將ラデツキーハ敵兵 オスマンバザール Osmanbazar 方面ヨリ攻勢ニ轉スルトキハ「オスマンバザール」部隊ノ主力ハ カタルハナチ Katalhanci 附近ニ於テ抗戦シ「エレナ」支隊ハ カタルハナチ Katalhanci 方向ニ退却シ之ト協力セシムル意圖ナリ

而シテ五日少將ラーデンハ中將ラデツキーヨリ第十三軍團トノ連絡ノ爲

「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊ノ二中隊ヲ派遣スヘキ命ヲ受ケ 四日 騎兵各

一中隊ヲ チユルスレル Tjubeller 及 ストラツチツ Strazica ニ派遣セリ當時「オスマンバザール」部隊ノ前

面ニハ不正規兵ノ活動盛ニシテ騎兵ノミヲ以テ十分搜索スル能ハス然レ

トモ歩兵ヲ使用セハ眞面目ノ戦闘ヲ惹起スルノ虞アリシカハ少將ラーデ

ンハ七日中將ラデツキーニ「オスマンバザール」部隊ノ任務竝ニ搜索實施ノ方

法ニ關シ精密ニ指示セラレンコトヲ乞ヒ即日其回答到著 南部兵團一般ノ情況(本卷第三一三頁參照)

シ之ニ依リ「オスマンバザール」部隊ノ任務ハ オスマンバザール Osmanbazar 方面ニ對シ ツルノ Trnovo

ヲ掩護シ強大ナル敵兵攻撃シ來ラハ漸次 セレメチヤ Seremetja ノ陣地ニ退却シ敵兵

「ルスチ」ヨツク兵團又ハ「エレナ」支隊ニ向ヒ攻勢ヲ取ルトキハ該方面ノ部隊

ヲ援助シ又此等諸隊ト確實ニ連絡ヲ維持スルニ在ルヲ知リ是日少將ラー

デンハ又第十三軍團ヨリ諸兵連合ノ一支隊ヲ明八日 チユルスレル Tjubeller 及 コバ Coban

ニカイ Demirdzileri ニ派遣スルヲ以テ「オスマンバザール」部隊ヨリモ一部隊ヲ

「エレナ」支隊
「オス」支隊
「バザ」支隊
「ズ」支隊
「ス」支隊
「ノ」支隊
「ス」支隊
「ノ」支隊
「ス」支隊
「ノ」支隊

カラダハム DRAZICA 及 Kesarevo ヨリ出シ之ト協力セシメラレンコトヲ乞フトノ通報ニ接シ中將ラデツキーノ同意ヲ得八日歩兵第十一師團長少將エルンロート(兵力未詳ナルモ諸兵連合ノ部隊トス)ヲシテ大街道ヲ Osmanbazar 方向ニ別ニ歩兵一中隊「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊第三中隊ノ半部ヲ Drazica ヨリ Cobankoj 附近ニ前進セシム同隊ハ是日右ノ命令ニ基ツキ Trnovo-Osmanbazar 道ヲ前進シ Dzumalikoj ノ西方ニ達シ砲二門ヲ有スル敵ト衝突シ歩兵一大隊及砲四門ヲシテ之ニ應戦セシメシカ第十三軍團ノ支隊ニ關シテハ何等通報ニ接セス又其攻撃ハ何等ノ意味ヲモ有セサルモノト判断シ附近ノ地形ヲ偵察シタル後午後五時戦闘ヲ止メ Kesarevo ニ復歸セリ
十日 Elena 附近ニ在リシ大佐レルマントフノ部隊ハ少將ボレエシアニ屬シ爾後少將ラーデンハ東方ニ對シテ Dujunci, Kesarevo 附近ヲ占領シ又 Leskovec 附近ニ退却セル歩兵第十一師團第一旅團(歩兵第四十二聯隊ノ二大隊欠砲兵第十一旅團第二第四第五中隊ハ中將ラデツキーニ直屬セリ

八月十三日
南部兵團ノ
軍隊區分及
配置

以上ノ如クシテ八月十三日南部兵團ハ Sevlijevo, Siplka, Hainkioj, Elena, Kesarevo ニ互ル線ヲ占領シ其軍隊區分附録第八ノ如シ今左ニ其配置ヲ述ヘン
一「セルエビ」支隊ハ Lovca ニ通スル道路ヲ守備シ西部兵團ト連絡シ且 Trojan 峠ニ通スル道路ノ監視ニ任シ左ノ配置ニ在リ
前衛司令官大佐リピンスキー歩兵第三十五聯隊「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊砲兵第九旅團第三中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第六中隊ノ二門)ハ Kakina 南方 Lovca-Sevlijevo 道ノ兩側ニ陣地ヲ占領シ其騎兵監視線ハ Tepava, Gostina 及 Grn. Pavlikjane ノ線ニ互レリ
前衛騎兵ノ一部ハ Tepava ニ在リテ Joglav ニ在ル西部兵團ノ高加士哥薩克騎兵旅團ト連絡セリ
爾餘ハ支隊司令部ト共ニ Sevlijevo ノ陣地ニ在リ
一「シプカ」支隊ハ Siplka 峠ヨリ Krstec 山(Trevina 峠)間ノ守備ニ任シ其配置左ノ如シ

少將ストリエトフノ指揮スル「シブカ」守備隊ハ騎兵ヲ以テ Tundza 河流域ヲ搜索シ主力ヲ以テ Sipka 峠附近ノ陣地ヲ守備ス

「ボゴロヂツア」監視隊ハ Mon. Sv. Bogorodica ニ在リテ同地ヲ經由スル徒歩道ヲ監視ス

「ベデク」監視隊ハ Bk. Bedek 山ニ在リテ Jenina ニ通スル道路ヲ監視ス

「トレブナ」守備隊ハ Krstec 山ニ在リテ Moglis ヨリ Trevaia ニ通スル道路ヲ警戒ス

爾餘ハ支隊豫備隊ト爲リテ Udrovo ニ位置シ支隊司令部モ亦同處ニ在リ但シ歩兵第三十六聯隊ノ一部ハ Sipka 峠ト Udrovo トノ中間地區ニ位置シ兩地間ノ連絡ヲ確實ニセリ

二、「ハインキエ」支隊ハ Hainkioj 峠ノ守備ニ任シ前衛歩兵一大隊騎兵一中隊、山砲二門ヲ以テ Natrot 附近ニ陣地ヲ占メ其他ヲ以テ Hainkioj 峠

ノ陣地 Pivovci 附近ニ止マリ同時ノ東方約二里ノ Drenca 附近ニハ東方「エレナ」支隊トノ連絡ニ騎兵小哨ヲ配置セリ

四、「エレナ」支隊ハ Tyrdic 峠ノ通路竝ニ Elena 附近ヲ守備シ其配置左ノ如シ歩兵第三十四聯隊第三大隊、騎兵二小隊、砲兵第五中隊ノ半部ハ Elena ノ南方一里ノ地ヲ占領シ主トシテ Tyrdica 方向ヲ警戒ス

同聯隊第二大隊、龍騎兵二中隊半及騎砲兵第二中隊ノ二門ハ Grn-Marjan 附近ヲ守備シ一部ヲ以テ其東南方一里ノ Palici 及 Beurovo ヲ占領ス

龍騎兵一中隊「ドン」哥薩克騎兵一中隊ハ Zlatarica ヲ占領シテ連絡線ヲ警備ス

其他ハ支隊豫備隊ト爲リテ Elena 附近ニ位置ス

五、「オスマンバザール」部隊ハ Osmambazar-Irnovo 道ヲ守備シ其配置左ノ如シ

騎兵第十三師團第一旅團長少將ダミーノ指揮スル步兵第四十二聯隊第三大隊欠同第四十四聯隊第一大隊驃騎兵第十三聯隊槍騎兵第十三聯隊「ドン」哥薩克騎砲兵第六中隊(二門欠)及騎砲兵第二十中隊(二門欠)ハ Kesarevo ノ設備セル陣地ヲ占領ス

步兵第四十三聯隊第五第六第八中隊及「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊第四中隊ノ半部ハ南方 Gorsko, Novoselo ヲ占領ス

「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊第六中隊ハ Struzica ヲ占メ同第三中隊ハ Tyrbeller ニ在リテ第十三軍團ト連絡ス

爾餘ハ部隊司令部ト共ニ Dzulfunei ノ陣地ニ在リ

六、南部兵團豫備隊ハ Trnovo 及 Seremetja, Leskovec, Merdanja 東方地區ニ位置セ

リ但シ騎兵及騎砲兵諸隊ハ休養ヲ要シ Nikijup ニ在リ

附記 スライマンパシアハ巴爾幹山路ノ重要ナル通路ヲ警戒シ且 Sipka 峠ヲ占領スルニ決スルヤ八月十一日主力ヲ率キ Novazagora ヲ出發先

八月中旬ニ於ケル「スライマン」軍ノ情況

「Tyrdica」ニ赴キ同地ニ著後直ニ峠ノ出口ニ防禦陣地ヲ構築シ十四日迄滞在セリ

八月十三日ニ於ケル「スライマン」軍ノ配置ハ左ノ如シ

主力ハスライマンパシア自ラ之ヲ指揮シ步兵五十六大隊之ヲ八大隊ノ編成セリ旅團ニ編成セリ一大隊ノ戦闘員約五百人ナリ 騎兵八中隊、不正規騎兵十五中隊、砲兵九中隊(五十

四門)ヨリ成リ Tyrdica ニ在リ

一部(步兵八大隊、砲九門)ハフツセンパシア之ヲ指揮シ Silven 北方

ノ山地ニ散在シ Silven ニ步兵一大隊、Demirkapu 峠ニ步兵一大隊、Starareka 附近ニ步兵二大隊、Kotel ニ步兵四大隊、砲兵一中隊半アリ

別ニ步兵二大隊ハ後方連絡線ノ警備ニ任シ Novazagora ニ在リ

以上「スライマン」軍ノ全兵力ハ步兵六十六大隊、騎兵二十三中隊、砲兵十中隊半(六十三門)人員計約三萬人ヲ算ス

「スライマン」軍ノ右方ニハ東部「ドナウ」軍ニ屬スルメヘメットセリム

パシアノ部隊歩兵十二大隊騎兵四中隊砲十二門アリ其主力ハOsman-
Nazar 附近ニ前衛ハUzunalikoj, Ivancaノ線ヲ占領シ其警戒線ハ近ク

露軍ニ相對ス 是ヨリ先セリムパシアハメットアリーバシアヨリTirano 方向ニ陽

攻シテスライマン軍ノ攻撃ヲ容易ナラシムル命令ヲ受ケ又スライ
マンバシアヨリモEreniニ向ヒ陽動スヘキコトヲ要求セラレシモ唯前衛ノ兵
力ヲ増加シタルノミ而モ部隊ノ編成訓練ヲ名トシ攻勢動作ニ出テサリキ

四 東方面ノ作戰

其一 「ルスチ ユツ」ク兵團ノ行動 第一覽圖第一附圖
第三十七參照

八月一日「ルスチ ユツ」ク兵團諸隊ノ配置左ノ如シ

第十三軍團

步兵第一師團長ノ指揮スル同師團第一旅團一大隊ハ兵團司令部ノ所
在地タル Obreten オブレテンニ在リ實力五大隊トス砲兵第一旅團第一第四中隊騎
兵八中隊騎砲六門 此内騎兵七中隊騎砲六門ハ臨時ニ大佐カウルバルス騎兵第八中隊
參謀長ニ屬シタリ而シテ其部隊ハ槍騎兵第八聯隊ドン哥薩克騎兵
第八聯隊ノ三中隊騎砲兵
第十五中隊ナルカ如シ 計步兵五大隊騎兵八中隊砲二十二門ハ主力ヲ以
テ Lom Oerkovna ロムオケルコフナヲ騎兵ノ主力ハ Kovacovec コヴァコベツヲ同一部ハ Gagovo ガゴボヲ占領セ

八月一日
「ルスチ」兵團
ノ位置

リ

步兵第三十五師團第二旅團砲兵第三十五旅團第一第四第五中隊合計
歩兵六大隊砲二十四門ハ Halvadi-Endzekjoj ハルヴァディエンヂェクジョイ (Halvadi-Indzekjoj)ニ在リ

歩兵第三百三十七聯隊軍團砲兵(四中隊)ドン哥薩克騎兵第十三聯隊ノ第

五中隊同第八聯隊ノ二中隊合計歩兵三大隊騎兵三中隊砲三十二門ハ

カランブルゴンツィカラマンブルゴンカ
Karavivovca (Karavivovka)ニ在リ

歩兵第一師團第二旅團砲兵第一旅團第二第五中隊ハ依然 Bela ベラ附近ニ
在リ

歩兵第三百三十八聯隊砲兵第三十五旅團第二中隊ハ騎兵團ニ屬シ在リ

騎兵團歩兵第三百三十八聯隊驃騎兵第八聯隊ドン哥薩克騎兵第十二聯隊

(一中隊)龍騎兵第十二聯隊ドン哥薩克騎砲兵第九中隊砲兵第三十五

旅團第二中隊合計歩兵三大隊騎兵十三中隊砲十四門ハ歩兵及砲兵ノ

主力ヲ以テ Kacelevo カチェレボヲ占領シ其他ヲ以テ Sadina, Kostandenev, Svalenik サディナ、コスタンデネフ、スヴァレニク等

ヲ守備ス

第十二軍團

步兵第三十三師團第二旅團、砲兵第三十三旅團第三第四第五第六中隊
 合計步兵六大隊、砲三十二門ハ Kosovoニ位置ス
 步兵第三十三師團第一旅團、騎兵第十二師團第一旅團(槍騎兵第十二聯
 隊、驃騎兵第十二聯隊)「ドン」哥薩克騎兵第三十七聯隊ノ一中隊、砲兵第三
 十三旅團第一第二中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第五中隊、騎砲兵第十九中隊
 合計步兵六大隊、騎兵九中隊、砲二十八門ハ Kosovo, Strokilevo, Ivanovo, Ghr-
 Cesne 附近ノ各地點ヲ守備ス
 步兵第十二師團第一旅團、砲兵第十二旅團第一第四中隊合計步兵六大
 隊、砲十六門ハ Pison 東方高地ヲ占領ス
 步兵第十二師團第二旅團(一大隊欠)「ドン」哥薩克騎兵第三十七聯隊ノ五
 中隊、砲兵第十二旅團第二第三第五第六中隊合計步兵五大隊、騎兵五中

隊、砲三十二門ハ Trostenikニ在リ

「ルスチ ャッタ」兵團司令部ハ步兵第四十八聯隊第二大隊、步兵第一聯隊
 ノ一大隊、親衛騎兵二中隊「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊ノ一中隊ト共ニ
 Obretenニ在リ

工兵第七大隊ハ Meckaニ在リ

速射砲兵中隊ノ所在明カナラス又豫備工兵中隊ハ當時兵團ノ許ニ到着シ在リシヤ否ヤ記録無シ

是ヨリ先七月三十一日「ルスチ ャッタ」兵團司令官皇太子アレクサンデル、ア
 レクサンドロウイッチハ四角要塞地域ヨリスル土軍ノ攻撃ヲ防止スヘキ
 準備ヲ整フヘシトノ軍訓令(第十三章一般ノ情況ヲ受領シ第十三軍團ヲ Cerni-
 本卷第二四五頁參照)
 Lom 河谷内 Kovacovec, Opaka, Kacelevoノ線ニ進メ尙 Popovoハ重要ナル道路
 交叉點ナルヲ以テ特ニ有力ナル支隊ヲ以テ占領セント欲セリ然レトモ當
 時兵團司令官ハ布爾牙利人ノ言ニ依リ Razgradニハ土軍ノ強大ナル兵力
 (步兵三十四大隊、騎砲兵若干)アルモノノ如キヲ知リシモ露軍ノ斥候ハ從來

毫モ之ヲ確證スルニ足ルヘキ報告ヲ齎スコト無カリシヲ以テ先ツ兵團司令官ハ騎兵團ヲシテ Razgrad 方向ノ敵情ヲ搜索セシメタリ

八月一日第十三軍團長ハ Lom Cerkovna ニ在リ同日歩兵第十一師團長少將

エルンロートノ部隊ハ Dzulunci ニ赴キ既記ノ如ク少將エルンロートハオスマンバザ

十一旅團第二第五中隊、騎兵第十三聯隊ヲ指揮シ二十四日以後、同歩兵第十一師團第二旅團砲兵第二

ニ移ルヘキオスマンバザール部隊長ノ命令ニ接シ同日同處ニ赴ケリ(本卷第三三〇頁参照)

爲ニ第十三軍團トオスマンバザール部隊ノ間ニ約五里ノ間隙ヲ生セシヲ

知り Razgrad-Cajir-Urganovo ヲ開放スルニ至レルヲ憂慮シ即日歩兵第一師

團長ノ指揮スル部隊ヲシテ Lom Cerkovna ヨリ Cajirニ到ラシム

當時兵團司令官ハ敵兵 Razgrad 附近ニ集合セシコトヲ確メ尙布爾牙利人

ノ言ニ依リ約二千人砲八門ノ敵兵ハ同地ヨリ Eski Dzumaja ニ移レルヲ知

リ第十三軍團ヲシテ Popovo, Opaka 附近ヲ占領セシムルノ必要ナルヲ認メ

歩兵第一師團長ノ指揮スル部隊 Cajirニ移ルヲ知ルヤ直ニ該隊ヲ Lom Cer-

コフナニ復歸セシメ 同隊ハ此命令ニ接シ三日再 次テ二日第十三軍團長ニ左ノ要

ニ歸レリ

旨ノ命令ヲ下セリ

一第十三軍團ノ最前線ハ Kacelevo ヨリ Cerni Lom 河ニ沿ヒ Krepa, Opaka

ニ到リ之ヨリ右翼ヲ後方ニ退ケ Kovacovec ニ到ラシムヘシ此等諸隊

ノ集合ニ際シ凡テ撰定シタル陣地ヲ有效ニ防禦スルニ必要ナル部署

ハ軍團司令部ノ任スル所トス但シ Popovo, Gagovo, Svalenik 等ノ各地ヲ前

進陣地トシテ占領スルハ第十三軍團ノ新情況上避クヘカラサル任務

ナラン此等前進陣地ノ守備兵ハ歩兵二大隊砲兵一中隊ト規定ス

一第十三軍團ハ攻勢ヲ取ルニ當リ當ニ利用セラルヘキ道路ノ集合點タ

ル Popovo ニ重キヲ置クヘシ即チ該地附近ニハ防禦工事ヲ施シ敵襲ニ

際シテ増援隊ヲ得ル迄此陣地ヲ頑強ニ固守スヘシ

歩兵第十一師團長ハ敵兵 Popovo ニ向ヒ前進シ來ル場合ニハ Cajir 又ハ

Tjubeller ヨリ Ajazar ヲ經テ土軍ノ側背ニ向ヒ前進スル筈ナリ

然ル後「ルスチ ャック」兵團司令官ハ自ラ南部兵團司令官中將ラデツキーノ

許ニ赴キ該兵團ヲ Kovacovec, Tjubeller, Dzumalikoj ノ線ニ進マシメンコトヲ
 協議セシモ中將ラデツキーハ之ニ應セス當時中將ラデツキーハ Osmanbazar ニ對シ Trnovo
 備シ又セルエビ支隊ヲモ援助セサルヘカラサリシカ故ヲ掩護スルノ外夫ノ巴爾幹山ノ諸通路ヲ守
 ニ Trnovo 附近ニ兵力ヲ集結スルノ意アリシニ因レリ 單ニ連絡ノ爲ニドン哥薩克騎兵
 第十三聯隊ノ一中隊ヲ Strazica ニ六日更ニ Tjubeller ニ移シタルニ過キサリ
 キ

第十三軍團ハ前記ルスチユック兵團司令官ノ命令ニ依リ又 Trnovo ノ守備ヲ七
 日迄ニ左ノ新配置ヲ採レリ 重要視セシナラン

步兵第一師團長ノ指揮ニ屬スル步兵第一師團第一旅團步兵第百三十九
 聯隊、ドン哥薩克騎兵第八聯隊(三中隊欠)槍騎兵第八聯隊騎砲兵第十五中
 隊、砲兵第一旅團第一第四中隊砲兵第三十五旅團第五中隊計步兵九大隊、
 騎兵七中隊、砲三十門ハ主力ヲ以テ Trnovo 附近ヲ占領シ騎兵ノ主力ヲ以
 テ前方ノ警戒ニ任セシム
 步兵第三十五師團長ノ指揮スル步兵第百四十聯隊竝ニドン哥薩克騎兵

八月七日
 ルスチユック
 兵團ノ
 位置

第八聯隊ノ三中隊及砲兵第三十五旅團第一中隊計步兵三大隊、騎兵三中
 隊、砲八門ハ Gagovo ヲ占領ス

步兵第三十五師團第一旅團、ドン哥薩克騎兵第十三聯隊第五中隊、砲兵第
 三十五旅團第一第五中隊、同第一旅團第三第六中隊計步兵六大隊、騎兵
 一中隊、砲四十八門ハ Kovacovec ニ位置ス

是ヨリ先ルスチユック兵團司令官ハ八月四日左ノ要旨ノ軍訓令ヲ受領ス
 一、土軍ハ Plevna, Lovca, Osmanbazar 若クハ Eski Dzumaja ヲリ Trnovo ニ向ヒ
 集中的ニ攻勢ヲ取り先進兵團ヲ遮斷セントセルカ如シ先進兵團ハ南
 正面ニ於テスライマン、ロイフ兩パシアノ合同セル兵力ニ對峙セリ

二、第十三軍團ハ步兵第十一師團及騎兵第十三師團ヲ援助スルノ準備ヲ
 爲シ土軍若シ Osmanbazar ヲリ Trnovo ニ向ヒ攻勢ヲ取ルトキハ直ニ其
 企圖ヲ妨害スヘシ此場合ニ於テハ第十三軍團ハ中將ラデツキーノ指
 揮ヲ受クヘシ此際步兵第十一師團及騎兵第十三師團ハ Luskovec 附近

ノ陣地ニ於テ敵ヲ拒止ス

三、土軍若シ Ruzgrad 及 Eski Dzumaja ヨリ Bela ニ向ヒ前進シ來ラハ時機ヲ失セス陣地ヲ撰定シ工事ヲ施シテ敵ニ對抗シ Tinovo 方面ヨリ増加兵ノ到著スル迄其地ヲ保守スヘシ

Razgrad, Eski Dzumaja 方向ニハ前衛ヲ出シ而モ本隊ハ尙之ヲ集合シ在ルヘシ第十二軍團ハ土軍此要塞内ヨリ出撃スルニ際シ成ルヘク少數ノ兵力ヲ以テ之ヲ拒止シ得ル爲 Ruzguk ニ對シ適當ノ陣地ヲ撰定シ之ニ堅固ナル工事ヲ施スヘシ

右ノ訓令ハ八月三日兵團司令官ノ部署ト全ク符合セシカ故ニ兵團司令官ハ新ニ軍隊ヲ部署スルコト無ク唯占領セル陣地ヲ十分ニ堅固ナラシムルニ止メタリ

斯クテ「ルスチュック」兵團ハ爾後大ナル變化無ク概ネ前記ノ位置ニ留マレリ即チ八月十三日ニ於ケル位置概ネ左ノ如シ 附圖第三十七參照

第十三軍團(步兵第一師團第一旅團、砲兵第一旅團 第二第五中隊欠 步兵第三十五

師團、槍騎兵第八聯隊、ドン、哥薩克騎兵第八聯隊、同第十三聯隊第五中隊騎砲兵第十五中隊計步兵十八大隊騎兵十一中隊、砲八十六門)

步兵第一師團長ノ指揮スル諸隊(步兵第一師團第一旅團步兵第三百三十九聯隊、槍騎兵第八聯隊、ドン、哥薩克騎兵第八聯隊(三中隊欠)、砲兵第一旅團第一第四中隊、同第三十五旅團第五中隊、騎砲兵第十五中隊、計步兵九大隊、騎兵七中隊、砲三十門)ハ步兵二大隊、騎兵一中隊及野砲二門ヲ以テ Ajazar ヲ、騎兵五中隊、騎砲六門ヲ以テ Hajdar ヲ占領シ爾餘步兵七大隊、騎兵一中隊、砲二十二門)ハ Popovo 在リ

步兵第四百四十聯隊、ドン、哥薩克騎兵第八聯隊ノ三中隊、砲兵第三十五旅團第一中隊ハ Gagovo ヲ占領シ步兵一大隊、騎兵二中隊ヲ以テ Zarajevo ヲ守備ス

軍團豫備隊(步兵第三十五師團第一旅團、ドン、哥薩克騎兵第十三聯隊ノ

一中隊、砲兵第三十五旅團第一第五中隊、欠砲兵第一旅團第三第六中隊、計步兵六大隊、騎兵一中隊、砲四十八門、及軍團司令部ハ、Kovačevićニ在リ、騎兵團長騎兵第十二師團長中將ドリーゼン、驃騎兵第八聯隊、龍騎兵第十二聯隊、槍騎兵第十二聯隊、騎砲兵第十九中隊、ドン、哥薩克騎砲兵第九中隊、計騎兵十二中隊、騎砲十二門、

騎兵八中隊、騎砲二門ヲ以テ Omurbej, Svalenik, Nisovoノ線ヲ警戒シ、殘餘(騎兵四中隊、騎砲十門)ハ、騎兵團司令部ト共ニ Gorskó-Alvanovoニ位置ス

第十二軍團步兵第十二師團、騎兵第十二師團第二旅團、ドン、哥薩克騎兵第十、二聯隊ノ一中隊、欠、ン、哥薩克騎兵第三十七聯隊、同騎砲兵第五中隊、砲兵第十二旅團、計步兵十二大隊、騎兵十五中隊、砲五十四門、

步兵第四十七聯隊、驃騎兵第十二聯隊、砲兵第十二旅團第二中隊ハ、Ivanovo附近ヲ占領ス

步兵第十二師團第一旅團、ドン、哥薩克騎兵第十二聯隊、第三中隊、欠同騎

砲兵第五中隊、砲兵第十二旅團第一第四中隊、計步兵六大隊、騎兵五中隊、砲二十一門)ハ、Gür Cosne, Pirgozノ兩地ヲ守備ス

軍團豫備隊、步兵第四十八聯隊、ドン、哥薩克騎兵第三十七聯隊、砲兵第十二旅團第三第五第六中隊、計步兵三大隊、騎兵六中隊、砲二十四門、及軍團司令部ハ、Prostjenikニ在リ

兵團豫備隊、步兵第三十三師團、步兵第三百三十二聯隊第一大隊、欠、及速射砲中隊(八門)ハ、Ostřicaニ在リ、但シ其内步兵二大隊、砲八門ハ、Kaceljevoニ位置シテ、騎兵團ノ後援ト爲レリ

兵團司令部ハ、步兵第三百三十二聯隊第一大隊、近衛哥薩克騎兵二中隊、ドン、哥薩克騎兵第十二聯隊第三中隊ト共ニ Štikovoニ在リ

步兵第一師團第二旅團、砲兵第一旅團第二第五中隊ハ、大本營ニ屬シ、Belaニ在リ

工兵第三大隊及豫備工兵中隊ハ、Meckaニ在リ

附記 八月中旬四角要塞西正面ニ在ル土軍ノ情況左ノ如シ

Eski Dzumaja ニハ埃及ノ王子ハッサンバシアノ指揮スル部隊集合中ニシテ其歩兵九大隊、騎兵七中隊、砲十二門ハ既ニ同地ニ在リ

Kazgrad ニハ廣大ナル築城陣地ヲ構成セラレアヒメットエユツパシアノ指揮スル部隊(歩兵四十八大隊、騎兵四十二中隊、砲七十二門)之ヲ占領シ在リ

Ruscuk ニハアヒメットカイセルリバシアノ指揮スル部隊(歩兵二十三大隊、騎兵六中隊、砲兵五中隊、砲三十門)アリ其内二大隊ハ Ruscuk 東南約五吉米ノ Cerni Loin 河畔 Krasen, Basarbovo ニ又三大隊ハ Donau 河畔守備ニ任シ Ruscuk, Putrakan 間ニ配置セラレ在リ

Somla ニハタヒルバシアノ指揮スル部隊(歩兵十大隊、砲三十六門)アリ Osmanbazar (Osmanpazar) 及其西方地區ニハメヘメットセリムバシアノ指揮スル部隊(歩兵十二大隊、騎兵四中隊、砲十二門)アリ同隊ハ既記ノ如

ク「スライマン」軍ノ Sipka 峠攻撃ヲ援助スル爲「Tnovovo」方面ニ陽動スヘキ任務ヲ有セリ

以上諸隊ノ内メヘメットセリムバシアノ指揮スル部隊ヲ除クトキハ歩兵九十大隊、騎兵五十五中隊、砲百五十門ニシテ露軍「ルスチ」兵團ニ對スル全兵力ナリ

其二 下流「ドナウ」兵團及「アッレル」支隊ノ行動

八月ノ初メ下流「ドナウ」兵團司令官中將チンメルマンハ敵兵 Constantinia ヲ作戰目標トシテ前進スルモノニアラサリシヲ明ラカニセシヲ以テ Cernavoda Constantinia ノ線ニ停止スルニ決スルヤ陣地占領竝ニ長期駐留間ノ衛生ヲ顧慮シ二日ヨリ宿營移轉ヲ始メ 下流「ドナウ」兵團司令官ノ此決心ハ軍司令部ノ意見ト一致シ攻撃シ來ラハ之ヲ拒止セシムルカ爲築城工事ヲ續行セシメンコトヲ望ムト 十二日頃迄ニ概ネ左ノ如キ配置ヲ取レリ

Cernavoda ニハ歩兵第六十六聯隊、砲兵第十七旅團第一中隊、Celebichoi ニ

八月初メニ於ケル兵團司令官ノ決心(覽圖第四参照)

八月十三日下流「ドナウ」兵團ノ位置

ハ步兵第六十五聯隊、ドン、哥薩克騎砲兵第十一中隊及砲兵第十七旅團ノ
 第二中隊、Medgidia ニハ步兵第十七師團ノ第二旅團、砲兵第十七旅團ノ第
 三第四第五及第六中隊並ニドン、哥薩克騎砲兵第十六中隊、Muratlar ニハ
 步兵第十八師團ノ第一旅團、ドン、哥薩克騎砲兵第十七中隊並ニ砲兵第十
 八旅團ノ第二第五及第六中隊、Constantia ニハ步兵第十八師團ノ第二旅團
 「ドン」哥薩克騎砲兵第四中隊(二門)欠砲兵第十八旅團第一第三及第四中隊
 在リ又「ドン」哥薩克騎砲兵第一師團ハ其前方ニ在リテ警戒ヲ擔任セリ即チ
 Mulhova ニハ同第十五聯隊、Caciamak ニハ同第十六聯隊、Buine Bulbul
 ハ同第十七聯隊、Chincue Bulbul ニハ同第十八聯隊、Hasidoluc ニハ同第二
 十九聯隊アリ

「ドン」哥薩克騎兵第四十聯隊及同騎砲兵第四中隊ノ二門ハ Silistra ノ對岸
 Calarasi ニ在リ

諸隊ハ其新舍營地ニ著後陣地ヲ構築ス中將チンメルマンハ敵兵再ヒCons-

中將ウエレ
 ノ情況(露
 土兩軍歐
 巴作戰地
 圖參照)

Tania ヲ砲撃センコトヲ恐レ同港海岸ニ防禦法ヲ構シタリ 之カ爲更ニ二十四斤
 Constantia ニ鐵道ヲ以テ輸送シ同市ノ南方ノ砲臺ニ備ヘタリ但シ同攻城砲ハ二十日砲臺ヨリ卸
 シ再ヒ Braila ニ運搬セシメラレタリ是レ Constantia 附近ニ築設セシ該陣地ハ敵甲鐵艦ノ射界外ニ在
 リシカ故ニ他ニ陣地ヲ變換スルノ必要ヲ感シタリシモ適當ノ掩護ヲ缺キシヲ以テナリ同時ニ灣口
 ニ水雷ヲ沈設シ且所要ノ水雷ヲ得サリシ爲砂石ヲ充タセル若干ノ桶ヲ海中ニ沈メテ水雷ヲ布設シ
 タル旨ヲ流
 布セシム

中將ウエレウキンノ指揮スル下流「ドナウ」師團 本卷第一五 三頁參照 ハ既記ノ如ク少將
 アレクサンドロフノ部隊ト交代シ下流 Donau 河ノ諸地點ヲ占領シ且 Wilkow
 附近ヲ占領シ以テ「Julia」河口ニ活動スル土國ノ海軍ニ對シ機ヲ失セス攻
 勢動作ニ出テントスル露國海軍ニ根據地ヲ與フルニ在リ同師團ハ八月上
 旬少將アレクサンドロフ部隊ト交代シテ Braila, Tulcea 間ノ要地ヲ占領シ
 別ニ一部ヲ以テ Wilkow ヲ占領シ且騎兵ノ一部ヲ Babadag 方三十吉米ニ派
 遣シ黑海沿岸ヲ警戒セシメ同時ニ Braila-Cernavoda ノ電線ヲ掩護セシメタリ
 黑海艦隊ノ一部ハ下流「ドナウ」師團ノ一部ニ依リテ Wilkow ヲ占領セラルル

少將アレク
サンドロフ
支隊ノ情況

ヤ海岸軍司令官中將セメカノ命令ニ依リテ Odessa ヨリ Kijja Alm (Kilia) 支
流ニ來航シ Sulina 攻撃ノ準備ヲ爲ス

少將アレクサンドロフ支隊ハ下流「ドナウ」師團ト交代シ八月上旬 Galatz 附
近ヲ出發シ Fratesci Girgevo 迄鐵道輸送ニ依リ同地ヨリ徒歩ニテ所屬第四軍
團ニ合スル目的ヲ以テ Plevna ニ向ヒ八月三十一日到著ス 此支隊ニ屬セシ豫備
五大隊ノ一部、山地騎兵聯隊ハ下流 Donau 河地區ニ殘留シ下流「ドナウ」師團ニ合セリ又「ド
ン」哥薩克騎兵第四聯隊ハ交代著シク遲延シ九月十七日漸ク Donau 河右岸ニ到著セリ

「アッレル」
支隊ノ情況
(附圖第三
十六參照)

八月中旬四
角要塞東北

「アッレル」支隊ハ八月上旬依然 Girgevo, Calarasi 間ヲ守備シ此間 Ruscuk 附
近 Donau 河上ニ於テ土國武裝汽船ト砲戰ヲ交ヘ又 Turakan 附近ノ土軍ト
河ヲ夾ンテ砲火ヲ交換セシモ一般ニ平穩ニシテ殆ト變化無シ 七月下旬中將
務繁劇ニシテ兵力ノ不足ヲ感シ(當時「アッレル」支隊ノ内河岸監視並ニ其他ノ勤務ニ用キ得ヘキ歩兵
ハ僅カニ十六中隊ニシテ晝間ニ日々三中隊、夜間ニ七中隊半砲臺勤務ニ約一中隊半ヲ要セリ)歩兵二
大隊ノ増援ヲ乞ヒ後 Donau 河減水シ土軍 Ruscuk ノ對岸 Karaman 島ヲ占領スルニ
及フヤ八月十二日「ル」兵團參謀長ニ増援ヲ請求セシモ共ニ容レラレス

附記 八月中旬四角要塞東北部ニ在ル土軍ノ情況左ノ如シ

部ニ在ル土
軍ノ情況
(附圖第三
十六參照)

Turakan ニ歩兵二大隊、Mistria ニ歩兵十五大隊、騎兵四中隊、砲二十四
門、Dobrié ニ歩兵十四大隊、騎兵八中隊、砲十八門、Baljik ニ歩兵一大隊、
Varna ニ歩兵十一大隊、砲十二門アリ
尙近ク君士坦丁堡ヨリ海路ニ由リ Varna ニ上陸スヘキ増加兵十大隊
ヲ豫期スルヲ得タリ

露土戰史第二卷 畢

軍司令官大將

王親ナツイウエヲコニ、スウヲコニ

Table with columns for military units: 進兵團 (Advance Troop), 西部隊 (Western Troop), 下流「ウナド」兵團 (Downstream 'Unado' Troop), 軍豫備隊 (Army Reserve Troop), and 總計 (Total). Each column lists units, their commanders, and numerical counts.

七月二十一日軍命令ニ依リ、ウスコエ之ヲ指揮シ、オス西部兵團ニ屬シ、爾後「オス」部隊長ハ少將ラードン龍騎兵第十三聯隊、騎砲兵第二四ハ「ド」附近ニ在リ、日迄第八軍團長中將ラドツシ同二十七日以後布爾加利隊モ之ニ加ハリ少將ラードン

備考

一、本表外工兵諸中隊ノ所屬不明ナリ
二、架橋諸大隊ハ軍司令部ニ屬シ Zimnicen 附近ニ在リ

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

附録第二

Plavina 第二會戰露軍西部兵團參加兵力表

司令官	中將	第九軍團 ルネデュリク 將中長			第四軍團所屬			第十軍團 エコスウコアシ 將中長			少將部 ノフレベコス 隊			總計
		步兵大隊	騎兵中隊	砲(門數)	步兵大隊	騎兵中隊	砲(門數)	步兵大隊	騎兵中隊	砲(門數)	步兵大隊	騎兵中隊	砲(門數)	
司	令	步兵第五師團 長中將シルデル、シユルデネル			步兵第三十師團 長中將ブザノフ			步兵第三十二師團所屬 長中將タチシコ、チュエフ			高加士哥薩克騎兵旅團 長大佐ツトルミン			總計
		步兵第一旅團(長少將クノルリンド) 步兵第十七聯隊 步兵第十八聯隊 步兵第二旅團(長少將ボガツウヰッチ) 步兵第二十聯隊 砲兵第五旅團(一中隊欠)			步兵第一旅團(長少將ボルトラツキ) 步兵第十七聯隊 步兵第十八聯隊(長少將ボツエルヤノフ) 步兵第十九聯隊 步兵第二十聯隊 砲兵第三十旅團			步兵第一旅團(長少將ゴルシユコフ) 步兵第二十五聯隊 步兵第二十六聯隊 砲兵第三十二旅團(一中隊欠) 騎兵第一旅團(長少將ヒルデブランド) 龍騎兵第十一聯隊 槍騎兵第十一聯隊 騎砲兵第十八中隊			「クバン」哥薩克騎兵第二聯隊 「テレツク」哥薩克騎兵聯隊 騎山砲兵第一中隊 「ドン」哥薩克騎砲兵第八中隊			
官	中	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三五
將	將	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三一
ク	ク	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	一八四
リ	リ	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一八四
ユ	ユ	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	一八四
デ	デ	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	一八四
ネ	ネ	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	一八四
ル	ル	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	一八四

步兵第九師團ハ、Nikopolisノ守備ニ任シ同セリ
砲兵第三中隊ハ、Slovニ在リ

步兵第九師團爾餘ノ部隊ハ、先進兵團ニ在リ

步兵第二十四聯隊ハ、Gyula渡河點ニ在リ七ニ至リ第三大隊(擡兵中隊欠)ヲ同地ニ留メ其Fuzsi、Trosenkニ到着セシモ此日ノ會戰ニ砲兵第五中隊ハ、Nikopolisノ渡過點ニ在リ步兵一聯隊ノ第三大隊同第百二十二聯隊第一大隊隊ハ、Nikopolis、Slovak間捕虜ノ檢送ニ任シ在リ本表外師團ニ混成工兵約一中隊アリ

步兵第三十二師團第二旅團、騎兵第十一師團及砲兵第三十二旅團第二中隊ハ、中將ア、揮ニ屬シ、Donau河左岸ニ、步兵第十一師團ハ、東方地區ニ在リ

「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ四中隊ハ、近ニ又一中隊ハ、Slovニ在リ

步兵第二十六聯隊第二大隊ノ二中隊ハ、Donau第百十七聯隊ノ一中隊ハ、Fuzsiニ在リテ補任シタリ

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4

附錄第四

Plavna 第二會戰露軍射耗彈藥表

團 隊 號	戰 團 參 加 數			彈 藥 消 耗 數			比 例					
	砲(門)銃	(挺)	拳銃(挺)	榴 彈	榴 霰 彈	霰 彈	小 銃 彈	拳銃彈	砲一門	銃一挺	拳銃一挺	
步兵第百十七聯隊			二、三九三				五五、一四四					
步兵第百十八聯隊			二、七七五				九一、〇〇〇					
步兵第百十九聯隊			二、八三六				五四、六四四					
步兵第百二十聯隊			二、八二〇				四二、〇一〇					
步兵第百二十七聯隊			一、八三九				六六、八三二					
步兵第百十八聯隊			一、三九一				七三、一八五					
步兵第百二十聯隊			二、三七一				五、一九六					
步兵第百二十一聯隊			二、〇五一				六九、五八〇					
步兵第百二十二聯隊			一、四四〇				四、〇三二					
步兵第百二十三聯隊			二、四二一				五六、四四八					
步兵第百二十五聯隊			二、八七三				一七五、二五一					
步兵第百二十六聯隊			二、二二六				八四、六〇〇					
龍騎兵第十一聯隊			六四四	九六			三、八六八	四八〇				
槍騎兵第十一聯隊			一二七	一三四			一五六	一七二				
「クバン」哥薩克騎兵第二聯隊			七四〇	三六			一一、一〇〇	一八〇				
「ウラヂカウカツ」騎兵聯隊			五〇〇				一八、五〇〇					
砲兵第三十旅團第一中隊	八								一九、一			
砲兵第三十旅團第二中隊	八								五、五			
砲兵第三十旅團第三中隊	八								一一、〇			
砲兵第三十旅團第五中隊	八								三四、一			
砲兵第三十旅團第六中隊	八								七、七			
砲兵第五旅團第一中隊	七								五七、五			
砲兵第五旅團第二中隊	七								三七、〇			
砲兵第五旅團第五中隊	八								四七、〇			
砲兵第五旅團第六中隊	八								〇、三八			
砲兵第三十一旅團第一中隊	八								三八、五			
砲兵第三十一旅團第二中隊	八								三四、〇			
砲兵第三十一旅團第三中隊	八								三四、〇			
砲兵第三十一旅團第四中隊	八								一〇、七五			
砲兵第三十一旅團第六中隊	八								一〇、五			
砲兵第三十二旅團第一中隊	八								四三、五			
砲兵第三十二旅團第三中隊	八								七〇、六			
砲兵第三十二旅團第四中隊	八								三五、八七			
砲兵第三十二旅團第六中隊	八								二八、七五			
「ドン」哥薩克騎砲兵第八中隊	六								一三、八			
計	一四八	二九、四四七	二六六	二、六〇三	一、五八一	四	八一、五四六	八三二	二八、二九	二七、五五	三、一一	

備考 一、本表外步兵第百十八聯隊ハ千八發又同第百十九聯隊ハ五萬四千六百四十四發ヲ失ヘリ

附錄第五

八月四日軍司令官ヨリ皇帝ニ呈セシ報告

歩兵第五師團第一旅團ハ甚シク損害ヲ受ケタリ然レトモ兵卒ハ志氣旺盛
ニシテ負傷者ト雖モ復一人トシテ然ラサル者無シ小官ハ布爾牙利ニ到ル
途中三百五十人ト五百人トノ二組ノ負傷者輸送隊ニ會ヘリ時恰モ暑氣酷
烈ニシテ加フルニ塵埃殆ト呼吸ヲ閉塞セントスル情況ナルニモ拘ラス負
傷者ハ神色自若トシテ車上ニ坐臥シ身ニ一傷タモ負ハサルモノノ如ク僅
カニ疲勞シ在ルノ觀ヲ呈セルノミ
軍隊ノ志氣衰ヘサルハ小官ノ自ラ誇トスル所ナリ實ニ諸隊ハ猛火ヲ凌キ
甚シキ損害ヲ受ケ^{總計約五千人ハ}遂ニ失敗ヲ來シタル後ナルニ拘ラス再ヒ
敵ト力ヲ較ヘントノ意氣尙旺盛ナリトス
然レトモ小官ハ先ツ待期ノ姿勢ヲ取り増加團隊ノ來著ヲ待タントス是レ
著大ナル兵力ヲ集合シ強固ナル工事ヲ施シタル敵ニ對シ急遽之ヲ攻撃ス
ルハ無謀タルヲ以テナリ土軍ハ ^{Plavna}附近ニ有スル兵力ノ外 ^{Lozna}附近

ニモ亦一部隊アリテ堅固ニ陣地ヲ構成セリ同地ニハ尙敵ノ援隊ソフイアヨリ
行進中ナリ而モ土軍ハ攻勢ニ轉スルノ策ニ出ツルコト無カリキ是レ蓋シ
新銳ナル増加兵ノ到ルヲ待タント欲スルニ出テタルカ或ハ躊躇逡巡唯其
堡壘ヲ去ルニ忍ヒサルニ出テタルカ未タ知ルヘカラサルナリ
小官ハ特ニ第五師團第一旅團ノ減員ヲ補充セント欲シ既ニ ザムニツア Zimnicea 附近
ニ到著シタル全部ノ補充兵(總計千二百人)ヲ使用スヘク命シタリ尙小官ハ
狙撃歩兵第三旅團及歩兵第二第三兩師團ノ來著ヲ待テリ但シ狙撃歩兵旅
團ハ八月八日ニ カレベク Carvevек ニ達セハ同地ヨリ フルイ Flui スツヂナ ザボフ Zaboiv 南方約
二十四吉米ニ前
遣セラレ歩兵第二及第三師團ノ第一梯隊ハ八月九日各橋梁附近ニ到著セ
ン而シテ兩師團ノ集合何レノ時ニ完了スルカハ鐵道輸送ノ遲速如何ニ關
ス此時期ニ至ル迄諸隊ハ現在ノ陣地ヲ堅固ニシテ適當ニ兵力ヲ區分シ以
テ敵兵若シ其堡壘ヲ出テテ突進スルコトアラハ之ニ對シ攻撃移轉ノ時期
ノ到ルヲ待タサルヘカラス

附錄第六

陸軍大臣ノ覺書

兩戰場亞細亞及歐羅巴ノ戰地ヲ云フナランニ於ケル從來ノ作戰經過ニ徴スルニ吾人ハ本戰役ノ
當初ニ當リ敵情ヲ正當ニ判斷セシモノト謂フヘカラス其理由ヲ左ニ摘記
セン

第一、土國ハ既ニ衰亡ニ瀕シタル如クボスニア及ヘルツェゴビナノ暴徒
或ハ塞爾維ノ民兵トノ戰鬪ニ於テ其無氣力ナルヲ明示シタリシモ
實際ニ於テハ尙未タ生氣ニ富ミ多大ノ兵員材料ヲ使用シ且外國ヨ
リ大ナル援助ヲ受ケタリ

第二、土軍ハ年來無給ナリシト傳フレトモ尙獨特ノ性能ト完全ナル武裝
及裝備ヲ有シ戰ニ臨ンテハ能ク頑強ニ交戦シ特ニ迅速且巧ニ築城
スルノ術ヲ解シ掩體內ニ在リテハ常ニ執拗ニ交戦セリ實ニ彼等ハ
掩體ニヨリテ更ニ一武裝ヲ得守勢ヲシテ攻勢ニ優ルコト大ナルヲ
得ルニ至ラシメタリ

前記二項ノ情況ハ土軍ニ對スル我軍將來ノ戰術竝ニ戰畧上ニ直接影響ヲ與フルモノタルヤ必然ナリ

戰術上ノ關係ニ就テ述フレハ吾人ハ敵ト戰ヲ交ユルニ當リ一意直進シ且暴露シテ敵陣地ニ猪突攻撃スルハ斷シテ不可ナリ何トナレハ我軍縱令數ニ於テ著シク優勢ナルモ敵ハ堡壘ニ據リテ防守スルノ術ヲ解スレハナリ吾人若シ曩日ニ於ケルカ如ク專ラ無限ノ克己心ト勇氣トニ信賴シテ交戰センカ忽ニシテ全軍ヲ失フニ至ルヘシ

戰畧上ノ關係ニ就テ述フレハ吾人ハ曩ニ一氣呵成ノ攻勢作戰ヲ以テ巴爾幹山ノ南方亞細亞ニ在リテハ Saganlug^{サガールグ}ヲ超ユル處ニ進出シ而シテ敵軍ト其國人トニ恐慌ヲ惹起セシメ以テ數週間内ニ君府ノ城下ニ於テ平和條約ヲ結ハンコトヲ豫期セシモ此ノ如キ希望ハ實ニ空想ニ過キサリシヲ知ルニ是故ニ吾人ハ目下領有セル地域ヲ比較的少損害ヲ以テ保守シ不利ナル情況ヲ防止シ且我軍ノ蒙ルヘキ危害ヲ極力減少スル如ク計畫スルヲ必要トス

ス

先我軍ノ後方連絡線ヲ設クルニ注目スルハ吾人ノ特ニ必要トスル所ナリ三十萬乃至三十五萬人ヨリ成レル軍ハ素ヨリ唯一ノ後方連絡線ヲ以テ甘ンスル能ハス我軍未タ Kuzuk^{クズク}ヲ畧取セサルトキニ在リテハ Donau^{ドナウ}右岸ニ於テ渡河ノ爲少クモ三個ノ確實ナル地點ヲ保有スルヲ必要トス Distov^{ディストフ}ノ外 Nikopol^{ニコポリ} 附近及 Kuskuk^{クスクク} 近傍 (Parajani^{パラヤニ} 若クハ Petrosani^{ペトロサニ} 附近)ニ各一個處即チ是レナリ此三地點ニハ防禦工事ヲ施シ以テ同處ニ殘サル可キ微弱ナル軍隊ヲ以テシテ而モ甚タ優勢ナル敵ノ攻撃ニ對シテ尙能ク之ヲ保守シ得サル可カラス

又我軍ハ兵力ノ分配ヲ適當ニシ以テ大ナル效果ニ依リテ獲得シタル中央陣地ヲ利用スルニ當リ連絡線又ハ退却線ヲシテ常ニ危險ヲ感シ得サラシムル如クセサル可カラス今ヤ布爾牙利國內ニ進入シ且巴爾幹山ノ若干通路ヲ占領シテ敵線ヲ突破セシト雖モ中央突破者ノ常例トシテ双方ヨリ攻

擊ヲ蒙ルニ至ルハ避クヘカラサル所ナリ之ヲ要スルニ相分離セル敵ノ三部隊(西方部隊、東方部隊及山南ニ於ケル部隊)間ニ於ケル我中央陣地ハ既記ノ如ク我軍ニ不利アルハ免レサル所トス

四

吾人ハ此作戰ヲ實行センニハ特種ノ智識ヲ有シ中央陣地ノ利益ヲ收メ又萬一猛烈ナル敵ノ攻撃ヲ受クルニ際シテモ之ニ對シテ自衛シ得サル可カラス要スルニ將官ジヨミニーカ[内線作戰]ナル定語ヲ附シタル此戰法ハ大略自軍ノ某部隊ト他ノ部隊トヲ交互ニ増援シテ以テ敵ノ孤立セル部隊ノ一部ト出會シ之ニ對シテ優勢ヲ制シ得ルニ在リ然リ而シテ此目的ヲ達セシニハ戰畧的ノ強大ナル豫備隊ヲ設ケ之ヲ以テ或ハ右方部隊ニ或ハ左方部隊ニ或ハ前方部隊ニ交増援シ得サルヘカラサルナリ

然レトモ此目的ヲ達成スル爲尙一層緊要缺クヘカラサルモノアリ即チ各部隊カ優勢ナル敵ニ對シ若干時間其陣地ヲ占有シ且又時機ヲ失セス豫備隊ニ依リテ増援セラルヘキコト是レナリ而シテ之カ爲ニハ各部隊ハ豫備

隊ノ來著スル迄或ハ機動ニ依リテ戰鬥ヲ避ク或ハ設堡陣地ニ據リテ敵ヲ拒止スルヲ要ス

此理論上ノ原則ヲ布爾牙利内ニ在ル我軍ノ現況ニ照合スルニ惜哉上記前提ノ一ヲモ具備セサルコトヲ認ム即チ第四軍團ノ步兵三聯隊ハ既ニ第一線軍團ニ加ヘラレシヲ以テ今ヤ戰畧的豫備隊ヲ有セス若シ步兵第二及第三師團、ドン、哥薩克騎兵第二師團等到著セハ漸ク豫備隊ヲ有スルニ至ルヘキモ此兵力ノミニテハ彼我兩軍兵力ノ現在ノ如キ比例ニ在リテハ未タ以テ十分ナリトスヘカラス之ヲ要スルニ我軍ハ豫備隊ヲ缺キ且全軍ハ小部分ニ分離シ其守備線ハ全延長三百吉米内外ノ大半圓形ヲ劃シ而シテ此線上何レノ地點ニ於テモ二三旅團以上ノ兵力ヲ有スルモノ無ク又此等ノ各部隊ハ一トシテ其陣地ニ技術的設備ヲ施シタルモノ無シ之ニ反シ敵ハ増援ヲ得三方面ヨリ攻撃シ來ラン而シテ敵若シ一方面ニ於テ勝利ヲ得ハ我軍ノ爾他ノ方面ニ在ル部隊ハ爲ニ最モ危險ニ瀕スルニ至ルヘシ何トナレ

五

ハ之ニ依リテ我軍唯一ノ渡河點トノ連絡線ヲ脅威セララルルニ至ルヘキカ
故ナリ

此ノ如ク我軍ノ不利ニシテ加フルニ危険ナル情況ハ既ニ攻勢企圖ヲ實行
セシ初期ヨリ認メサルヘカラサリシ所ナリ而シテ此不利ヲ醫センニハ増
加團隊ノ來著スル迄各處ニ分散セル兵力ヲ數個ノ地點ニ集合シ之ヲシテ
有利ナル陣地ヲ占領セシメ要スレハ堅固ニ陣地ヲ構築スルヨリ他ニ策無
キナリ

右ノ理由ニ依リ南正面ニ於テハ既ニ占領シタル巴爾幹山ノ通路ヲ比較的
微弱ナル兵力ヲ以テ守備シ諸般ノ築城方法ヲ用キ尙巴爾幹ノ南方山腹ニ
ハ必要ニ際シ障害無ク山間ニ退却シ得ヘキ遊動的ノ一部隊ヲ置クヲ以テ
甘ンセサル可カラス又 *Tinovo* 附近諸高地上ニハ防禦工事ヲ施シ微弱ナル
兵力ヲ以テシテモ尙能ク此要地ヲ保持シ得ヘカラシムルノ必要アリ西正
面ニ於テハ *Plevna* 及 *Lovca* 附近ニ集合シタル土軍攻勢ヲ取ル場合ヲ顧慮

シ一個軍團ヲ以テ固守シ得ヘキ陣地ヲ撰定スルヲ要ス但シ該軍團ハ又爲
シ得ヘクンハ *Sistov* ヨリ *Tinovo* ニ通スル諸道ヲモ同時ニ掩護シ得サル可
カラス

東正面ニ在リテモ亦強大ナル一軍團步兵三師團カ據リテ以テ恐ラクハ *Ohrid*
manbazar ヨリ *Tinovo* 或ハ *Sistov* ニ向ヒ攻勢ヲ取り來ルヘキ敵兵ニ對抗シ
得ル一陣地ヲ撰ハサル可カラス

Ruscuk ニ對シテハ主トシテ監視ヲ行フヲ以テ甘ンセサル可カラス尙此要
塞ノ前方ニ使用セララルル部隊ヲシテ一朝優勢ナル敵ノ突撃ヲ受クルニ當
リ *Donau* 河方面ニ擊退セララルルノ危険ニ陥ルコト無カラシムヘキ部署亦
行ハレサル可カラス實際此河上ニ渡過ノ設備ヲ完成セラレサル間ハル
チニ兵團ノ許ニ攻城廠及其他ノ要塞攻圍諸材料ヲ蒐集スルハ最モ不
注意ノコトトス故ニ成ルヘク速ニ *Donau* 河ノ第二ノ渡河點ヲ撰ヒ之ニ強
固ナル橋頭堡ヲ設ケテ守備スルヲ必要トス此外 *Ruscuk* 前方ニ於ケル步兵